川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

建築工事						造成工事	
図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
A01	特記仕様書No.1	A26	展開図No.2	S01	構造特記仕様書No.1	K01	開発区域位置図
A02	特記仕様書No.2	A27	展開図No.3	S02	構造特記仕様書No.2	K02	現況図
A03	特記仕様書No.3	A28	展開図No.4	S03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.1	K03	求積図
A04	特記仕様書No.4	A29	展開図No.5	S04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.2	K04	土地利用計画図
A05	特記仕様書No.5	A30	展開図No.6	S05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.3	K05	造成計画平面図
A06	特記仕様書No.6	A31	天井伏図	S06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.4	K06	造成計画断面図No.1
A07	特記仕様書No.7	A32	建具符号図、建具表No.1	S07	溶接規準図	K07	造成計画断面図No.2
A08	工事区分表	A33	建具表No.2	S08	鉄骨規準図	K08	造成計画断面図No.3
A09	外部仕上表、内部仕上表	A34	建具表No.3	S09	柱脚標準図	K09	造成計画断面図No.4
A10	配置図、付近見取図	A35	建具表No.4	S10	基礎伏図	K10	給排水施設計画平面図
A11	平均地盤面算定表	A36	建具詳細図No.1	S11	べた基礎・基礎柱・基礎梁リスト、ボーリング柱状図	K11	擁壁断面図
A12	敷地求積図	A37	建具詳細図No.2	S12	R階梁・1階柱伏図	K12	排水施設構造図
A13	建物求積図、各室求積図	A38	家具詳細図No.1	S13	軸組図No.1		
A14	法規チェックリスト	A39	家具詳細図No.2	S14	軸組図No.2		
A15	平面図	A40	家具詳細図No.3	S15	軸組図No.3		
A16	屋根伏図	A41	各部詳細図No.1	S16	軸組図No.4		
A17	立面図No.1	A42	各部詳細図No.2	S17	部材リスト		
A18	立面図No.2	A43	各部詳細図No.3	S18	鉄骨詳細図		
A19	断面図No.1	A44	各部詳細図No.4				
A20	断面図No.2、駐輪場	A45	サイン詳細図				
A21	矩計図	A46	外構図				
A22	断面詳細図	A47	外構詳細図No.1				
A23	平面詳細図No.1	A48	外構詳細図No.2				
A24	平面詳細図No.2	A49	仮設図【参考図】				
A25	展開図No.1						

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作
設計担当
設計担当
設計担当
法適合確認

工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日 R05/03/24
図面名称 表紙・図面リスト
縮尺 A1:NS A3:NS
図面番号 A00

工事特記仕様書

Ⅰ．工事名称　川越町ボランティア施設（仮称）建設工事

Ⅱ．工事概要

1．工事場所　三重郡川越町大字豊田一色地内

2．敷地面積　979.75㎡

3．工事内容

棟名称	ボランティア施設	駐輪場
構　造	鉄骨造	アルミ合金造
建築面積	208.63㎡	4.44㎡
延べ面積	193.00㎡	8.75㎡
工事項目	ボランティア施設・駐輪場の新築工事、造成外構工事	

Ⅲ．建築工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書（令和4年7月制定版）」及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（　）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1）建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 2）敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）
	②発生材の処理等（1.3.11）	・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	⊙有　・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他（　　　）	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの　・有（　　　　）

・特別管理産業廃棄物　・有（　　　　）　処理方法（　　　　）

・現場において再利用を図るもの（　　　　　　　　　　）

⊙再資源化を図るもの　⊙コンクリート塊
・アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材
・（　　　　　　　）

③建設副産物情報交換システムへの登録

請負金額100万円以上の工事において、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ提出すること。

また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

4．欠番

⑤施工条件（1.3.5）

下記で指定するもの以外は監督員と協議し決定する。

⊙施工可能日
⊙指定なし　・一部に土、日曜日、祝祭日施工あり

⊙施工可能時間帯
⊙指定なし　・　　時～　　時

・部位別の施工順序
⊙指定なし　・（　　　　　　　）

⊙工事車両の駐車場
・指定なし　⊙図示（図面番号：A49）・（　　　　）

⊙資材置場
・指定なし　⊙図示（図面番号：A49）・（　　　　）

6．概成工期

・指定なし
・指定あり（　　年　　月　　日）

7．部分引渡し部分使用

・部分引渡しあり　・部分使用あり
・指定部分（　　　　　　　）
時期（　　　　　　　）

8．埋蔵文化財調査

埋蔵文化財調査に協力すること。
・発掘調査等の実施あり
・発掘調査等の実施可能性あり

9．電気保安技術者（1.3.3）

・配置する

⑩技能士（1.5.2）

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

⑪建築材料等

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

2）本工事で使用する建設資材の調達にあたっては極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。

3）製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。

4）本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。

5）本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

6）下記製品を本工事で使用する場合は、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。

認定製品の品名：・（　　　　　　　　　　）

7）下記製品を本工事で使用する場合は、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定製品を使用するように努める。

認定製品の品名：・間伐材製工事用バリケード
・間伐材工事看板　・間伐材表示板
・（　　　　　　）

⑫化学物質の濃度測定（1.5.9）

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所　⊙図示（図面番号：A15　　）・（　　　　　　）
測定方法　⊙パッシブ法　・アクティブ法
測定時期　・（　　　　）
報告書提出部数　2部

⑬特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑭騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑮工事写真（1.2.4）

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和3年版）に従い撮影する。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

⑯完成図等（1.7.1）（1.7.2）（1.7.3）

提出図書
⊙完成図（配置図、案内図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表等）
・施工図（構造躯体及びカーテンウォール）
・施工計画書（カーテンウォール）
⊙保全に関する資料（　1　）部

完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。

⑰完成写真

⊙デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
（A4版用紙に1ページあたり3枚）　1部
⊙箇所数は外観４面各室２面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・アルバム 1部（大きさ 335mm×290mm程度 カラー）

⑱電子納品

⊙工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　⊙1部　・　部）
⊙工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　⊙1部　・　部）

⑲設備工事との取合い

施工範囲
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
⊙図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図
・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑳設計GL

⊙図示のベンチマーク(B.M)　　+200　mm
（現状地盤はB.M　　　　　mm)

㉑養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

㉒事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

23．欠番

24．欠番

25．欠番

㉖消防法関係の手続き

1）消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
⊙本工事（・建築工事　⊙電気設備工事　・機械設備工事）
・別途工事

2）防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

㉗主任技術者又は監理技術者

1）技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。

2）専任を要しない期間

(1) 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。

(2) 検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

㉘工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン（平成29年7月三重県県土整備部）」による。

三重県建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の維持・管理に関する計画(以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。

なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

29．労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第2項の規定が適用される場合、同項の規定に基づき本工事の受注者を指名する。

この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称：特記仕様書No.1	縮尺 A1:NS A3:NS	設計日 R05/03/24 図面番号 A01

① 一般共通事項

㉚建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 Vo = 34 m/s
地表面粗度区分　・ Ⅱ　(・) Ⅲ
積雪区分　（ 30 ）cm

31.欠番

㉜不正軽油の使用の禁止

1）一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2）調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3）是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33.技術検査
(1.6.2)

中間技術検査
実施回数　・（　　）回
実施する段階　・（　　）

34.施工の検査等
(1.5.5)

見本施工
・実施する（施工箇所：　　）

35.屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

㊱社会保険等未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により、下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

㊲現場での安全確保（自主施工の原則）

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

38.欠番

㊴設計図書の照査

三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

② 仮設工事

1.監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2.監督員事務所の設備・備品等
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所
構内既存の施設　・ 利用できる　(・) 利用できない

④工事用水
構内既存の施設
(・) 利用できる（(・) 有償　・ 無償 ）　・ 利用できない

⑤工事用電力
構内既存の施設
・ 利用できる（ ・ 有償　・ 無償 ）　(・) 利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場等
(2.2.4)

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。
令和４年１月２日以降に高さが５ｍ以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成３１年１月２５日厚生労働省告示第１１号）によるものとする。

⑦交通誘導警備員
配置　(・) 図示(図面番号： A49)

③ 土工事

1.埋戻し及び盛土
(3.2.3)(表3.2.1)

種別　・ A種　(・) B種　・ C種　・ D種

②建設発生土の処理
(3.2.5)

建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。
(・)現場内利用できる　・仮置き場所（　　）　・運搬距離（　　）km
・現場内利用できない
・受入地指定　受入地の条件
・受入先、施工条件、特定条件等（図面番号：　　）
・運搬距離（　　）km
・受入料金あり　・受入料金なし
・受入地未定につき別途協議する。　暫定運搬距離（　　）km

3.山留めの撤去
山留め壁等　・ 撤去　・ 存置

④ 地業工事

①適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号　「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

2.施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

③施工記録の代替

取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

④根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5.試験杭及び試験掘(4.2.2)

・ 試験杭　位置、本数及び寸法　図示（図面番号： S012 ）
・ 試験掘　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：　　）

6.杭の支持層

支持層の位置、土質　・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

7.水平方向の位置ずれ

（　　）mm以下

8.杭の載荷試験
(4.2.3)

試験方法　・ 鉛直載荷　・ 水平載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数　・ 図示（図面番号：　　）　載荷荷重　（　　）kN
報告書　・ 提出部数　2部
・ 記載事項（　　）

9.地盤の載荷試験(4.2.4)

試験方法　・ 平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・ 図示（図面番号：　　）　載荷荷重　（　　）kN
報告書　・ 提出部数　2部
・ 記載事項（　　）

10.既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業
(4.3.1)
(表4.3.1)
(4.3.3)
(4.3.4)
(4.3.8)

・ PHC杭
・ A種　・ B種　・ C種
・ SC杭
・ PRC杭
・ 上記以外の建築基準法に基づく杭

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状　・ 開放型　・ 閉そく型
施工方法
・ セメントミルク工法
・ オーガーの支持層への掘削深さ
・（　）m　・ 図示（図面番号：　　）
・ 杭の支持層への根入れ深さ
・（　）m　・ 図示（図面番号：　　）
・根固め液及び杭周固定液の管理試験
・標準仕様書[4.3.4(6)ｺ(a)～(g)]　・（　　）
・ 特定埋込杭工法
・ 杭の根入れ深さ
・（　）m　・ 図示（図面番号：　　）
継手　・ アーク溶接　・ 機械式継手
杭頭処理の方法　・ 外圧方式　・ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ方式　・（　　）

11.鋼杭地業
(4.4.3)
(4.4.4)
(4.4.5)
(4.4.6)
(4.3.5)
(4.3.8)

・ 鋼管杭　・ SKK400　・ SKK490　・ STK490
・ H形鋼杭　・ SHK400　・ SHK490M
径　・φ300　・φ350　・φ400　・φ450　・φ（　）
長さ　（　）m
継手の工法　・現場溶接　・機械式継手
・ 特定埋込杭工法
・ 杭の根入れ深さ　・（　）m　・ 図示（図面番号：　　）
杭頭処理の方法　・ ガス切断　・（　　）

12.場所打ちコンクリート杭地業
(4.5.1)
(4.5.4)
(4.5.5)
(4.5.6)
(表4.5.1)

施工方法
・ アースドリル工法　・ リバース工法
・ オールケーシング工法　・ 鋼管コンクリート杭工法
拡底　・ 行わない　・ 行う（　　）
杭の根入れ深さ
・（　）m　・ 図示（図面番号：　　）
孔壁の超音波測定　・ 行う　・ 行わない
帯筋の加工及び組立　・ 図示（図面番号：　　）
鉄筋の最小かぶり厚さ　（　　）mm
鉄筋かごの補強　・ 図示（図面番号：　　）
継手　・重ね継手　・（　　）

コンクリートの種別　・ A種　・ B種
設計基準強度　（　　）N/mm²
セメントの種類　・ 高炉セメントB種　・（　　）
スランプ（cm）　・ 18　・（　　）
構造体強度補正値（S）・３N/mm²　・（　　）
鋼管部分の材料（　　）

⑬地盤改良

(・)（ 浅層地盤改良 ）工法
(・) 六価クロム溶出試験　(・) 室内配合試験　(・)一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業
(4.6.2)
(4.6.3)

砂利
(・)再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石　・（　　）
砂
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂　・（　　）
施工範囲　(・) 図示（図面番号： S001,S012 ）
厚さ　(・) 60mm　(・)（ 100 ）mm
(・)仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮捨コンクリート地業
(4.6.4)

厚さ　(・) 50mm　・（　　）mm
施工範囲　(・) 図示（図面番号：　　）
(・)仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層
(4.6.2)(4.6.5)

施工範囲　(・) 図示（図面番号： A21・A22 ）
ポリエチレンフィルム厚さ　(・) 0.15mm以上　・（　　）

５　鉄筋工事
６　コンクリート工事
７　鉄骨工事　　は構造特記仕様書による

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日：R05/03/24
図面名称：特記仕様書№２
縮尺：A1:NS　A3:NS
図面番号：A02

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8) (表8.2.1)

種類 ・ 図示(図面番号：)
正味厚さ、モデュール呼び寸法
・ 図示(図面番号：)
各部の配筋 ・ 図示(図面番号：)
モルタルの調合 ・ 標準仕様書[8.2.3] 後段 ・（ ）
目地仕上げ ・押し目地 ・化粧目地
モルタル又はコンクリートの充填範囲 ・ 図示(図面番号：)

2.コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)

ブロックの種類 ・ 標準仕様書[表8.3.1]
⊙ 図示(図面番号：K11)
正味厚さ、モデュール呼び寸法、ブロックの厚さ
⊙ 図示(図面番号：K11)
モルタルの調合 ⊙ 標準仕様書[8.2.3]後段 ・（ ）
化粧 ⊙ 有り ・ 無し
各部の配筋 ⊙ 図示(図面番号：K11)
モルタル又はコンクリートの充填範囲
・ 図示(図面番号：)

3.ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)

区分	単位荷重(N/mm²)	呼び寸法 厚さ(mm)	呼び寸法 幅(mm)	呼び寸法 長さ(mm)	構法	耐火性能
・外壁パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・( )	・A種 ・B種	・( )時間 ・無し
・間仕切壁パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・( )	・C種 ・E種 ・D種	・( )時間 ・無し
・屋根パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・( )	・F種	・( )時間 ・無し
・床パネル	・( )	・100 ・120 ・150	・( )	・( )	・F種	・( )時間 ・無し

パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり
外壁耐風性能 設計風圧力（ N/㎡）
間仕切壁パネル耐震性能 層間変形角（ ）
パネル短辺小口相互の伸縮目地幅 ⊙（ 10 ）mm
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 ⊙（ 20 ）mm
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する（材料： ）

4.押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法
・外壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・A種 ・B種
・間仕切壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・B種 ・C種

パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり
パネル相互の目地幅（長辺 8以上、短辺 15以上とする）
・（ ）mm
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 ・ 15mm ・（ ）mm
目地及び隙間の処理 ・（ ）
外壁耐風性能 設計風圧力（ N/㎡）
間仕切壁パネル耐震性能 層間変形角（ ）
パネルに欠き込みを行う場合
・パネル開口の限度 ・図示（図面番号： ）

⑨ 防水工事

1.アスファルト防水 (表9.2.3)～(表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)

種別	施工箇所

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8] ・図示（ ）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8] ・図示（ ）
絶縁用シート
・ ポリエチレンフィルム（厚さ 0.15mm以上）
・ フラットヤーンクロス（70g/㎡）
押え金物
・ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・図示（図面番号： ）
断熱材
・ 屋根保護防水断熱工法
厚さ （ ）mm
・ 屋根露出防水断熱工法
種類 （ ） 厚さ （ ）mm
屋根保護防水 (表9.2.3)～(表9.2.6)
立上り部の保護工法 ・ 図示(図面番号：)
乾式保護材 ・ 使用する
立上り部保護れんが ・ JIS R 1250 ・（ ）
断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁ｼｰﾄ ・設置する (表9.2.8)
脱気装置 (表9.2.7)
・ 設置数量 図示(図面番号：) 種類（ ） (表9.2.8)
屋根露出防水における仕上塗料 (表9.2.7)
・ 図示(図面番号：) 種類（ ） 使用量（ ） (表9.2.8)
屋内防水密着工法における保護層 (表9.2.9)
・図示（図面番号： ）
E-1の工程3 ・行う ・行わない
防水層の下地モルタル塗り (9.2.4)
・図示（図面番号： ）
立上りのコンクリート打放し仕上げの種別
種別 ・B種 ・（ ）
屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置
・ 図示(図面番号：)
保護コンクリートの厚さ (9.2.5)
こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 ・（ ）
床タイル張り ・ 水下 60mm以上 ・（ ）
立上り部の保護方法
・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等） ・（ ）
屋上排水溝
・ 図示(図面番号：)

2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)

種別	施工箇所

改質アスファルトシート
種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示（ ）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示（ ）
押え金物の材質、形状、寸法
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・（ ）
仕上塗料
・ 図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
脱気装置 ・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）
断熱材 (表9.3.3)
・ 屋根露出防水絶縁断熱工法
種類 （ ） 厚さ（ ）mm
防湿用シートの設置 ・有り ・無し

3.合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)

種別	軽歩行(S-F2,-M2)	施工箇所

ルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3] ・図示（ ）
可塑剤移行防止用シート
・ 発砲ポリエチレンシート ・ （ ）
固定金具 材質、寸法形状（ ）
・ 図示（図面番号： ）
断熱材 種類、厚さ
・ 機械的固定工法 図示（図面番号： ）
・ 接着工法 図示（図面番号： ）
仕上塗料
・ 図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し

屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ ・（ ）mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ ・ 7mm以下 ・（ ）mm
目地処理(接着工法)
PC下地 ・ 図示（図面番号： ）
増張り (S-F1、S1-F1)
PC入隅部 ・ 図示（図面番号： ）
機械的固定工法
風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号：)
脱気装置
・ 設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）

4.塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（ X-1 ）
・ 設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）
保護層（ Y-2 ） ・保護コンクリート ・保護モルタル
仕上塗料（X-1、X-2）
・ 図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）

5.ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1)

防水層の下地
壁及び天井部の仕上げ ・コンクリート打放し仕上げ（B種）
・図示（図面番号： ）
防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理
・標準仕様書[9.6.4](2)(ｱ)後段 ・（ ）
標準仕様書［9.6.4］(2)(ｲ)及び(ｳ)以外の処理 ・（ ）

⑥シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1)

⊙ 標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所	目地寸法	種類	仕上
外部取合いｼｰﾘﾝｸﾞ	20×10	PS-2	・省略
建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	20×10	MS-2	・省略
〃	10×10	MS-2	・省略
面台ｼｰﾘﾝｸﾞ	10×10	MS-2	・省略

(9.7.5) 接着性試験
⊙ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

10 石工事

1.共通 割付 ・図示(図面番号：)

2.天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

使用部位	種類(名称)	寸法(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床			・粗磨き ・（ ）		
壁			・水磨き ・（ ）		

ジェットバーナー仕上面 バフ仕上 ・あり ・なし

3.テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・（ ）

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・( )	・( )

4.その他の材料 (10.2.3)

取付用モルタル ・ 図示(図面番号：)
目地用モルタル ・ 図示(図面番号：)
浸透性吸水防止剤 ・ 図示（図面番号： ）
石裏面処理材 ・ 図示(図面番号：)
裏打ち処理材 ・ 図示(図面番号：)
充填材料 ・ 図示(図面番号：)

5.外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)

受金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法
材質 ・ SS400 ・ （ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ （ ）
ドレンパイプの材質
・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（ ）
石材の厚さ ・25mm以上 ・（ ）
石裏面処理 ・適用する
裏打ち処理 ・適用する
下地ごしらえ
・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー横筋流し工法
目地 一般目地
目地幅 ・ 6mm以上 ・（ ）
シーリング材の有無 ・有り ・無し
伸縮調整目地
位置 ・ 標準仕様書[表11.1.1] ・ 図示（図面番号： ）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上 ・ 図示（図面番号： ）

6.内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3)

受金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法 材質・ SS400 ・ （ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ （ ）
石材の厚さ ・20mm以上 ・（ ）
下地ごしらえ
・ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法
目地 一般目地
目地幅 ・ 6mm以上 ・（ ）
伸縮調整目地
位置 ・ 6mごと ・ 図示(図面番号：)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

7.外壁乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3)

金物の種類、形状、寸法 ・図示（図面番号： ）
取り付け工法
・ スライド方式 ・ ロッキング方式
アンカーの材質及び寸法 材質・ SUS304 ・ （ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ （ ）
石材の厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・（ ）
たぼ用穴の位置 ・図示（図面番号： ）
裏打ち処理 ・適用する
風圧力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
目地
目地幅 ・ 8mm以上 ・（ ）
シーリング材 ・ 適用する

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日 R05/03/24
図面名称 特記仕様書No.3
縮尺 A1:NS A3:NS
図面番号 A03

⑪ タイル工事

8.床及び階段の石張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3)
- 石材の厚さ ・（ ）mm
- 石裏面処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
- 裏打ち処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
- 目地 一般目地
  - 目地幅 ・屋内4mm以上、屋外3～6mm
  - ・図示（図面番号： ）
  - 伸縮調整目地
    - 位置 ・標準仕様書[10.6.2](5)(ｲ)(a)後段
    - ・図示（図面番号： ）
    - シーリング材の目地寸法
      - ・幅、深さとも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

9.笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.2)
- 取付け金物
  - ・標準仕様書[10.2.2](3)(ｱ)の各後段 ・（ ）
- アンカーの材質及び寸法
  - 材質・ SUS304 ・（ ） 寸法（ ）
- あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
- 取付工法 ・湿式工法 ・乾式工法
- 石材の厚さ ・（ ）mm
- 石裏面処理 ・適用する
- 取付け代(乾式工法の場合)
  - ・標準仕様書[10.5.3](2) ・（ ）mm
- 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)
  - ・適用する 図示(図面番号：)
- 目地 一般目地
  - 目地幅 ・（ ）mm
  - 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)
    - 位置 ・図示(図面番号：)
    - シーリング材の目地寸法
      - ・幅、深さとも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

10.隔て板 (10.7.3)
- 石材の厚さ ・40mm ・（ ）

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)
- 位置 ・標準仕様書[表11.1.1]
- ・図示(図面番号：)

2.タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)

タイルの種類・工法

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
ﾎﾟｰﾁ	改良圧着	磁器質	100×100	○		○	標準	
玄関	改良圧着	磁器質	100×100	○			標準	
倉庫2	改良圧着	磁器質	100×100	○			標準	
男子WC	改良圧着	陶器質	100×100	○			標準	

- ・試験張りを行う
- ・見本焼きを行う
- ・既調合モルタル材料 （ ）

(11.2.6) セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事
- コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号：)
  - ・目荒し工法 ・ＭＣＲ工法

(11.3.5) 有機系接着剤あと張り工事
- シーリング材の種類
  - 打継、ひび割れ誘発目地 ・PU-2 ・（ ）
  - 伸縮、その他目地 ・MS-2 ・（ ）
- 外装タイル接着剤張りの目地詰め
  - ・行う ・行わない

⑫ 木工事

①木材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	⊙A種 ・ B種
造作材	⊙A種 ・ B種

②製材 (12.2.1)(2)(ｱ)

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・図示（ ）	・（ ）			
造作用製材	⊙図示（ ）	⊙上小節			○
広葉樹製材	・図示（ ）	・（ ）	・10%以下		

(12.2.1)(2)(ｲ) (表12.2.2) 「JAS 1083」以外の製材
- 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率
  - ・図示（図面番号： ）
- 造作材の材面の品質 ・A種 ・（ ）

樹種

部位	樹 種	県産材

③集成材等 (12.2.1)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	⊙図示（図面番号： ）	・1等 ・（ ）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号： ）	・1等 ・（ ）	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等
- 樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等
  - ・図示（図面番号： ）

4.造作用単板積層材 (12.2.1)
- 「JAS 0701」による造作用単板積層材
  - 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理
  - ・図示（図面番号： ）
- 「JAS 0701」以外の造作用単板積層材
  - 寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理
  - ・図示（図面番号： ）

5.直交集成材 (12.2.1)
- 「JAS 3079」による直交集成材
  - 品名、曲げ強度(強度等級)、種別、接着性能(使用環境)、樹種、寸法
  - ・図示（図面番号： ）

⑥合板等 (12.2.1)

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ
	ラワン	1類				

構造用合板の強度等級
- ・図示（図面番号： ）

特殊加工化粧合板の化粧加工方法
- ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・（ ）

パーティクルボード
- 表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等
  - ・図示（図面番号： ）

ミディアムデンシティーファーバーボード（MDF）
- 表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等
  - ・図示（図面番号： ）

7.接合具等 (12.2.2) (表12.2.3)～(表12.2.5)

造成材の化粧面の釘打ち
- ⊙隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質
- ・図示（図面番号： ）

8.防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)

防腐・防蟻処理
- 薬剤加圧注入
  - 適用部材、保存処理性能区分 ・図示（図面番号： ）
- 薬剤の塗布等
  - 処理方法 ・薬剤の製造所の仕様 ・（ ）
  - 附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による処理
    - 薬剤の種類、適用部材 ・図示（図面番号： ）
    - 薬剤の接着剤への混入 ・（ ）
    - 合板等の加圧注入 ・（ ）

防虫処理 ・（ ）

9.RC造等の間仕切軸組及び床組 (12.4.1)
- 間仕切軸組に用いる木材 ・杉 ・松 ・（ ）
- 床組に用いる木材(土間ｽﾗﾌﾞ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理材 ・（ ）
- 床組に用いる木材(上記以外) ・杉 ・松 ・（ ）

10.窓、出入口等 (12.5.1)
- 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ・ひのき ・（ ）
- 上記以外 ・松 ・杉 ・（ ）

11.床板張り (12.6.1)
- 縁甲板、上がりがまち ・ひのき ・（ ）

12.壁及び天井下地 (12.7.1)
- 木材 ・杉 ・松 ・（ ）

⑬ 屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)

屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	葺板の寸法	下葺の種類
・立て平葺 ⊙心木なし瓦棒葺 ・横葺	⊙塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板	⊙0.4		⊙ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940

- 風圧力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
- 屋根葺工法に応じた下地留め付け方法等 ・図示（図面番号： ）
- 横葺のけらば ・つかみ込み納め ・けらば包み納め
- 雪止め ・図示（図面番号： ）

2.折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)

緊結方法	板厚(mm)	山高(mm)	山ピッチ(mm)	耐力区分
・重ね形 ・はぜ締め形	・0.8 ・0.6	・90 ・（ ）	・（ ）	・（ ）
	材種		軒先面戸板	
	・塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・（ ）		・あり ・なし	

断熱材 種別 ・ガラス繊維シート ・（ ）
- 厚さ ・5mm ・（ ）mm 計算できません
- 防火性能 ・（ ）

- 風圧力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
- 積雪荷重に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
- けらば納め ・けらば包み ・（ ）

3.粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)

種 類	大きさ	産 地	役物の種類	棟の工法

- 凍害試験 ・行う ・行わない
- 雪止め瓦 ・使用する
- 瓦桟木の材種、寸法 ・杉 21×15 ・（ ）
- 棟補強用心材の材質、寸法 ・杉 40×30 ・（ ）
- 瓦緊結用釘又はねじの種類、径、長さ ・図示（図面番号： ）
- 棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法 ・図示（図面番号： ）
- 下葺材料の種類 ・（ ）
- 風圧力及び地震力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
- 桟木の留付け工法 ・図示（図面番号： ）
- 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟
- 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上 ・ﾓﾙﾀﾙ ・瓦葺用しっくい

④とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)
- 材種 ⊙硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・配管用鋼管(白管) ・（ ）
- 表面処理鋼板の塗膜の種類 ・（ ）
- 耐酸被覆鋼板 材質等 ・（ ）
- 受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔 ⊙図示(図面番号A16)
- 軒どいの取付け間隔（多雪地域） ・0.5m以下 ・（ ）
- 鋼管製といの防露巻工法 ・標準仕様書[表13.5.4] ・（ ）

⑭ 金属工事

①アルミニウム (14.2.1) (表14.2.1)
- 表面処理の種別
  - ・AB-1 ・AB-2 ・AC-1 ・AC-2 ・BA-1
  - ・BA-2 ・BB-1 ⊙BB-2 ・BC-1 ・BC-2
  - ・C（常温乾燥形の塗装（ ））
- 陽極酸化被膜の着色方法 ⊙二次電解着色 ・（ ）
- 陽極酸化被膜の色合い等 ・（ ）

2.鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)
- 亜鉛めっきの種別
  - ・A種 ・B種 ⊙C種 ・D種 ・E種 ・F種

③軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.2) (14.4.4)
- 野縁等の種類
  - 屋内 ⊙19形 ・（ ）
  - 屋外 ⊙25形 ・（ ）
- 屋外の野縁受等の間隔 ・図示(図面番号：)
- 吊りボルトの補強方法（＠900mm超） ・図示(図面番号：)
- 吊りボルトの水平補強、斜め補強
  - ・天井ふところ＞3.0m 図示（図面番号： ）
  - ・耐震天井 図示(図面番号：)
  - ・耐風圧の補強 図示(図面番号：)

④軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)
- スタッド、ランナーの種類
  - ⊙50型 ⊙65型 ・90型 ・100型 ・ｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分
  - ⊙図示（図面番号： ）
- スタッドの高さ5m超
  - ・図示(図面番号：)
- 出入口、開口部の補強 ⊙標準仕様書[14.5.4](5)後段 ・（ ）

5.金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)

施工箇所		
種 別	・アルミニウム ・ステンレス ・ 鋼	
形 状	・スパンドレル形 ・パネル形	
表面処理	・	

- 取付け用下地 ・図示(図面番号：)
- 長尺ものにおける伸縮調整継手
  - ・設ける 図示(図面番号：)

6.アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)
- 部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形
- 表面処理 ・（ ）
- 固定方法 ・図示（図面番号： ）
- 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・図示（図面番号： ）

⑦天井見切縁 材種 ・アルミニウム合金製 ⊙塩化ビニル製

⑧点検口

取付箇所	材種	寸法	形式
⊙天井	⊙アルミニウム製	⊙450角 ・600角	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
・床	・アルミニウム製	・450角 ・600角	

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日 R05/03/24
図面名称 特記仕様書No.4
縮尺 A1:NS A3:NS
図面番号 A04

⑮ 左官工事

1.ラス系下地 (15.2.4)

通気工法　・二層下地　・単層下地
直張り工法　・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用平ラス

材料記号	種類	質量（kg/㎡）
・K ・（　　）	・（　　）	・（　　）

ラスシート

山高（mm）	山ピッチ（mm）	質量（kg）	溶接ピッチによる区分
・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）

外張断熱工法　・図示（図面番号：　　）
ステープルの形状、寸法　・図示（図面番号：　　）
換気口部の措置　・標準仕様書(木造)[11.4.3](2)(ｶ)　・（　　）

2.せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ
・図示（図面番号：　　）　・（　　）
木質系セメント板の種類、厚さ
・図示（図面番号：　　）　・（　　）

3.こまい下地及び木ずり下地 (15.2.6) (15.2.7)

耐力壁の指定　・図面（図面番号：　　）　計算できません
木ずり用小幅板の樹種
・杉（芯去り材）　・図示（図面番号：　　）

④モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)

材料　(・)現場調合材料　(・)既調合材料
既製目地材　・使用する　図示（図面番号：　　）
床の目地　・図示（図面番号：　　）
下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験（外壁タイル張り等）
・実施する

5.仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)

種類	呼び名	仕上形状		工法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク		
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて
	・外装厚塗材Si	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
	・外装厚塗材E		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて ・ローラー
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
複層仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状		・ローラー ・吹付け
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状		・吹付け ・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性　・耐候形３種　・（　　）
外装厚塗材Cの上塗材
・セメントスタッコ以外の場合　材所要量（　　）kg/㎡
外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用　・あり　・なし

(表15.6.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

6.マスチック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)

種別　・A種　・B種

7.しっくい塗り (15.10.1) (15.10.2) (15.10.3) (15.10.4) (表15.10.1) (表15.10.2)

下地　・標準仕様書[15.10.1]　・（　　）
材料　・既調合材料（色しっくい　・適用する　・適用しない）
・現場調合材料
調合及び各層の塗厚
せっこうボード下地　・標準仕様書[表15.10.1]　・（　　）
モルタル塗り下地　・標準仕様書[表15.10.2]　・（　　）
木ずり下地　・標準仕様書[表15.10.3]　・（　　）
せっこうプラスター下地、こまい土壁下地
・標準仕様書[表15.10.4]　・（　　）
その他の下地　・（　　）
工法　上塗り仕上げ工法　・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

8.こまい壁塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)

のりの種類
土壁用　・ふのり　・つのまた　・ぎんなんそう
・粉末海藻　・（　　）
砂壁用　・ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
・にかわ　・合成高分子系混和剤　・（　　）
色土の種類　土物仕上げ　・（　　）
大津仕上げ　・（　　）
色砂の種類　・（　　）
下塗りの調合　・標準仕様書[表15.11.2]　・（　　）
塗厚　・標準仕様書[表15.11.8]　・（　　）
耐力壁の指定　・図示（図面番号：　　）
工程種別　・A種　・B種

⑨ロックウール吹付け (15.12.3)

仕上げ吹付け厚さ　（　25　）mm

⑯ 建具工事

1.防火戸 (16.1.3)

防火戸の指定　・図示（図面番号：　　）
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・図示（図面番号：　　）

2.見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　・実施する
特殊な建具の仮組　・実施する

3.防犯建物部品 (16.1.6)

防犯建物部品　・図示（図面番号：　　）

④ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表16.2.2) (表14.2.2) (16.2.5)

外部建具の性能等級等
コンクリート系下地、鉄骨下地
・A種　(・)B種　・C種　・（　　）
木下地
・D種　・E種　・（　　）
表面処理　種別　・（　　）　(・)標準色　・特注色
内部建具
表面処理　種別　・（　　）　・標準色　・特注色

防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　）等級
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　）等級
建具枠見込み寸法　(・)図示（図面番号：A32～35　）
結露水の処理方法　・（　　）
水切り板、ぜん板等　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するもののみ)
(・)製造所の仕様による　・（　　）

⑤網戸等 (16.2.3)

形式　(・)可動式　・固定式
防虫網　網の材質　・合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂
・ステンレス（SUS316）　・（　　）
線　径　・0.25mm以上　・（　　）
網　目　・16メッシュ　・18メッシュ　・（　　）

6.樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (表16.3.1)～(表16.3.3)

外部建具の性能等級等
コンクリート系下地、鉄骨下地
・A種　・B種　・C種　・（　　）
木下地
・D種　・E種　・（　　）
建具の遮音性能等級
・T-1　・T-2　・（　　）
外部建具の断熱性能等級
・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8　・（　　）
外部建具の日射熱取得性能等級　・（　　）
ガラス　・複層ガラス　・（　　）
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
表面色　・標準色　・特注色
水切り板　ぜん板　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するもののみ)
・製造所の仕様による　・（　　）

7.鋼製建具 (16.4.2) (16.4.1) (表16.2.1) (16.4.4) (表16.4.2) (16.4.6)

簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　）等級
防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　等級）
鋼板類の厚さ　・［表16.4.2］　・図示（図面番号：　　）
くつずりの仕上げ　・ＨＬ　・（　　）
H>2400mm 又は W>950mm　・図示（図面番号：　　）
標準型鋼製建具
片開き　幅　・900　・950　高さ　・2000　・2100
親子開き　幅　・900　・950　高さ　・2000　・2100
両側開き　幅　・900　・950　高さ　・2000　・2100

⑧鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4) (表16.5.1)

簡易気密型ドアセット　(・)図示（図面番号：A34　）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　）等級
防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　等級）
鋼板類の種類　・　図示（図面番号：　　）
召合せ、縦小口包み板等の材質
・鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金押出形材
鋼板類の厚さ　・［表16.5.1］　・図示（図面番号：　　）
H>2400mm 又は W>950mm　・図示（図面番号：　　）

9.ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5) (表16.4.1)

簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアセットの面内変形追随性　・（　　等級）
ステンレス鋼板　・SUS304　・（　　）
表面仕上げ　・HL　・鏡面仕上げ
曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ

⑩木製建具 (16.7.2) (16.7.3) (表16.7.1) (表16.7.6) (表16.7.7)

建具材の含水率　(・)A種　・B種
フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材
・合板（・普通合板　・天然木化粧合板　・特殊加工化粧合板）
・ＭＤＦ　区分（表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性）
・図面（図面番号：　　）

(表16.7.3) (16.7.4)

フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ　・標準仕様書[表16.7.6]　・（　　）
引戸の召合わせ　・いんろう付き　図示（図面番号：　　）
かまち戸　かまち、鏡板の樹種　・図示(図面番号：　　）
ふすま　種別　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張の種類　・図示(図面番号：　　）
縁の仕上げ　・図示(図面番号：　　）
枠及びくつずりの材料　・図示(図面番号：A-70　）
各木製建具の見込み寸法　・標準仕様書[表16.7.7]
・図示(図面番号：　　）

⑪建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4) (表16.8.2) (表16.8.3) (表16.8.4) (表16.8.5)

マスターキー　・製作する　・製作しない
(・)監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス　(・)要　・不要
鍵の製作本数等　(・)3本一組とし、室名札を付ける　・（　　）
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
(・)標準仕様書[表16.8.1]　・図示（図面番号：　　）
表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について
・図示（図面番号：　　）
丁番の枚数、大きさ
金属製建具　(・)標準仕様書[表16.8.2]　・（　　）
樹脂製建具　・標準仕様書[表16.8.3]　・（　　）
木製建具　(・)標準仕様書[表16.8.4]　・（　　）
戸車、レールの外径等　・標準仕様書[表16.8.5]　・（　　）
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
(・)図示(図面番号：A32～35　　）

⑫自動ドア開閉装置 (16.9.2) (16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3) (表16.9.4)

駆動装置の性能値
多機能トイレ出入口以外　(・)標準仕様書[表16.9.1]　・（　　）
多機能トイレ出入口　・標準仕様書[表16.9.2]　・（　　）
検出装置の性能
(・)標準仕様書[表16.9.3]　・（　　）
戸の開閉方式　(・)図示（図面番号：A32　）
引き戸用検出装置の種類　・（　　）
凍結防止措置　(・)行う　・行わない

⑬自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)

性能値
(・)標準仕様書［表16.10.1］　・（　　）

14.重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)

シャッターの種類　・図示（図面番号：　　）
開閉方式　・図示（図面番号：　　）
外壁開口部のシャッター
・耐風圧強度（　　）Pa 以上
安全装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
シャッターケース　・図示（図面番号：　　）
鋼板の種類　・図示（図面番号：　　）
・めっき付着量　・Z12　・F12　・（　　）

15.軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)

開閉方式　・図示（図面番号：　　）
・耐風圧強度（　　）Pa 以上
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
スラットの材質、めっき付着量
・JIS G 3312　・Z06　・F06　・（　　）
・JIS G 3322　・AZ90　・（　　）
スラットの形状
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

16.オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

耐風圧性能の区分　JIS A 4715　・（　　）
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）

⑰ガラス (16.14.2) (16.14.3) (16.14.4)

板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等　(・)図示(図面番号：A32～35)
留め材　(・)シーリング　・ガスケット(　　)
ガラス溝の寸法、形状等
(・)製造所の仕様による　・図示(図面番号：　　）

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
図面名称：特記仕様書No.５
縮尺：A1:NS　A3:NS
設計日：R05/03/24
図面番号：A05

17 カーテンウォール工事

18.ガラスブロック積み (16.14.5)
表面形状、寸法、厚さ　・図示(図面番号：　　)
壁用金属枠、補強材　・図示(図面番号：　　)
力骨の材質等　・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋　・（　　）
化粧目地モルタルの色　・（　　）
シーリング材の種類　・（　　）
化粧カバーの材質、形状等　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
アンカー等の留付け間隔(木下地の場合)　・図示（図面番号：　　）
目地幅、伸縮調整目地
・ 標準仕様書[16.14.5](2)(ｳ)(a)(b)(i)の各後段　・（　　）

1.種類 (17.1.1) (17.1.3)
・ メタルカーテンウォール
・ PCカーテンウォール

2.性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)
耐風圧性　（　　）
耐震性　（　　）
水密性　（　　）
気密性　（　　）
耐火性　（　　）
耐温度差性　（　　）
遮音性　（　　）
断熱性　（　　）
性能の確認・判定方法　（　　）
シーリング材の種類　（　　）
断熱材　（　　）

3.メタルカーテンウォール (17.2.2) (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6) (表17.2.2) (表17.2.3)
カーテンウォールの材料

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・ アルミニウム製 ・（　　）	・ 標準仕様書[16.2.3] ・（　　）		・ 行う

製品の寸法許容差　・ 標準仕様書[表17.2.1]
ガラス溝の寸法、形状等　・ 製造所の仕様による
・ 図示(図面番号：　　)
取付け
躯体付け金物取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.2.2]　・（　　）
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.2.3]　・（　　）
ガラスの取付け　・ 図示（図面番号：　　）

4.PCカーテンウォール (17.3.2) (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (表17.3.1) (表17.3.2)
カーテンウォールの材料
コンクリートの種類及び品質　・図示（図面番号：　　）
鉄筋　・ SD295A　・（　　）
補強鉄線の径、網目寸法　・図示（図面番号：　　）
耐火目地材　・（　　）
配筋　・ 図示(図面番号：　　)
先付け材料　・仕上げ材（　　）・建具枠（　　）
・ ゴンドラ用ガイドレール（　　）・（　　）
製品の寸法許容差等　・標準仕様書[表17.3.1]による　・（　　）
表面仕上げ材　・ 磁器質タイル
石材　(・ 花こう岩　・ 大理石　・（　　))
取付け
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.3.2]　・（　　）
ガラスの取付け　・ 図示(図面番号：　　)

⑱ 塗装工事

1.材料
2.施工一般 (18.1.4) (18.2.2) ～(18.12.2)

塗料塗り 種類	塗料塗り 種別	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
EP	・ A種 ⊙ B種	屋内	ボード面	⊙ A種 ・ B種	
CL	・ A種 ⊙ B種	屋内	木部	・ A種 ⊙ B種	
OSCL	・ A種 ⊙ B種	屋内	木部	・ A種 ⊙ B種	

⑲ 内装工事

3.耐候性塗料塗り(DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.3) (18.7.4) (表18.7.3)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ｺﾝｸﾘｰﾄ,ECP面における種別
鉄鋼面		・ 1級　・ 2級 ・ 3級	・ A種　・ B種 ・ C種

4.ｽﾃｲﾝ塗り (18.11.2)
オイルステイン塗り　工程、材料　・（　　）

1.ビニル床シート張り (19.2.2) (表19.2.1) (19.2.3)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
⊙ FS ・（　　）	・ 無地 ⊙ 柄物	⊙ 2.0 ・（　　）	⊙ 熱溶接 ・ 突付

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）

2.ビニル床タイル張り (19.2.2) (表19.2.1)

寸法・色合	種類		厚さ(mm)
・300×300 （　　）	・コンポジションビニル床タイル（KT）	半硬質	・2.0
・450×450 （　　）	・コンポジションビニル床タイル（KT）	軟質	・（　　）
	・ホモジニアスビニルタイル		・（　　）

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）

3.特殊機能床材 (19.2.2) (表19.2.2)
・ 帯電防止床シート・床タイル　寸法（　　）mm
厚さ（　　）mm　種類（　　）　性能（　　）
・ 視覚障害者用床タイル
種類(・ ビニル床タイル　・（　　））
形状(・ 300×300　・（　　））
・ 耐動荷重性床シート
種類（　　）　厚さ（　　）mm
・ ゴム床タイル
色柄（　　）　種類（　　）　寸法（　　）　厚さ（　　）mm
接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）
・防滑性床シート・床タイル　種類（　　）　寸法（　　）　厚さ（　　）mm
⊙防汚性床シート・床タイル　種類（　　）　寸法（　　）　厚さ(2.0)mm

④ビニル幅木 (19.2.2)
種類　⊙ 図示(図面番号：　A09　)
高さ　⊙ 図示(図面番号：　A09　)　・ 60mm　⊙ 100mm
厚さ　・ 図示(図面番号：　　)　⊙ 1.5mm以上

⑤施工 (19.2.3)
下地　⊙モルタル　⊙ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ　・木造　・（　　）

6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)
織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 （標準品）	・ループ ・カット ・カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・ タフテッドカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着
・ タイルカーペット ・ 1種 ・ 2種	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6.5mm ・ ・ 500角 ・	・ 全面接着

・ 帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方（全面接着工法）
平場　・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)
階段部分　・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)
下敷き材　・ 第2種1号、呼び厚さ8mm
・ 図示(図面番号：　　)
見切り、押え金物
・ 材質（　　）　・ 種類（　　）
・ 形状(図面番号：　　)
織じゅうたんの接合方法　・ヒートボンド工法　・（　　）

7.合成樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ～(表19.4.8)
・ 弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)
仕上げ
・ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)
工法、仕上げ
・ 薄膜流しのべ工法（　・ 平滑　・ 防滑　）
・ 厚膜流しのべ工法（　・ 平滑　・ 防滑　）
・ 樹脂モルタル工法（　・ 平滑　・ 防滑　）

8.ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り (19.5.2) (19.5.3) (19.5.4) (19.5.5) (表19.5.2) (表19.5.4)
材料　⊙ 単層フローリング
（⊙ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(1等)　・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(1等)　）
・ 複合フローリング
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード（根太張用）		・ なら ・（　　）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・（　　）
⊙ フローリングボード（直張用）		・ なら ⊙（杉圧密）
・ 複合フローリング（直張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・（　　）

・ 接着工法

材料		樹種	厚さ(mm)	幅・長さ	裏面不陸緩衝材
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ（直張用）		・ なら ・（　　）			・ 合成樹脂発泡シート
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ（直張用）					
・ 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（直張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種				

9.畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)
種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種
・ D種の畳床　KT-（　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　・ K　・N ）
衝撃緩和型畳　・C１　・C２

⑩せっこうボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.3) (表19.7.5)

種類	種別	厚さ(mm)	
⊙ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃) ⊙ 12.5(不燃)
		天井	
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ⊙ 9.5(準不燃)	
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ・（　　）	
	・ 立体模様	・ 9 ・（　　）	
⊙ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	⊙（　6　）	
⊙（強化せっこうボード）	・（　　）	⊙（　21　）	

合板張り
・ 普通合板　表面の樹種名　・　生地のまま
・（透明塗料塗)ﾗﾜﾝ　・（不透明塗料塗)しな
・（　　）
板面の品質（　　）　厚さ（　　）mm
防虫処理　・（　　）
・ 天然化粧合板　化粧板の樹種名　・（　　）
厚さ（　　）mm
防虫処理　・（　　）
・ 特殊加工合板　化粧加工の方法
・ オーバーレイ　・ プリント
・ 塗装　・（　　）
表面性能（　　）　厚さ（　　）mm
防虫処理　・（　　）
天井ボードの重ね張り　・図示（図面番号：　　）
合板類の張付け　・ A種　・ B種

⑳ ユニット及びその他工事

11.壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)
せっこうボードの目地工法
⊙ 継目処理
・ 突付け（・ベベルエッジ　・スクウェアエッジ　）
・ 目透し（・ベベルエッジ　・スクウェアエッジ　）

施工箇所	種類	防火性能	品質

素地ごしらえ
せっこうボード面　・ A種　・ B種
コンクリート面　・ A種　・ B種
モルタル・せっこうプラスター面　・ A種　・ B種

⑫断熱材 (19.9.3) (19.9.4)
断熱材打込み工法
断熱材の種類、厚さ　・図示（図面番号：　　）
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・ A種1 ⊙ A種1H　・図示（図面番号　　）
断熱材の厚さ ⊙図示（図面番号：A09・A21　）

1.ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ (20.2.2)
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ及び表面仕上げ材の寸法、ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ高さ、耐震性能、所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗
・図示（図面番号：　　）
試験方法　20.2.2(2)(ｲ)(a) ～ (d)
寸法精度　20.2.2(2)(ﾄ)(a) ～ (c)

2.可動間仕切 (20.2.3)
組立て方式
・ スタッド式　・ パネル式　・ スタッドパネル式
パネル内建具寸法及び形状　・ 図示(図面番号：　　)
構成基材の種類　・ 図示(図面番号：　　)
遮音性　・ 図示(図面番号：　　)
表面仕上げ　・ 図示(図面番号：　　)

③移動間仕切 (20.2.4)
操作方法　⊙ 手動式　・ 電動式
表面材の材質及び仕上げ　⊙ 図示(図面番号：A35　)
遮音性　⊙ 図示(図面番号：A35　)
ハンガーレールの取付け下地の補強
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｳ)　⊙ 図示(図面番号：A37　)
パネルをランナーに取り付ける部品
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｴ)　⊙ 図示(図面番号：A37　)
ハンガーレール
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｵ)　⊙ 図示(図面番号：A37　)
ランナー
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｶ)　⊙ 図示(図面番号：A37　)
ハンガーレールの固定方法
⊙ 溶接　・ あと施工アンカー（材質：　　、寸法：　　）

④トイレブース (20.2.5)
表面材　⊙ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部　⊙ 幅木　・ 図示(図面番号：　　)
扉小口の材質　⊙ ステンレス製　・ アルミ製
ドアエッジの材質　・ 製造所の仕様による　・（　　）

⑤手すり (20.2.6)
材料の種類　⊙アルミ　・ステンレス（仕上げ：　　）

6.階段滑り止め (20.2.7)
・ ステンレスSUS304製　ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)
・（　　）
寸法　・ 約35mm　・ 図示(図面番号：　　)
工法　・ 接着工法　・ 埋込み工法

⑦黒板及びホワイトボード (20.2.9)
黒板の区分　・ 焼付け　・（　　）
黒板の種類　・ 鋼製黒板　・ ほうろう黒板　・（　　）
ホワイトボード　・（　　）　・図示（図面番号：　　）

8.鏡 (20.2.10)
厚さ　・5mm　・（　　）mm

⑨表示 (20.2.11)
室名札、ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式等
⊙ 図示（図面番号：A45　）
⊙ 衝突防止表示　図示（図面番号：　　）
・ 非常用進入口表示　図示（図面番号：　　）

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日：R05/03/24
図面名称：特記仕様書No.６
縮尺：A1:NS A3:NS
図面番号：A06

10.タラップ (20.2.12)
材料の種類 ・ステンレス
仕上げ ・研磨等なし ・( )

11.煙突ライニング (20.2.13)
適用安全使用温度 ・( )℃
工法 ・図示(図面番号:)

12.ブラインド (20.2.14)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの材種
・横形ブラインド	・アルミニウム合金 ・( )	・ギヤ式 ・コード式 ・( )	・25 ・( )	・鋼製 ・( )
・縦形ブラインド	・アルミニウム合金 ・( )	・ギヤ式 ・コード式 ・( )	・80 ・100 ・( )	

13.ロールスクリーン (20.2.15)
操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
寸法及び材種 ・図示(図面番号:)

14.カーテン及びカーテンレール (20.2.16)
カーテンの形式等

生地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ドレープ ・レース ・図示( )	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動
・暗幕 (遮光( )級)	・( )	・( )	・( )

暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり
・300mm以上 ・( ) ・図示(図面番号:)
カーテンレール ・アルミ製 ・ステンレス製
強さによる区分 ・10-90 ・( )
形状 ・シングル ・ダブル
断面形状 ・角形 ・C形 ・D形
仕上げ ・アルマイト ・( )
付属金物(フック) ・鋼製 ・樹脂製

15.プレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)
補強鉄線の径 ・3.2mm ・( )
補強鉄線の網目寸法 ・( )
設計基準強度Fc ・図示(図面番号:)
配筋 ・図示(図面番号:)
取付方法 ・図示(図面番号:)

16.間知石及び間知ブロック積 (20.4.2) (20.4.3)
材種 ・( )
種類及び質量区分 ・図示(図面番号:)
積み方 ・谷積み ・布積み
目塗り ・( )
伸縮調整目地 ・材種( ) ・厚さ( )mm

㉑ 排水工事

1.排水管 (21.2.1) (表21.2.1)
排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	VP	150・200	

2.排水桝等 (21.2.1)
⊙排水桝、ふた
種類等 ⊙図示(図面番号:)
⊙側塊の形状、寸法 ⊙図示(図面番号:)
グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定

場所打ちコンクリート
種類 ・普通コンクリート ・( )
設計基準強度 ・18N/mm2 ・( )
スランプ ・15cm ・18cm ・( )cm
鉄筋の種類等 ・SD295 ・( )
凍結抑制層の材料 ・( )

3.地業の材料 (21.2.1)
⊙再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
試験 ・砂の粒度試験

4.埋め戻し土 (21.2.1)
・A種 ⊙B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

5.施工 (21.2.2)
場所打ち排水桝の足掛け金物の材料
・ステンレス製(幅400mm、径22mm) ・鉄製(径22mm、防錆処置済み)
・合成樹脂被膜加工を行ったもの(径19mm) ・図示(図面番号:)
遠心力鉄筋コンクリート管
基床の厚さ、種類 ・図示(図面番号:)
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類 ・図示(図面番号:)
継手 ・接着剤 ・ゴム輪

6.街きょ縁石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)
コンクリート縁石、側溝
種類、形状、寸法 ⊙図示(図面番号: A48)
砂利地業
厚さ ⊙100mm ・図示(図面番号:)

㉒ 舗装工事

1.路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)
路床の材料(厚さは図示(図面番号: A47))
遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・( )
フィルター層 ・砂
路床安定処理 ・行う
添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( )号
・消石灰( )号
添加量( )kg/㎥(目標CBR ・5以上 ・( ))
盛土に用いる材料
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土
C種の場合:建設発生土受入量( )m3
片道の運搬距離( )km
試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験
・路床締固め度の試験
・現場CBR試験

2.路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部	歩道部	路盤材料
⊙アスファルト舗装	⊙(150)	・( )	⊙再生クラッシャラン
⊙カラー舗装	・( )	⊙(150)	・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・透水性アスファルト舗装	・( )	・( )	・クラッシャラン
・インターロッキングブロック舗装	・( )	・( )	・( )
・( )	・( )	・( )	

3.アスファルト舗装 (22.4.2)~(22.4.6) (表22.4.1)~(表22.4.6)
舗装の構成及び厚さ ⊙A-5-15 ・図示(図面番号:)
・A-3-10 ・( )
平坦性
・通行の支障となる水たまりを生じない程度
⊙図示(図面番号: A46)
再生アスファルトの種類 ・60~80 ・80~100 ⊙図示(図面番号:A46)
表層の種類
⊙密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
・( )
試験 ・アスファルト混合材等の抽出試験

4.コンクリート舗装 (22.5.2)~(22.5.6) (表22.5.1)
舗装の構成及び厚さ ・図示(図面番号:)
平坦性
・通行の支障となる水たまりを生じない程度
・図示(図面番号:)
コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・図示(図面番号)
設計基準強度等 ・標準仕様書[表22.5.1] ・( )
早強セメント ・使用する
注入目地材料 ・低弾性タイプ ・高弾性タイプ
目地 ・種類( ) ・間隔( )
・標準仕様書[表22.5.3]
目地の構造 ・標準仕様書[図22.5.1] ・図示(図面番号:)

5.カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3) (表22.6.1)
種類
・加熱系 構成及び厚さ( )
結合材 ・アスファルト ・石油樹脂系(顔料の添加量:)
添加材 ・着色骨材 ・自然石
・常温系
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・図示(図面番号:)
試験 ・アスファルト混合物等の抽出試験

6.透水性アスファルト舗装 (22.7.2)(表22.7.1)
舗装構成 ・図示(図面番号:)
平坦性 ・著しい不陸がないこと ・図示(図面番号:)

7.ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・コンクリート平板舗装	・普通平板 ・透水平板	・300角 ・( )	・60 ・( )	目地 ・砂 ・モルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
・インターロッキングブロック舗装	・普通ブロック ・透水性ブロック		車道部 ・80 ・( ) 歩道部 ・60 ・( )	表面加工 ・標準品 ・( ) 曲げ強度 ・( )
	・植生用ブロック		・80 ・100	
・舗石舗装	・小舗石 ・花こう岩 ・( )		・80~100	施工方法 ・うろこ張り ・( ) 基層 ・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装 基層の厚さ ・( )mm

コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材
・砂 ・空練りモルタル ・図示(図面番号:)
平坦性 ・平板等の段差3mm以内 ・図示(図面番号:)

8.砂利敷き (22.9.2)
・通路部 ・A種 ・B種 ・( )
・建物周囲 ・A種 ・B種 ・( )

㉓ 植栽工事

1.植栽地の確認 (23.1.3)
試験 ・土壌の水素イオン濃度(pH)試験
・電気伝導度類(EC)の試験
・( )の試験

2.植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.2)
植栽基盤整備工法
樹木 ・A種 ・( )
芝及び地被類 ・B種 ・( )
有効土層 面積 ・図示(図面番号:)
厚さ ・図示(図面番号:)
排水設備 ・設ける
(・暗きょ ・開きょ ・排水層 ・縦穴排水 ・( ))
植込み用土 ・現場発生の良質土 ・客土
土壌改良材 種類、指定量 ・( )

3.植樹 (23.3.2) (23.3.3)
樹木の種類 ・図示(図面番号:)
寸法 ・図示(図面番号:)
株立数 ・図示(図面番号:)
刈込み ・あり ・なし
支柱材
・丸太(防腐処理方法 ・加圧式防腐処理方法 ・( ))
・( )
支柱形式 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八ツ掛け形
・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形
幹巻き用材料 ・幹巻き用テープ ・わら ・こも

4.新植樹木の枯補償 (23.3.4)
引渡しの日から ・1年 ・( )

5.移植樹木の枯損処理 (23.3.6)
引渡しの日から ・1年 ・( )

6.芝張り、吹付けは種及び地被類 (23.4.2) (23.4.3) (23.4.7)
種類 ・コウライシバ ・ノシバ ⊙(ティフトン)
吹付けは種用種子 種類 ・標準仕様書[23.4.2](3)(ア)後段
・図示(図面番号:)
量 ・( ) ・図示(図面番号:)
地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数
・図示(図面番号:)
芝張り工法
平地 ・目地張り ・べた張り ・図示(図面番号:)
法面 ・目地張り ・べた張り ・図示(図面番号:)
芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間
・引渡日から1年間 ・( )

7.屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4) (23.5.5)
植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示(図面番号:)
排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成形品
植込み用土 ・改良土 ・人工軽量土
樹種・種類、寸法、株立数、刈込み
・図示(図面番号:)
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・図示(図面番号:)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・図示(図面番号:)
風圧力に対応した工法(建設省告示第1458号)
・図示(図面番号:)
支柱 ・図示(図面番号:)
かん水装置 ・図示(図面番号:)
新植樹木の枯補償期間
・引渡日から1年間 ・図示(図面番号:)
芝及び地被類の枯補償期間
・引渡日から1年間 ・図示(図面番号:)

㉔ 外構工事

1.旗竿
材種 ・アルミニウム製 ・( )
形式 テーパー付き ・ロープ式 ・ハンドル式
脚部 ・埋込式 ・ベース式
高さ ・5m ・6m ・7m

2.フェンス
・ネットフェンス ・網材種(・ビニル被覆鉄線 ・( ))
⊙メッシュフェンス
網材種(⊙樹脂皮膜 ・工場塗装 ・( ))
・格子フェンス
網材種(・樹脂皮膜 ・工場塗装 ・( ))

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝
代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀
設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作
設計担当
設計担当
設計担当
法適合確認
工事名称 川越町ボランティア施設(仮称)建設工事(建築工事)
設計日 R05/03/24
図面名称 特記仕様書No.7
縮尺 A1:NS A3:NS
図面番号 A07

工　事　区　分

注：該当項目の番号に◯をつける。

分類	適用	項目	建築	電気	機械	造成		別途
1 共通	①	仮囲い・足場・仮設養生	◯					
	②	現場事務所※	◯	◯	◯			
	③	交通誘導員	◯					
	④	工事用電力、上下水道、ガス引込み工事（引込み負担金を含む）※	◯	◯	◯			
	⑤	工事用電力、上下水道、ガス使用料金（基本料金を含む）※	◯	◯	◯			
	6	本設電力引込み工事						
	7	本設上水引込み工事						
	8	本設下水引込み工事						
	9	本設ガス引込み工事						
	10	本設電力引込み負担金						
	11	本設上水引込み負担金						
	12	本設下水引込み負担金						
	13	本設ガス引込み負担金						
	14	本設受電後引き渡し迄の基本料金 本設受電後引き渡し迄の使用料金						
	15	本設後引き渡し迄の上水基本料金 本設後引き渡し迄の上水使用料金						
	16	本設後引き渡し迄の下水基本料金 本設後引き渡し迄の下水使用料金						
	17	本設後引き渡し迄のガス基本料金 本設後引き渡し迄のガス使用料金						
	18	本設電話引込み工事						
	19	本設電話引込み負担金						
	20	既存上下水道、ガス管の撤去及び手続き（届出費用を含む）						
	㉑	工事上の各種申請、届出費用	◯	◯	◯			
	㉒	工事用電話、工事用インターネット	◯	◯	◯			
	※共同設置、費用按分も可							
2 機械基礎	1	大規模な機器類の基礎の製作及び設置						
	2	同上アンカーボルトの箱入れ、埋込み設置						
	③	小規模な機器類の基礎や架台の製作及び設置		◯	◯			
	④	外灯基礎の製作及び設置		◯				
	⑤	設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置		◯	◯			
	⑥	S造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置		◯	◯			
	7	屋上アンテナ　一時撤去、復旧						
3 躯体貫通	1	地中梁の連通管、通気管及び人通孔の製作、設置						
	2	地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置						
	3	S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び補強						
	4	RC造梁貫通スリーブの製作及び設置						
	5	同上補強（100φを超えるもの）						
	⑥	床や壁の貫通及び半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置		◯	◯			
	⑦	同上補強	◯					
	⑧	各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修		◯	◯			
	9	梁貫通予備スリーブの孔蓋の製作、設置及び耐火被覆						
4 躯体以外の開口・貫通	1	工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び補強						
	②	間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び補強	◯					
	③	間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修		◯	◯			
	④	天井付各種機器類の取付け用の開口、取付け枠の製作、設置及び補強（吹出口、吸込口等を含む）	◯		◯			
	⑤	床や壁の直付け各種器具類の取付け枠の製作、設置及び補強	◯					
	6	ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び補強						
	7	ALC版、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び補強						
	8	床や壁の石材面の設備機器取付け用開口の製作						
	9	各貫通穴あけ箇所の防火区画及び間仕切壁の区画貫通処理						
5 排水工事	①	ルーフドレイン類及び縦どいの設置	◯					
	②	同上縦どいのＧＬ以下の部分の配管の第一桝への接続			◯			
	③	同上第一桝の製作及び設置				◯		
	④	雨水排水設備				◯		
	⑤	同上第一桝の製作及び設置				◯		

分類	適用	項目	建築	電気	機械	造成		別途
6 ピット・マンホール・水槽等	1	湧水槽、蓄熱槽等の各種水槽の躯体断熱層、内外の防水及び仕上げ						
	2	同上マンホール蓋及びタラップの設置						
	3	屋内の排水溝、配管ピット及び配線ピットの内外の防水及び仕上げ						
	4	同上付属蓋類の設置						
	5	同上内設備配管類の架台の製作及び設置						
	6	屋内の電気引込み用マンホール及びタラップの設置						
	7	電気設備用ハンドホール及びマンホール蓋の設置						
	8	屋内マンホールの躯体、鋳鉄蓋及び化粧蓋の設置						
	9	屋外マンホールの躯体、鋳鉄蓋の設置						
	10	屋外マンホールの化粧蓋の設置						
	11	合併浄化槽設備の躯体、内外防水及び仕上げ						
	12	同上用マンホール蓋及びタラップの設置						
	13	排水槽、合併浄化槽等の設置						
7 点検口・ガラリ	①	設備機器及び配管配線用の床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	◯					
	2	外壁に取りつく給排気用ガラリの製作及び配置（接続用アングル、防鳥ネットを含む）						
	3	同上外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置						
	4	内壁等に取りつく吹出口、吸込口のガラリ等の製作及び設置						
	5	同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置						
	⑥	各室建具ガラリの製作及び設置	◯					
8 便所・浴室・湯沸室等	①	流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置	◯					
	②	同上給排水管及び排水金物の接続			◯			
	③	フードへのダクト接続			◯			
	④	洗面カウンターの製作及び設置			◯			
	⑤	同上給排水管接続			◯			
	⑥	同上陶製洗面器の設置			◯			
	7	既製浴槽の設置						
	8	ユニットバス・ユニットシャワー類の設置						
	9	同上給排水管接続						
	10	同上ダクト接続						
	11	同上一次側電気配管配線						
	⑫	既製化粧鏡の設置			◯			
	13	特注化粧鏡の設置						
	14	大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置						
	⑮	多目的トイレのトイレユニット			◯			
	⑯	同上給排水管接続			◯			
	⑰	トイレユニットの電源接続		◯				
	18	トイレ内のベッド設置						
	⑲	トイレブース（手摺り等）取付用下地補強	◯					
	⑳	便所等の照明用ボックス		◯				
	21	1階土間、2・3階新設大便器廻りのスラブ撤去・新設						
	㉒	大便器廻りの床貫通部分のスリーブ製作及び設置			◯			
	㉓	同上補強	◯					
9 防火戸等	1	防火（煙）シャッターの製作・設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置						
	2	同上用連動制御器と感知器との製作と設置及び配管、配線工事						
	3	防火戸の扉、枠の製作・設置（自動閉鎖装置用切り込み補強共）						
	4	同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の製作と設置及び配管、配線工事						
	5	可動式防煙壁の製作・設置及び自動降下装置緩衝装置の製作及び設置						
	6	同上用連動制御器、感知器の製作・設置及び配管配線工事						
	7	防火ダンパー、排煙ダンパーの製作・設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置						
	8	同上用連動制御器、感知器の製作、設置及び配管配線工事						
	9	機械排煙口の製作及び設置						
	10	電動式排煙窓の開放装置の製作、設置及び二次側配管配線工事						
	11	セキュリティー区画等に用いる扉の配管配線用ボックスの製作及び設置						
	12	同上用配管工事						
	13	同上用配線及び装置の製作及び設置						

分類	適用	項目	建築	電気	機械	造成		別途
10 設備工事等	1	自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンク迄の油配管工事						
	2	サービスタンク用防油堤躯体及び仕上げ						
	3	自家発電設備用給排水配管工事						
	4	ダクト付属の換気ファン類の設置						
	⑤	一般換気扇の設置及びダクト工事			◯			
	⑥	同上用の取付枠の製作及び設置			◯			
	⑦	機器類への電源とその二次側配管配線工事		◯				
	8	自動制御などの現場盤への電源接続						
	⑨	機械設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事		◯				
	10	生産設備用機器、付属制御盤などの取付及び二次側配管配線工事						
	11	電動シャッター、シャッタースイッチの設置						
	12	同上への電源及び二次側配管配線工事						
	⑬	ガス漏れ警報設備		◯				
	⑭	同上機器への電源供給配管配線		◯				
	15	制御用の電極棒の設置						
	16	制御用のフロートスイッチの設置						
	17	光天井などの照明器具用箱付及び下面仕上材料（ルーバー等）の設置						
	⑱	床及び壁の直付け各種器具類の設置		◯	◯			
	⑲	天井付各種機器類の取付用の開口設置		◯	◯			
	⑳	天井付各種機器類の取付用の下地補強		◯	◯			
	㉑	設備機器類の取付用あと施工アンカー及び吊りボルトの製作及び設置		◯	◯			
	㉒	地中埋設配管部分の掘削・埋戻し			◯			
	㉓	同上舗装の撤去・復旧	◯					
	㉔	機器脱着に伴う制御用ケーブルの取外し、再取付			◯			
	㉕	機器脱着に伴う電源用配線の離線、再取付		◯				
	㉖	電気設備機器（電灯、火報）の設置		◯				
11 その他	1	屋外発電機等のメッシュフェンスの設置						
	2	空調室外機のメッシュフェンスの設置						
	3	煙突工事（内部ライニング、タラップ、掃除口扉及び水抜き管の設置を含む）						
	4	同上煙導の製作及び設置						
	5	クレーン及びホイストの製作及び設置						
	6	同上クレーンレールの製作及び設置						
	7	同上電源盤以降の配管配線工事						
	⑧	ＬＡＮ引込み工事						◯
	⑨	ＬＡＮ引込み負担金						◯
	10	ＣＡＴＶ引込み工事						
	11	ＣＡＴＶ引込み負担金						
	12	警備保障配管工事						
	13	警備保障機器工事						
	14	厨房機器及び設置						
	15	同上機器への電源供給配管配線						
	16	同上機器への給排水配管						
	17	厨房フード製作及び設置						
	18	同上換気扇及びダクトの設置						
	⑲	ホワイトボード	◯					
	⑳	掲示板	◯					
	21	電話機器、配線共						
	22	LAN機器、配線共						
	23	電気錠本体						
	24	同上制御盤・操作盤						
	25	同上配管・配線、1次側電源供給						
	㉖	消火器ボックス（埋込型・露出型）	◯					
	27	消火器ボックス（消火栓箱に組み込み）						
	㉘	消火器	◯					
	29	屋内消火栓本体						
	30	同上　起動押釦・位置表示灯						
	31	同上　配管配線						
	㉜	家具の移動（造り付けを除く）	◯					◯

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

設計日：R05/03/24

図面名称：工事区分表

縮尺：A1:NS A3:NS

図面番号：A08

外部仕上表

勾配屋根	金属瓦棒葺（縦葺）：カラーガルバリウム鋼板ァ0．4 （吊子・キャップ共） 裏張材：ポリエチレンフォームァ4．0 防湿材：粘着層付改質アスファルトルーフィングァ1．0 野地板：木毛セメント板ァ25	ポーチ	磁器質100角タイル張（防滑性） モルタル木コテ下地
樋	軒　樋：塩ビ角型（前高型）W120（カラー） タテ樋：硬質塩化ビニル管φ75（カラー） 支持金物　ステンレス製@1000内外	スロープ	カラーモルタル刷毛引 コンクリート下地
		テラス	ウッドデッキ：人工木材　145×30　鋼製束@1000以内 コンクリート金コテ押エ
		根廻り	コンクリート打放補修　撥水材塗布　誘発目地@3000
軒　天	LGS下地　パルプ繊維混入セメント板ァ12張	断熱材	土間床：ポリスチレンフォームァ25敷（ポリエチレンフィルムァ0．15敷） 外壁：GWァ100　24kg／m³　天井：GWァ100　24kg／m³
外　壁	窯業系サイディングァ16　ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共）	犬走り	コンクリート刷毛引キ　目地切@2000内外
開口部	アルミサッシ・アルミドア	駐輪場	本体：アルミ合金造　屋根：アルミ板（不燃材）

主要構造部関係・・・耐火構造種別：その他

部位		使用材料	認定
屋根		カラーガルバリウム鋼板	不燃認定 NM−8697
外壁	延焼内	窯業系サイディング（通気金具留め工法）	防火構造 PC030BE−9202
外壁	延焼外	同上	同上
外壁開口部	延焼のおそれのある部分		

内部仕上表

室名	内装制限	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	CH	室名札	備考
玄関・ホール	—	F1	モルタル木コテ下地	磁器質100角タイル張（防滑性）	BB1	磁器質100角タイル張	100	W1	PBァ12．5 LGS下地	ビニルクロス張	C1	LGS下地	化粧PBァ9．5張	塩ビ	2,500		掲示板 CB、下足入
		F2	モルタル金コテ下地	ビニル床シートァ2．0張	BB2	木製巾木（杉） OSCL塗	100	W2	△	杉小巾板ァ12（保護塗装品） H900（腰壁見切共）							
ボランティア活動室1	—	F3	セルフレベリング	杉圧密フローリングァ15張 （クッション材2mm）	BB2	△	100	W1	PBァ12．5 LGS下地	ビニルクロス張	C2	△	化粧吸音PBァ9．5張	塩ビ	2,700	○	CB
								W2	△	杉小巾板ァ12（保護塗装品） H900（腰壁見切共）							
ボランティア活動室2	—	F3	△	△	BB2	△	100	W1	PBァ12．5 LGS下地	ビニルクロス張	C2	△	△	塩ビ	2,700	○	CB
								W3	△	ビニルクロス張（不燃）							
								W2	△	杉小巾板ァ12（保護塗装品） H900（腰壁見切共）							
調理室	(準)	F2	モルタル金コテ下地	ビニル床シートァ2．0張	BB3	ビニル巾木	100	W4	耐水PBァ12．5 LGS下地	化粧ケイカル板ァ6張	C3	△	化粧ケイカル板ァ6張	塩ビ	2,700		CB、カウンター
作業室	(準)	F2	△	△	BB4	床仕上同材巻上	100	W4	耐水PBァ12．5 LGS下地	化粧ケイカル板ァ6張	C3	△	△	塩ビ	2,500	○	CB
倉庫1	—	F2	△	△	BB3	ビニル巾木	100	W1	PBァ12．5 LGS下地	ビニルクロス張	C1	△	化粧PBァ9．5張	塩ビ	2,500	○	
女子WC	—	F4	△	超防汚性ビニル床シートァ2．0張	BB4	床仕上同材巻上	100	W4	耐水PBァ12．5 LGS下地	化粧ケイカル板ァ6張	C4	△	ケイカル板ァ6　EP塗	塩ビ	2,300	○ ピクト	
男子WC	—	F4	△	△	BB4	△	100	W4	△	△	C4	△	△	塩ビ	2,300	○ ピクト	汚垂タイル
					BB5	ステンレス巾木	100										
多目的WC	—	F4	△	△	BB4	床仕上同材巻上	100	W4	△	△	C4	△	△	塩ビ	2,300	○ ピクト	
事務室		F2	△	ビニル床シートァ2．0張	BB3	ビニル巾木	100	W1	PBァ12．5 LGS下地	ビニルクロス張	C1	△	化粧PBァ9．5張	塩ビ	2,500	○	壁掛ホワイトボード、受付カウンター、CB
倉庫2	—	F2	△	△	BB3	△	100	W1	△	△	C1	△	△	塩ビ	2,500	○	木製棚
		F1	モルタル木コテ下地	磁器質100角タイル張（防滑性）	BB1	磁器質100角タイル張	100										

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- コンクリート基礎下は、ポリエチレンフィルムァ0．15敷（タテ、ヨコ重ね部分L＝200以上とする）。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。
- 使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。
- 抗菌メラミン不燃化粧合板については、目透し張とすること。
- 杉圧密フローリング、杉小巾板は三重県産材とする。杉小巾板は上小節とする。
- 外装材の色・柄は監督員の指示により決定するものとする。

【シックハウス対応策】

- 使用建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、F☆☆☆☆品　家具等F☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし

【認定番号】

PBァ12．5	：NM−8619 ＜不燃＞
化粧ケイカル板ァ6	：NM−1453 ＜不燃＞
ケイカル板ァ6	：NM−8578 ＜不燃＞
耐水PBァ12．5	：QM−0898 ＜準不燃＞

【記号略号】

PB	石膏ボード
GW	グラスウール
LGS	軽量鉄骨下地

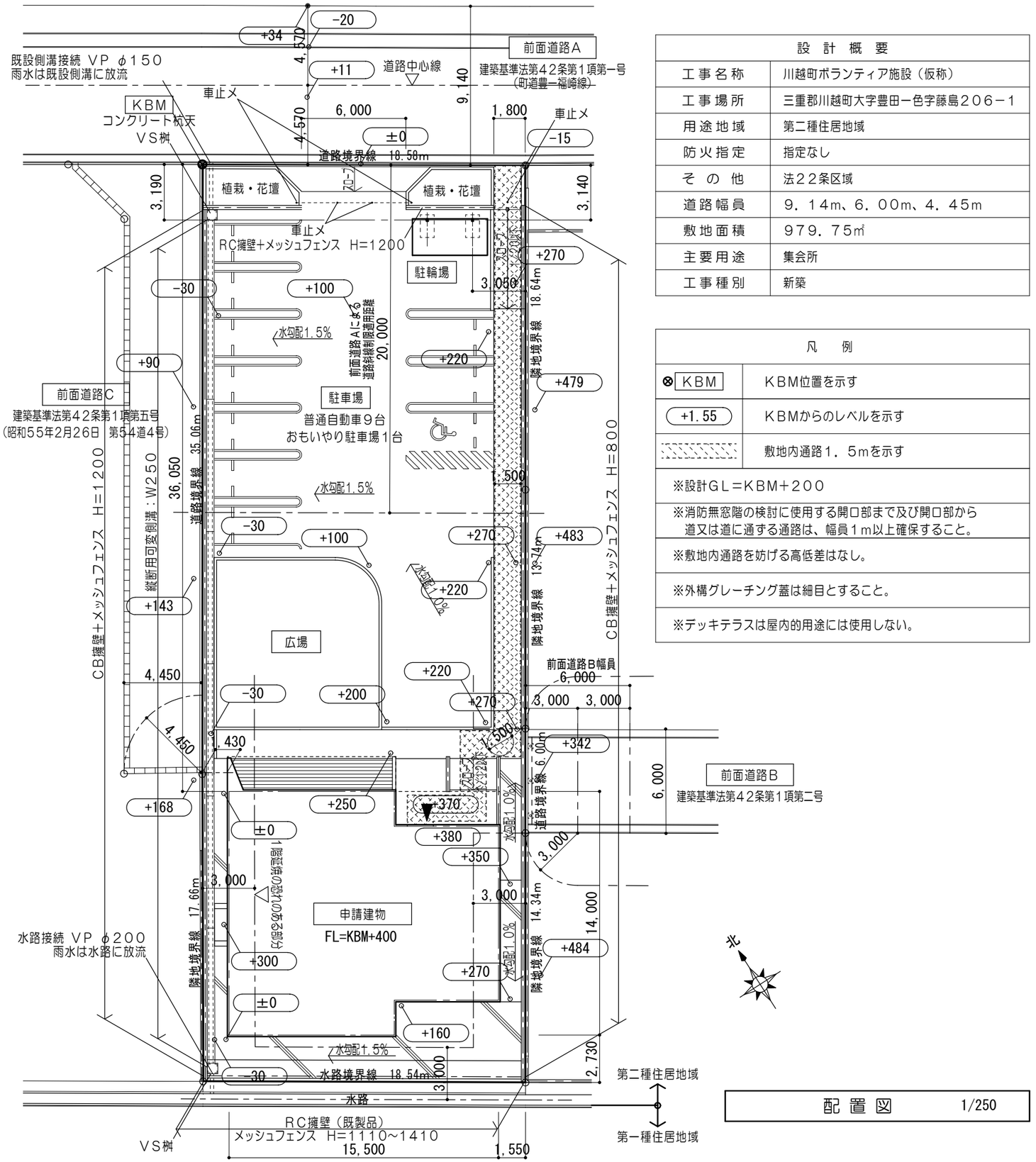
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

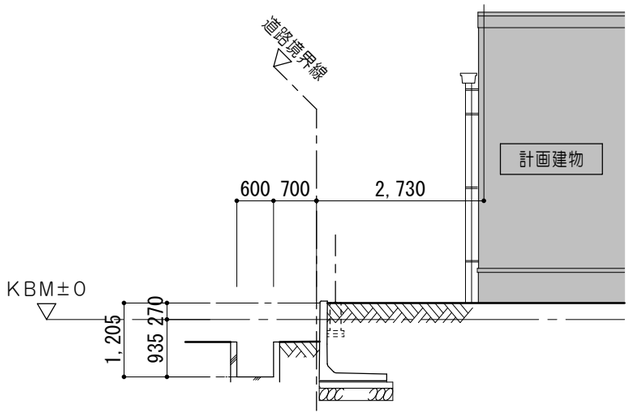
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日：R05/03/24
図面名称：外部仕上表、内部仕上表
縮尺：A1：NS　A3：NS
図面番号：A09

付近見取図



配置図 1/250



水路断面図 1/100

法面下端から上端までの距離が２ｍを超えないため、
崖に該当しない。

県条例６条の検討

設計概要	
工事名称	川越町ボランティア施設（仮称）
工事場所	三重郡川越町大字豊田一色字藤島２０６－１
用途地域	第二種住居地域
防火指定	指定なし
その他	法２２条区域
道路幅員	９．１４m、６．００m、４．４５m
敷地面積	９７９．７５㎡
主要用途	集会所
工事種別	新築

凡例	
⊗ KBM	KBM位置を示す
+1.55	KBMからのレベルを示す
	敷地内通路１．５mを示す

※設計GL＝KBM＋２００

※消防無窓階の検討に使用する開口部まで及び開口部から道又は道に通ずる通路は、幅員１m以上確保すること。

※敷地内通路を妨げる高低差はなし。

※外構グレーチング蓋は細目とすること。

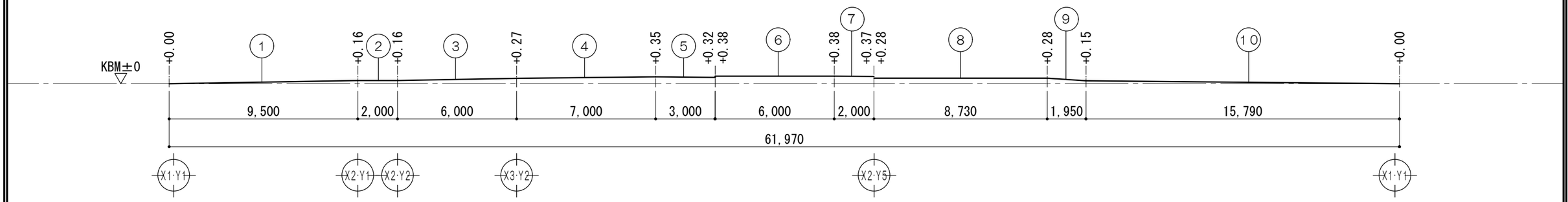
※デッキテラスは屋内的用途には使用しない。

特記事項	

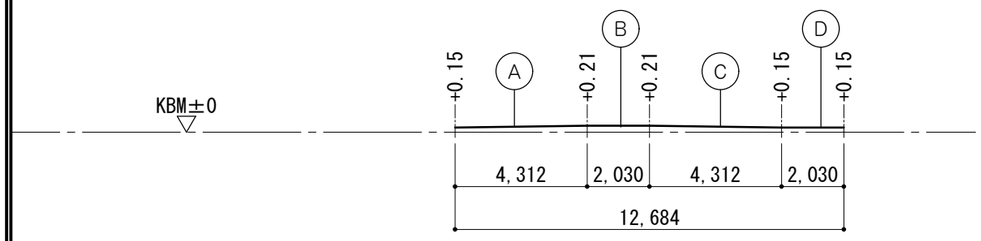
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

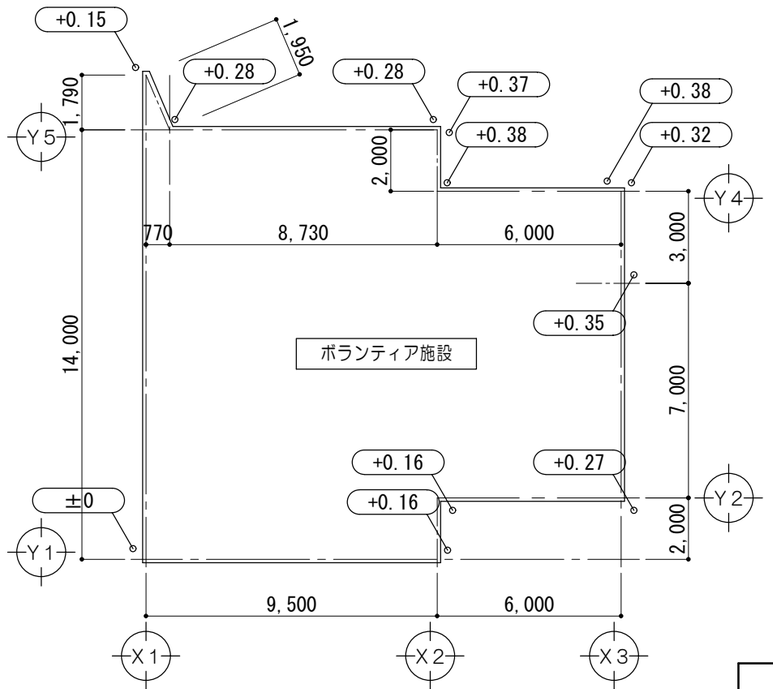
工事名称	設計日
川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	R05/03/24
図面名称：配置図、付近見取図	縮尺 A1:1/125 A3:1/250 / 図面番号 A10

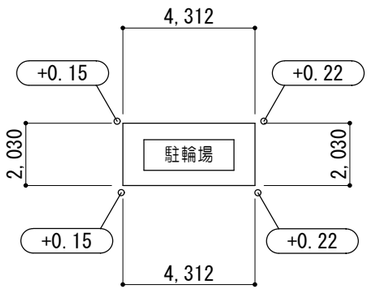


平均地盤算定根拠【ボランティア施設】 1/200　Σ(L1) ＝ 61,970



平均地盤算定根拠【駐輪場】 1/200　Σ(L2) ＝ 12,684



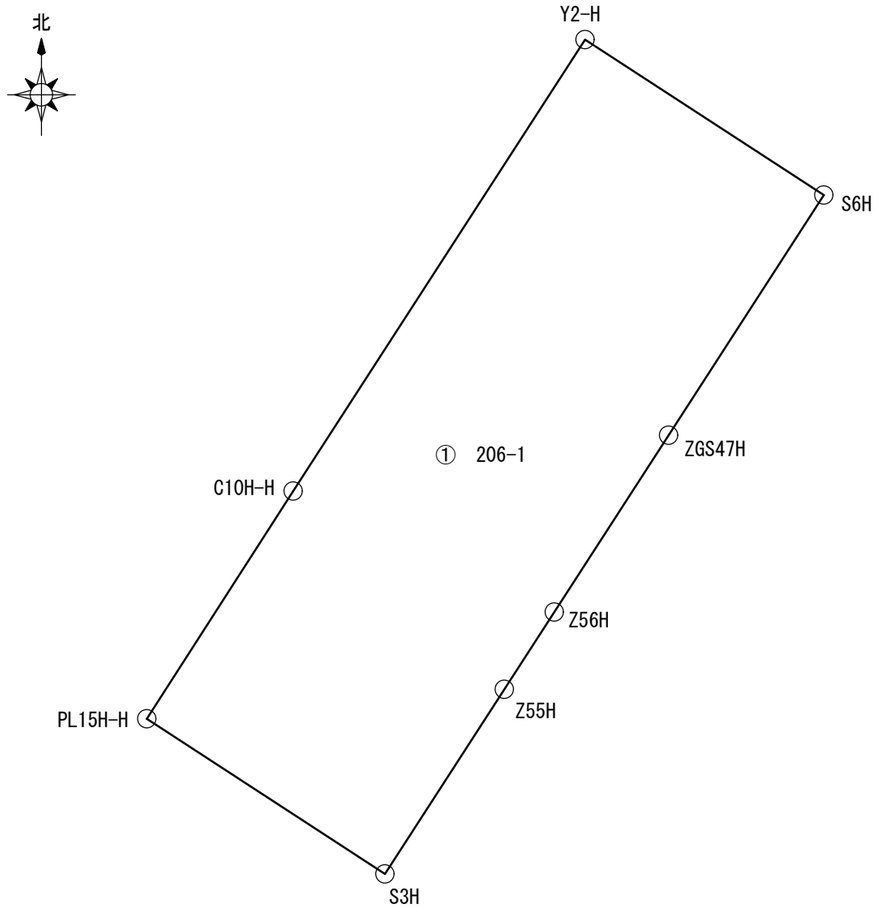


平均地盤面算定平面図 1/200

平均地盤面算定表【ボランティア施設】				
(1)	(0.00+0.16)× 9.500×1/2 =	+0.7600	(8)	0.28×8.730 = +2.4444
(2)	0.16×2.000 =	+0.3200	(9)	(0.28+0.15)×1.950×1/2 = +0.4193
(3)	(0.16+0.27)× 6.000×1/2 =	+1.2900	(10)	(0.15+0.00)×15.790×1/2 = +1.1843
(4)	(0.27+0.35)× 7.000×1/2 =	+2.1700		Σ(A1) ＝ 12.62300
(5)	(0.35+0.32)× 3.000×1/2 =	+1.0050		平均地盤面の計算 ＝Σ(A1) / Σ(L1)
(6)	0.38×6.000 =	+2.2800		＝ 12.6230 / 61.970 ＝ 0.2037
(7)	(0.37+0.38)× 2.000×1/2 =	+0.7500		平均地盤高さ ＝ +0.20 （KBMよりの高さ）＝設計GL

平均地盤面算定表【駐輪場】			
(1)	(0.15+0.22)× 4.312×1/2 =	+0.7977	
(2)	0.22×2.030 =	+0.4466	平均地盤面の計算 ＝Σ(A2) / Σ(L2)
(3)	(0.22+0.15)× 4.312×1/2 =	+0.7977	＝ 2.3465 / 12.684 ＝ 0.1850
(4)	0.15×2.030 =	+0.3045	平均地盤高さ ＝ +0.18 （KBMよりの高さ）

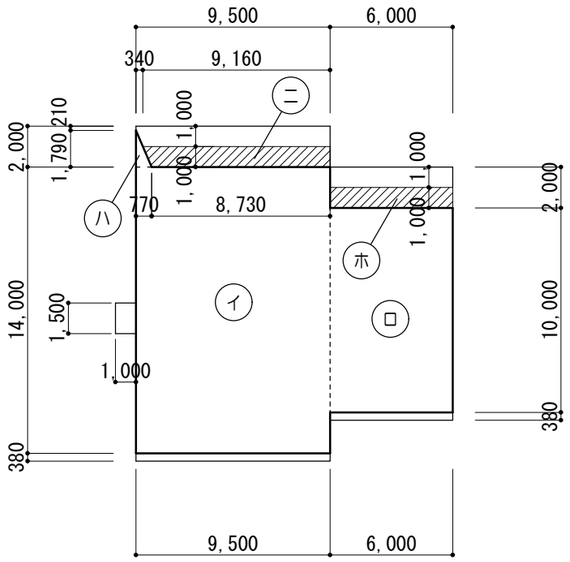
特記事項											
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 平均地盤算定 縮尺 A1:100 A3:200	設計日 R05/03/24 図面番号 A11



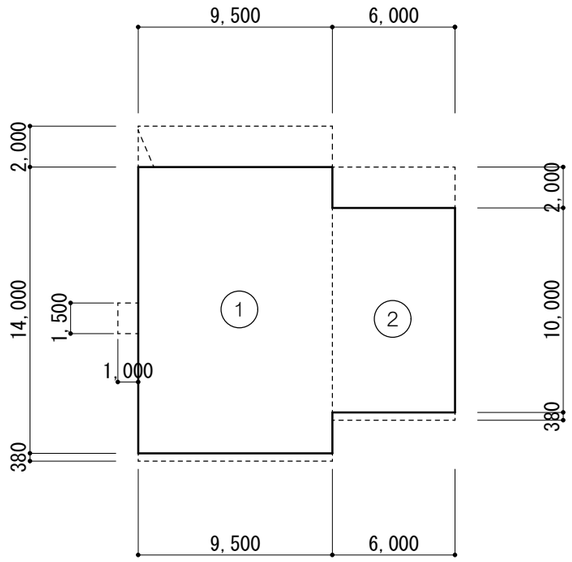
求積表			
地　番	① 206-1		
測　点	X_n(m)	Y_n(m)	$(X_{n+1} - X_{n-1})\cdot Y_n$
Y2-H	-108218.971	61443.186	-1185792.046614
C10H-H	-108248.406	61424.141	-2720905.173877
PL15H-H	-108263.268	61414.597	-1534198.047657
S3H	-108273.387	61430.132	118375.864364
Z55H	-108261.341	61437.920	1049666.863200
Z56H	-108256.302	61441.178	1018510.407706
ZGS47H	-108244.764	61448.640	1671095.764800
S6H	-108229.107	61458.763	1585205.874059
敷地面積		倍 面 積	1,959.505981
979.75 m²		面　　積	979.7529905

敷 地 求 積 図　　1/400

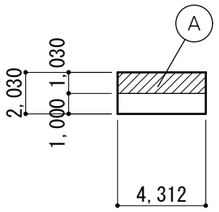
特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 敷地求積図 縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 R05/03/24 図面番号 A12



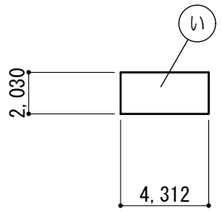
建築面積求積図　1/300
（ボランティア施設）



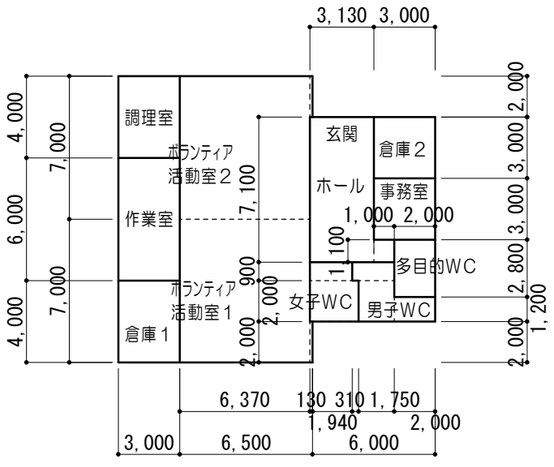
床面積求積図　1/300
（ボランティア施設）



建築面積求積図　1/300
（駐輪場）



床面積求積図　1/300
（駐輪場）



各室求積図　1/300
（ボランティア施設）

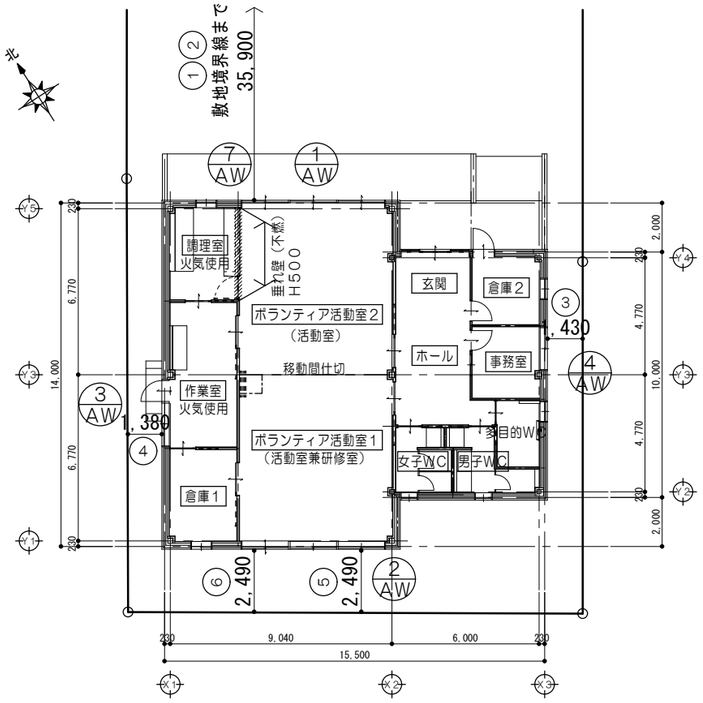
ボランティア施設	建物求積表			
	イ	9.500 × 14.000 ＝ 133.000	1	9.500 × 14.000 ＝ 133.000
	ロ	6.000 × 10.000 ＝ 60.000	2	6.000 × 10.000 ＝ 60.000
	ハ	0.770 × 1.790 ÷ 2 ＝ 0.68915		
	ニ	(9.160 ＋ 8.730) × 1.000 ÷ 2 ＝ 8.945		
	ホ	6.000 × 1.000 ＝ 6.000		
	建築面積	イ＋ロ＋ハ＋ニ＋ホ	＝ 208.634	208.63 ㎡
	延床面積	1＋2	＝ 193.000	193.00 ㎡

駐輪場上屋	建物求積表			
	A	4.312 × 1.030 ＝ 4.441		
	い	4.312 × 2.030 ＝ 8.753		
	建築面積	A	＝ 4.441	4.44 ㎡
	延床面積	い	＝ 8.753	8.75 ㎡

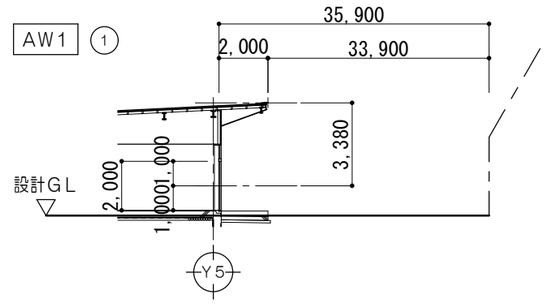
各室求積表

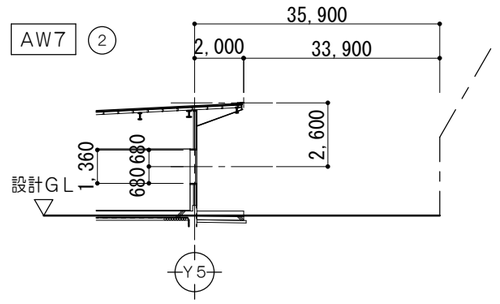
室名	計算式	室面積	室名	計算式	室面積
玄関・ホール	3.130 × 7.100 ＝ 22.223	23.32 ㎡	倉庫2	3.000 × 3.000 ＝ 9.000	9.00 ㎡
	1.000 × 1.100 ＝ 1.100		事務室	3.000 × 3.000 ＝ 9.000	9.00 ㎡
ボランティア活動室1	6.370 × 7.000 ＝ 44.590	44.85 ㎡	多目的WC	2.000 × 2.800 ＝ 5.600	5.60 ㎡
	0.130 × 2.000 ＝ 0.260		男子WC	2.060 × 0.900 ＝ 1.854	7.75 ㎡
ボランティア活動室2	6.370 × 7.000 ＝ 44.590	44.85 ㎡		1.750 × 2.000 ＝ 3.500	
	0.130 × 2.000 ＝ 0.260			2.000 × 1.200 ＝ 2.400	
調理室	3.000 × 4.000 ＝ 12.000	12.00 ㎡	女子WC	2.070 × 0.900 ＝ 1.863	6.62 ㎡
作業室	3.000 × 6.000 ＝ 18.000	18.00 ㎡		2.380 × 2.000 ＝ 4.760	
倉庫1	3.000 × 4.000 ＝ 12.000	12.00 ㎡			

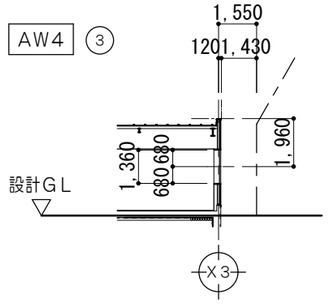
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 建物求積図、各室求積図 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 A13

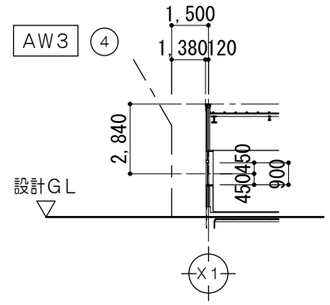


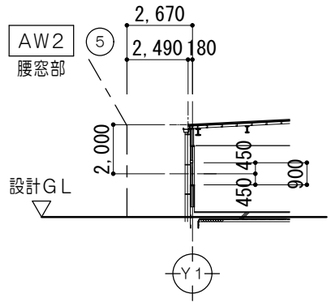
法規平面図　1/250

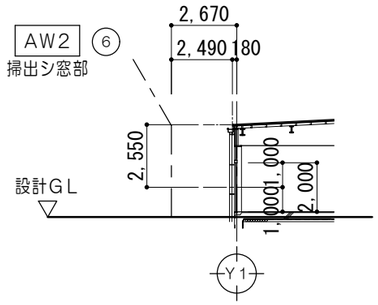






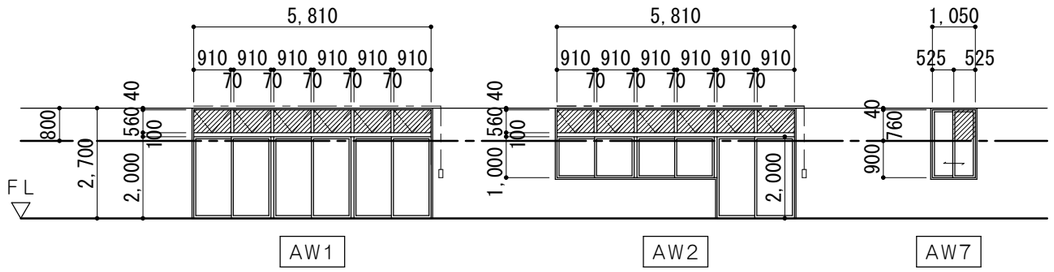


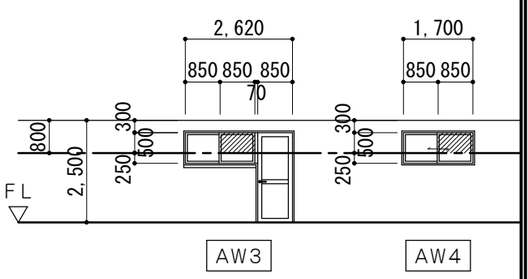




採光根拠　1/250

排煙算定根拠　1/150





法規チェックリスト

採光算定表

室　名	室面積（㎡）	必要採光面積（㎡） 室面積×係数 （小数点3位切り上げ）	窓記号	窓の種類	有効採光面積	都市計画区域内（第二種住居地域） D／H×6－1．4	判　定
玄関・ホール	23.32	非居室			―――		
ボランティア活動室1	44.85	44.85 × 1/20 ＝ 2.25	AW2	引違イ窓（腰窓部） 引違イ窓（掃出シ窓部）	1.89 ×1.00 ×2 ＝ 3.78 ■3.78×3（採光補正係数）＝ 11.34 1.89 ×2.00 ×1 ＝ 3.78 ■3.78×3（採光補正係数）＝ 11.34 合計 22.68	⑤ 2.49/2.00×6-1.4＝ 6.07 →3.0（算定値） ⑥ 2.49/2.55×6-1.4＝ 4.45 →3.0（算定値）	OK
ボランティア活動室2	44.85	44.85 × 1/20 ＝ 2.25	AW1	引違イ窓	1.89 ×2.00 ×3 ＝ 11.34 ■11.34×3（採光補正係数）＝ 34.02	① 33.90/3.38×6-1.4＝ 58.77 →3.0（算定値）	OK
調理室	12.00	12.00 × 1/20 ＝ 0.60	AW7	引違イ窓	1.05 ×1.66 ×1 ＝ 1.74 ■1.74×3（採光補正係数）＝ 5.22	② 33.90/2.60×6-1.4＝ 76.83 →3.0（算定値）	OK
作業室	18.00	18.00 × 1/20 ＝ 0.90	AW3	引違イ窓	1.70 ×0.75 ×1 ＝ 1.275 ■1.275×1.51（採光補正係数）＝ 1.92	④ 1.38/2.84×6-1.4＝ 1.51 →1.51（算定値）	OK
倉庫1	12.00	非居室			―――		
倉庫2	9.00	非居室			―――		
事務室	9.00	9.00 × 1/20 ＝ 0.45	AW4	引違イ窓	1.70 ×0.75 ×1 ＝ 1.27 ■1.27×2.97（採光補正係数）＝ 3.77	③ 1.43/1.96×6-1.4＝ 2.97 →2.97（算定値）	OK
多目的WC	5.60	非居室			―――		
男子WC	7.75	非居室			―――		
女子WC	6.62	非居室			―――		

換気算定表

必要換気面積（㎡） 室面積×係数 （小数点3位切り上げ）	窓記号	有効換気面積	判　定
非居室		―――	
44.85 × 1/20 ＝ 2.25	AW2	0.945 ×1.00 ×2 ＝ 1.89 0.945 ×2.00 ×1 ＝ 1.89 合計 3.78	OK
44.85 × 1/20 ＝ 2.25	AW1	0.945 ×2.00 ×3 ＝ 5.67	OK
12.00 × 1/20 ＝ 0.60	AW7	0.525 ×1.66 ×1 ＝ 0.87	OK
18.00 × 1/20 ＝ 0.90	AW3	0.85 ×0.75 ×1 ＝ 0.63 0.85 ×2.20 ×1 ＝ 1.87 合計 2.50	OK
非居室		―――	
非居室		―――	
9.00 × 1/20 ＝ 0.45	AW4	0.85 ×0.75 ×1 ＝ 0.63	OK
非居室		―――	
非居室		―――	
非居室		―――	

排煙算定表

必要排煙面積（㎡） 室面積×係数 （小数点3位切り上げ）	窓記号	有効排煙面積	判　定
非居室			
44.85 × 1/50 ＝ 0.90	AW2	0.91 ×0.56 ×6 ＝ 3.05	OK
44.85 × 1/50 ＝ 0.90	AW1	0.91 ×0.56 ×6 ＝ 3.05	OK
12.00 × 1/50 ＝ 0.24	AW7	0.525 ×0.66 ×1 ＝ 0.34	OK
18.00 × 1/50 ＝ 0.36	AW3	0.85 ×0.50 ×1 ＝ 0.42	OK
非居室			
非居室			
9.00 × 1/50 ＝ 0.18	AW4	0.85 ×0.50 ×1 ＝ 0.42	OK
非居室			
非居室			
非居室			

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

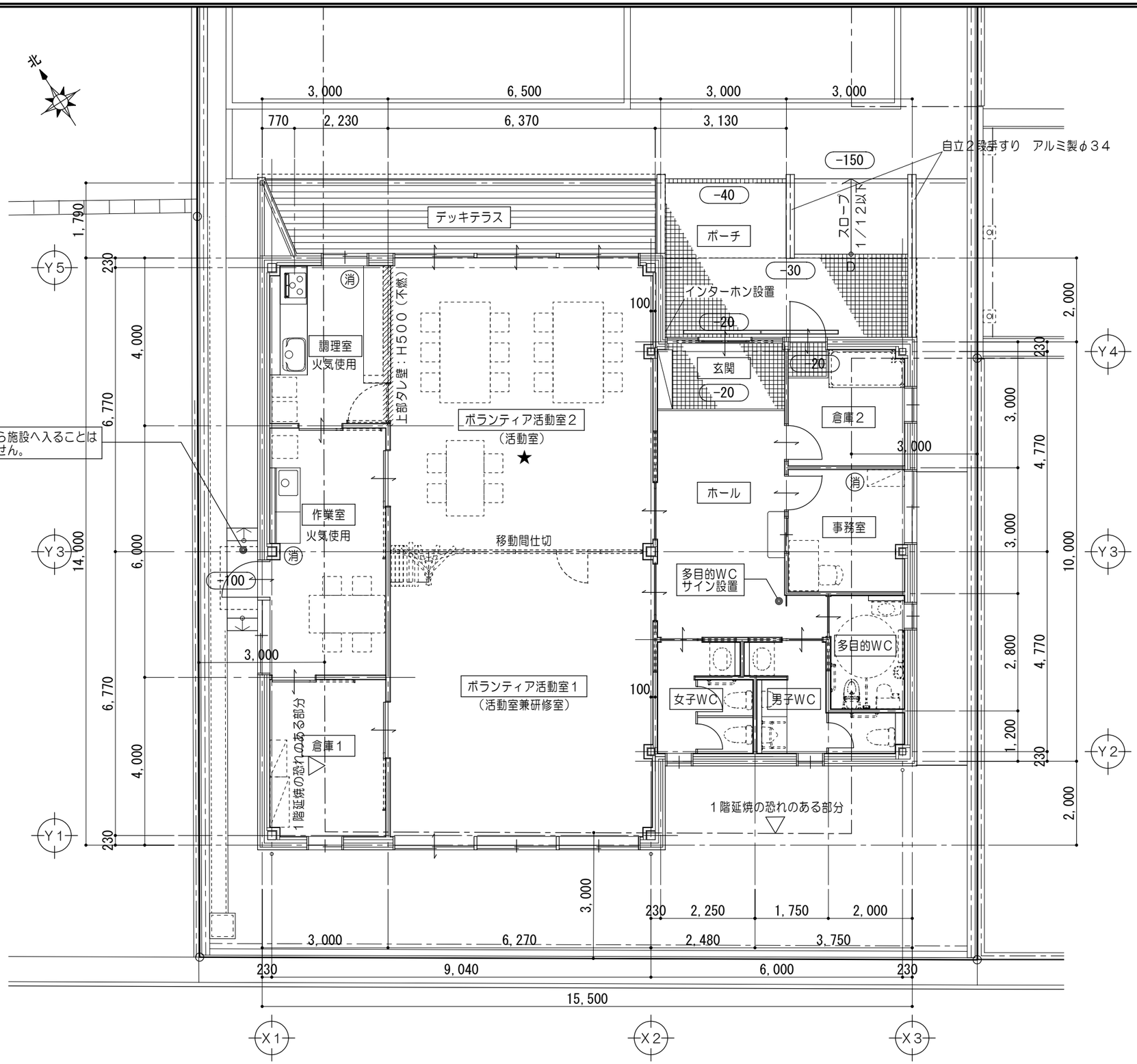
工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

設計日：R05/03/24

図面名称：法規チェックリスト

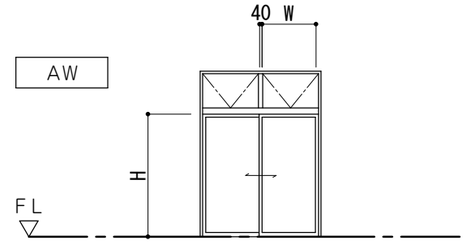
縮尺：A1：1/75，125　A3：1/150，250

図面番号：A14



平 面 図　1/100

凡　例	
+●	ＦＬ＝±０からの高さを示す （特記なき限りはＦＬ＝±０とする。）
消	消火器（ＡＢＣ粉末１０型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
▲	柱芯を示す
※デッキテラス及びポーチは屋内的用途には使用しない。	
※段鼻は周囲仕上面と色分けをすること。	



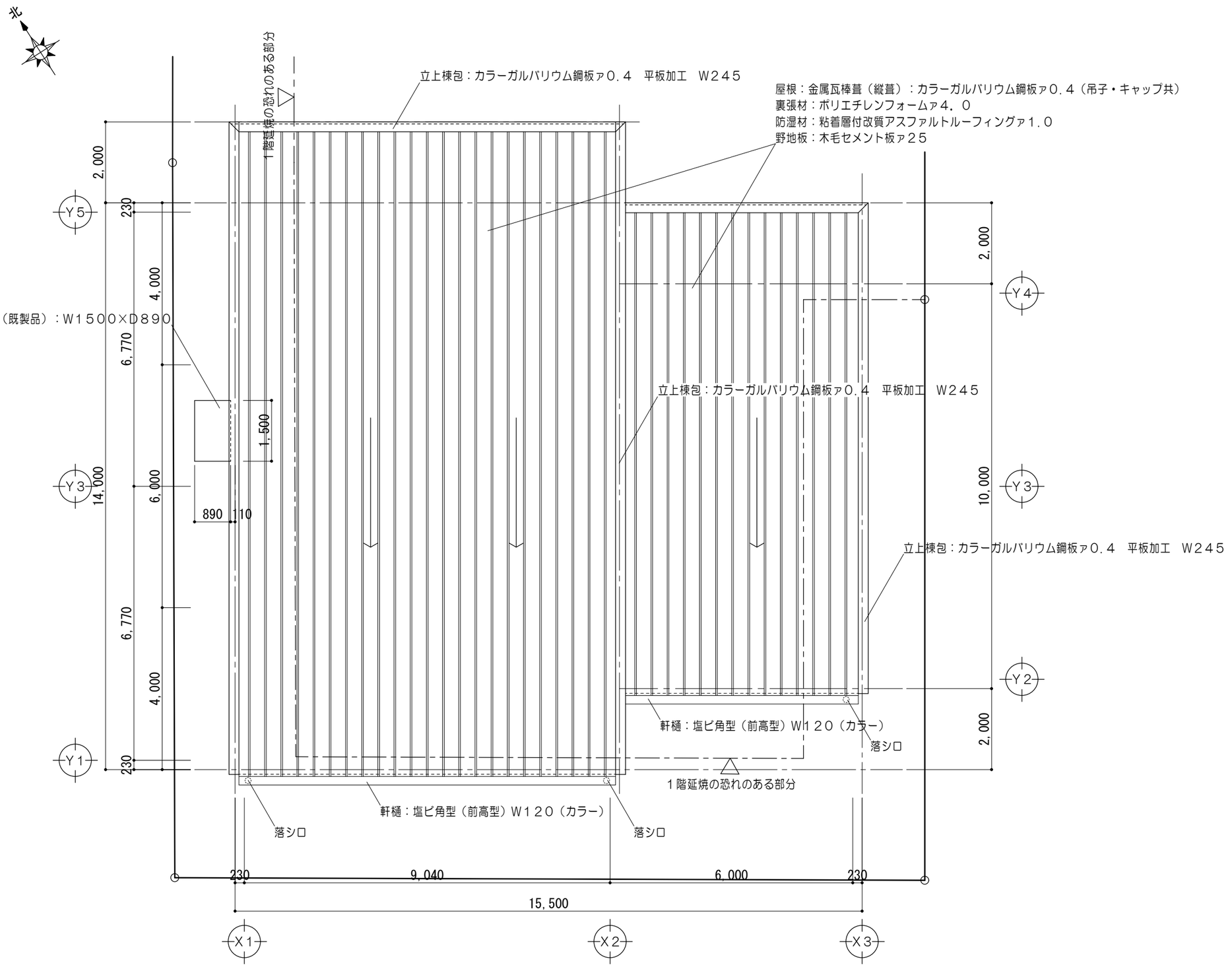
消防開口根拠図

１階 消防無窓階の検討		
必要面積	有効面積	判定
193.00/30 ＝6.44	AW2　0.905×2.00×3＝5.43 AW4　0.905×2.00×1＝1.81 TOTAL　＝7.24	OK

（註記）
消防法上の無窓階計算に算入する建具について
・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする
・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする
・鍵付き制限ストッパーは設置しない

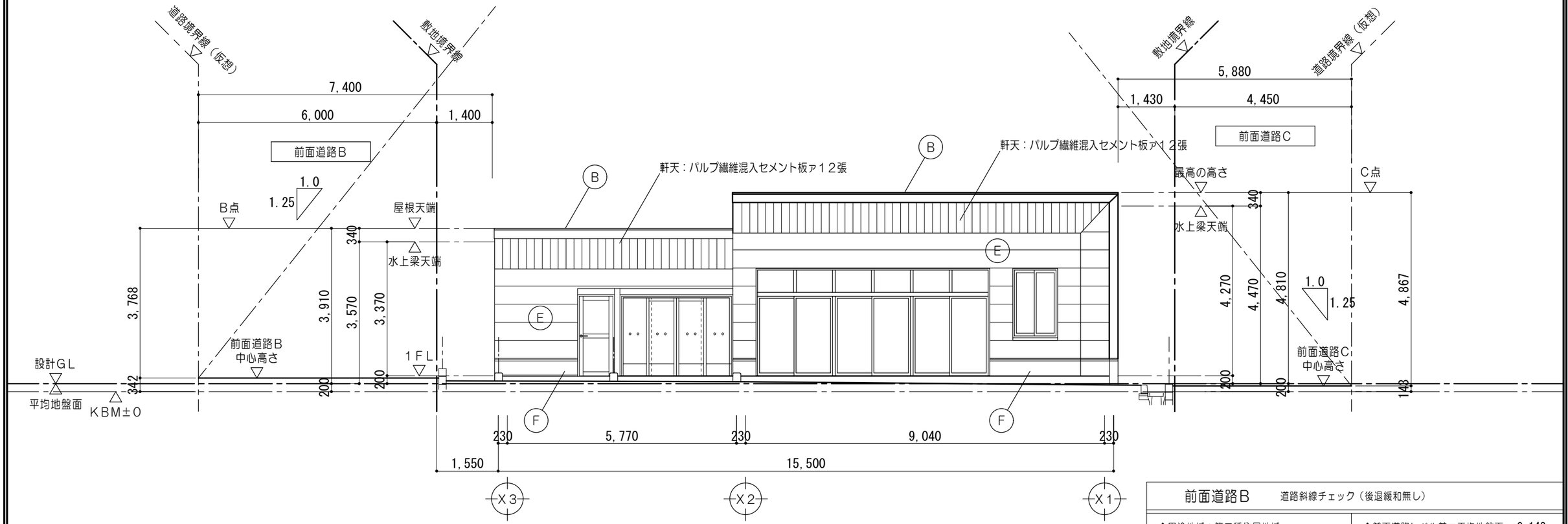
棟の収容人数算定表		
階	利用する室	席数　又は　床面積÷０．５（人）
1	事務室	１席
	調理室	１２．００÷０．５＝２４人
	ボランティア活動室１	４５．５０÷０．５＝９１人
	ボランティア活動室２	１６席
	作業室	４席
		計　１３６人

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 平面図 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A15

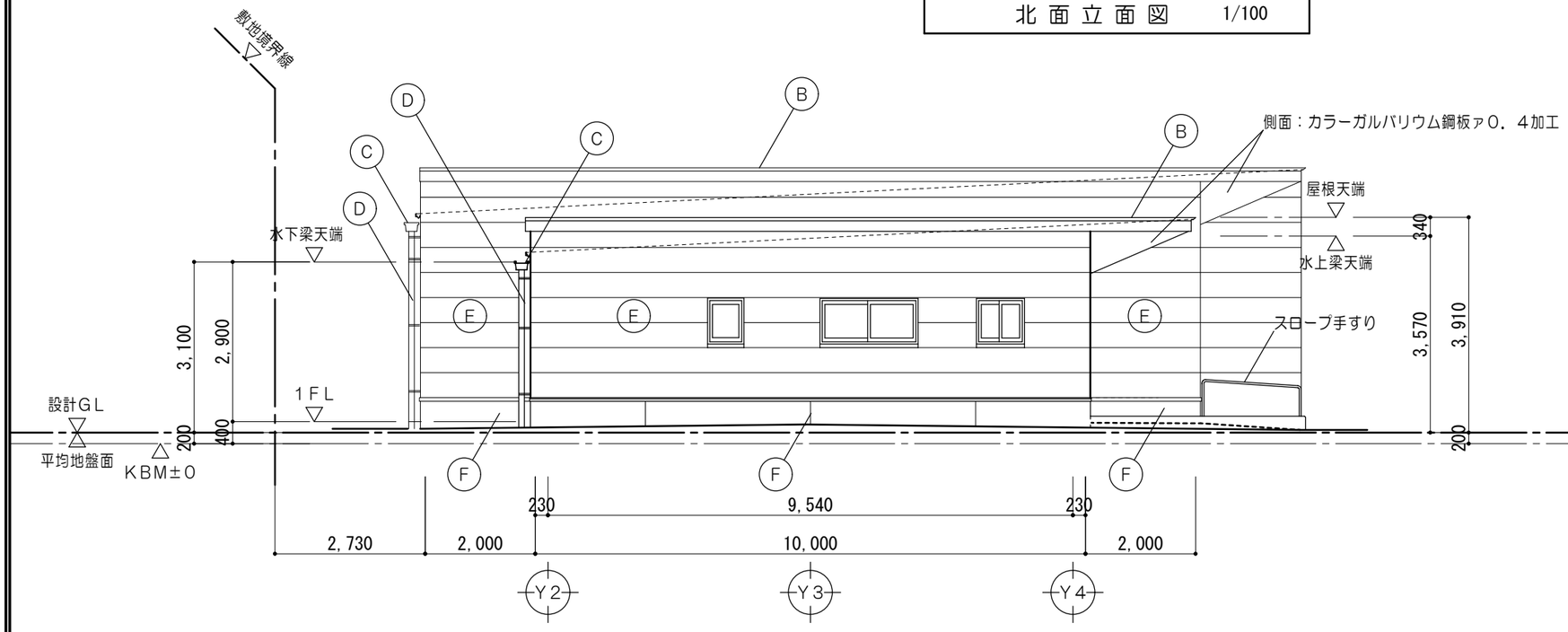


屋根伏図　1/100

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 屋根伏図 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A16



北 面 立 面 図　1/100



東 面 立 面 図　1/100

前面道路B　道路斜線チェック（後退緩和無し）

◆用途地域：第二種住居地域	◆前面道路レベル差＝平均地盤面　+0.142
◆前面道路幅員＝　6,000	◆道路斜線：A点＝道路CLレベル　+3,768
6,000　x1.25＝　7,500	∴ 7,500 ＞ 3,768

前面道路C　道路斜線チェック（後退緩和無し）

◆用途地域：第二種住居地域	◆前面道路レベル差＝平均地盤面　-0.057
◆前面道路幅員＝　4,450	◆道路斜線：A点＝道路CLレベル　+4,867
5,880　x1.25＝　7,350	∴ 7,350 ＞ 4,867

隣地斜線チェック（高低差緩和無し）

◆用途地域：第二種住居地域

◆建築物の最高高さが4．81mであり20m以下の為、隣地斜線制限は明らかに適合している。

凡　例

A	屋　根：	金属瓦棒葺（縦葺）　カラーガルバリウム鋼板ァ0．4（吊子・キャップ共）
B	笠　木：	カラーガルバリウム鋼板ァ0．4加工　W245
C	軒　樋：	塩ビ角型（前高型）W120（カラー）
D	タテ樋：	硬質塩化ビニル管φ75（カラー）
E	外　壁：	窯業系サイディングァ16　ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共）
F	根廻り：	コンクリート打放補修　撥水材塗布　誘発目地@3000

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			

法適合確認

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

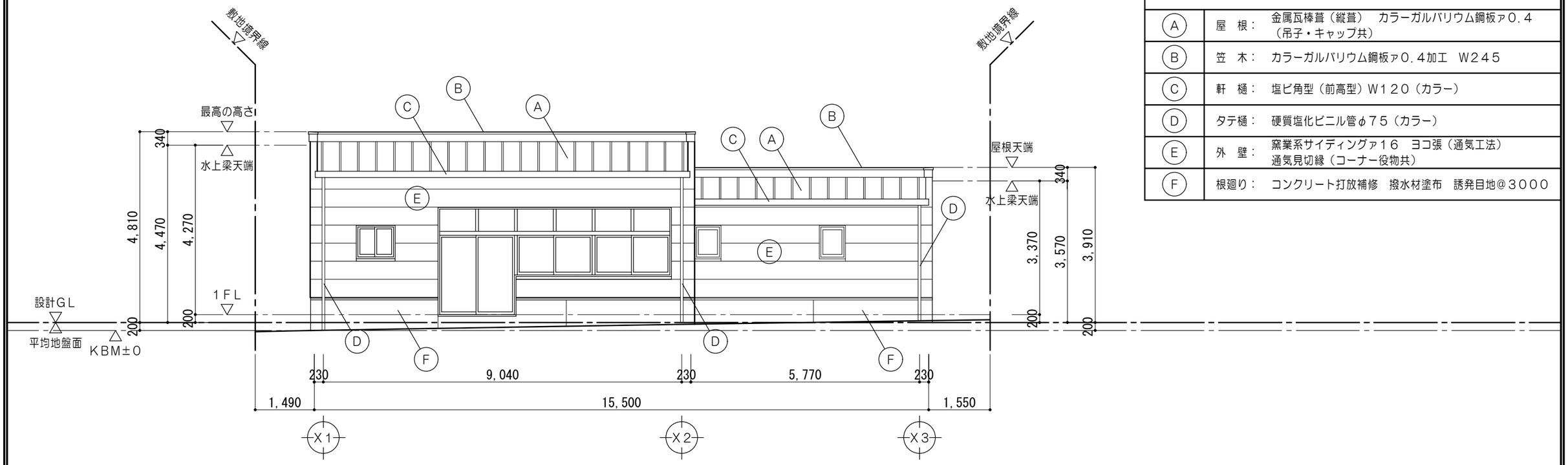
設計日：R05/03/24

図面名称：立面図No.1

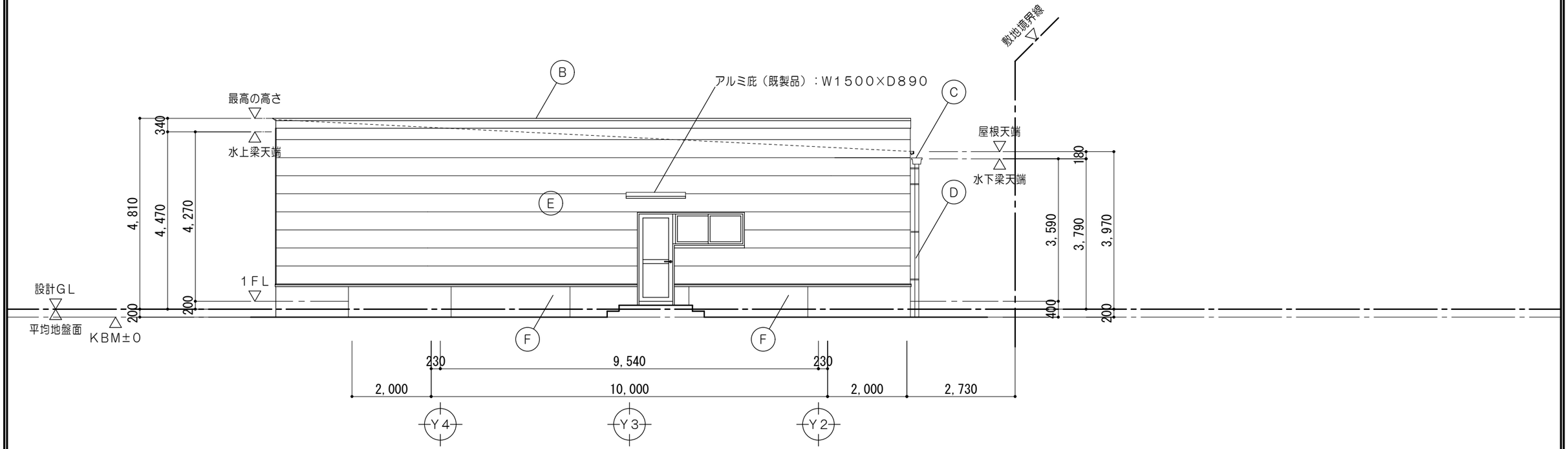
縮尺：A1：1/50　A3：1/100

図面番号：A17

凡　例		
A	屋　根：	金属瓦棒葺（縦葺）　カラーガルバリウム鋼板ァ０．４（吊子・キャップ共）
B	笠　木：	カラーガルバリウム鋼板ァ０．４加工　Ｗ２４５
C	軒　樋：	塩ビ角型（前高型）Ｗ１２０（カラー）
D	タテ樋：	硬質塩化ビニル管φ７５（カラー）
E	外　壁：	窯業系サイディングァ１６　ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共）
F	根廻り：	コンクリート打放補修　撥水材塗布　誘発目地@３０００

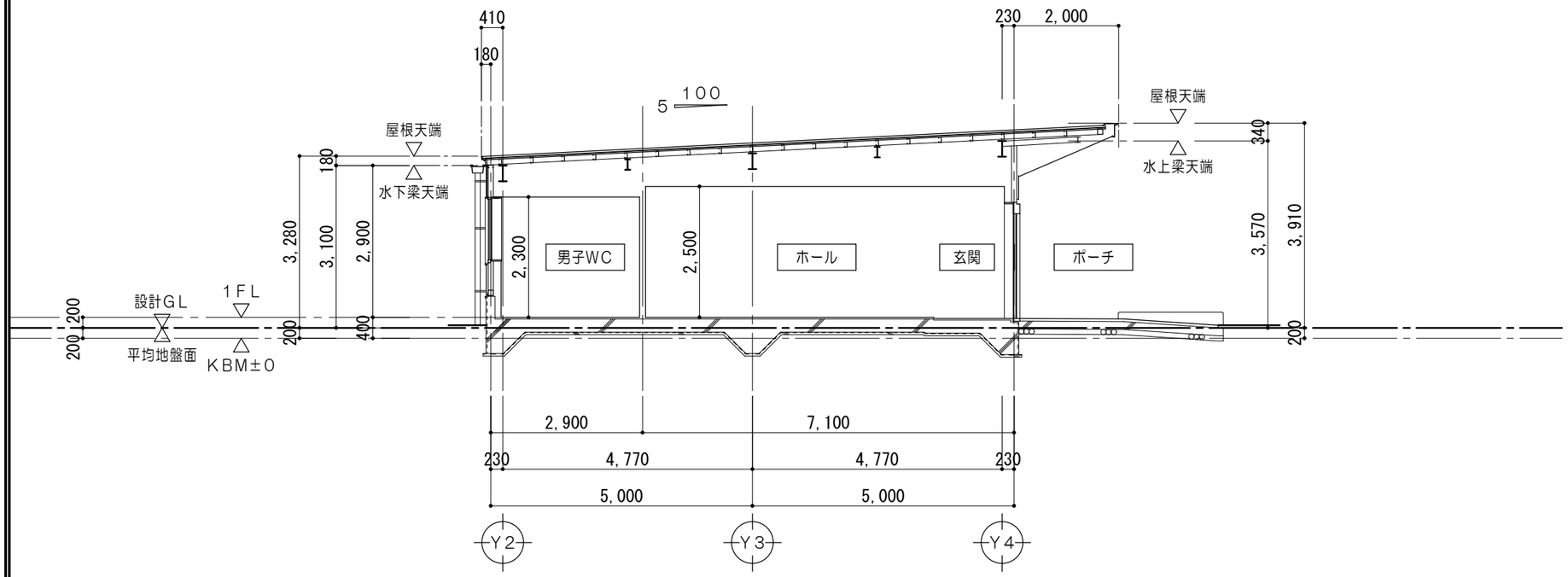


南 面 立 面 図　1/100

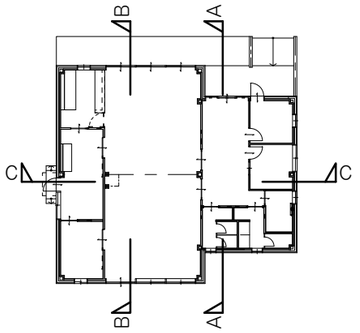


西 面 立 面 図　1/100

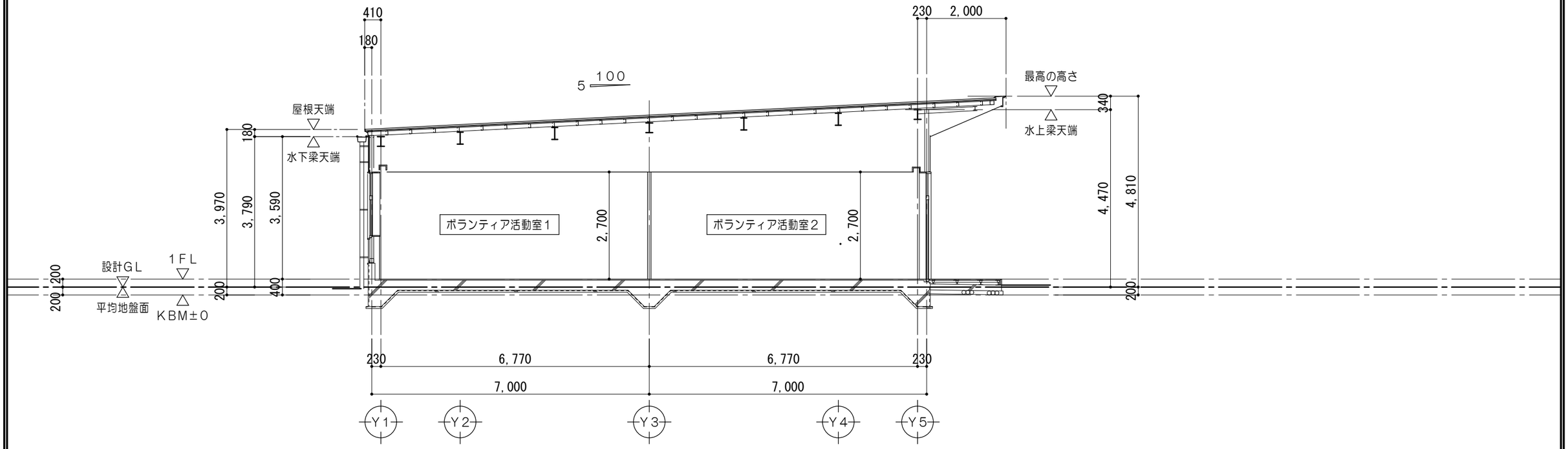
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 立面図No.２ 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A18



A 断面図 1/100

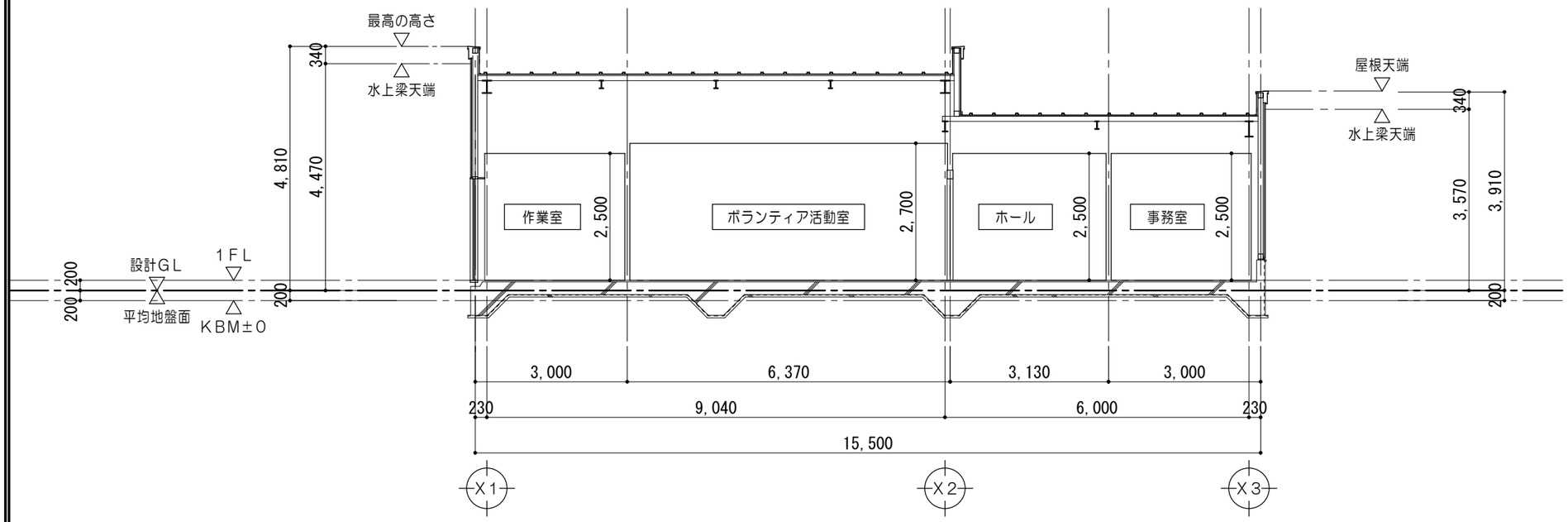


キープラン 1/400

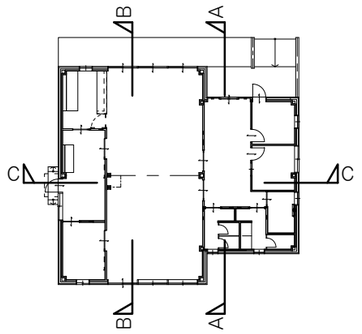


B 断面図 1/100

特記事項		株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 断面図No. 1 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A19



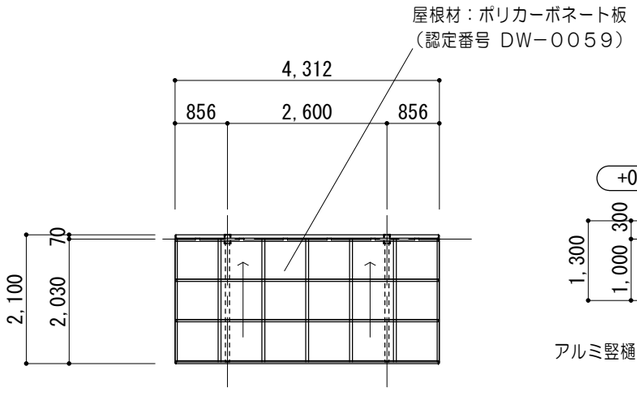
C 断面図 1/100



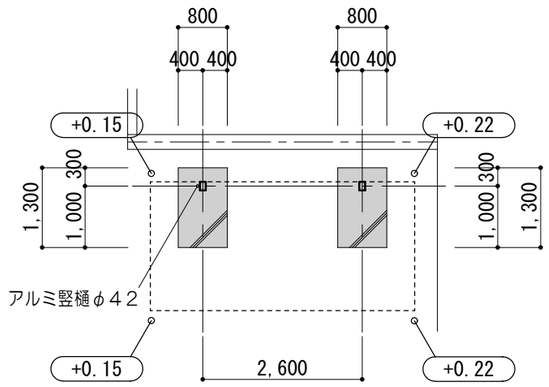
キープラン 1/400

駐輪場 1/100

仕　様	
参考品名	7台用サイクルポート（耐積雪量600N／㎡） 三協立山アルミ　駐輪場　カムフィエース　同等品以上

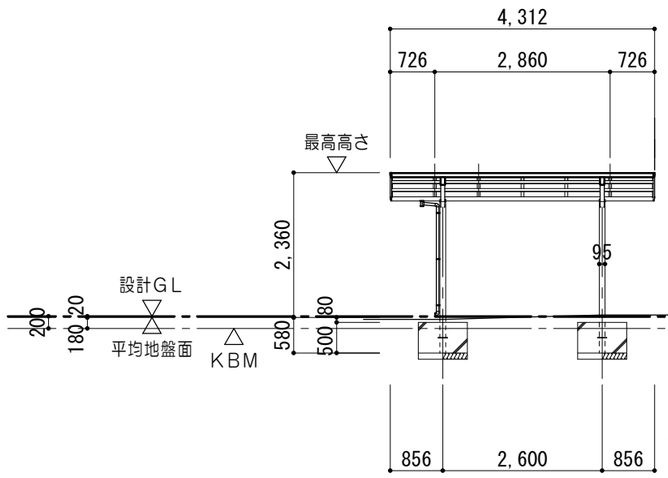


屋根伏図 1/100

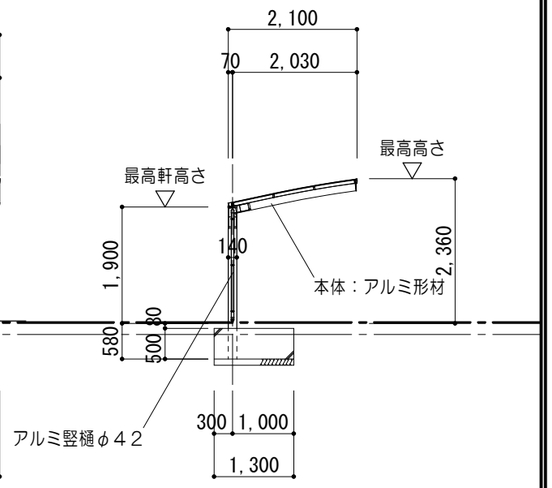


平面図 1/100

+0.00 KBMからのレベルを示す

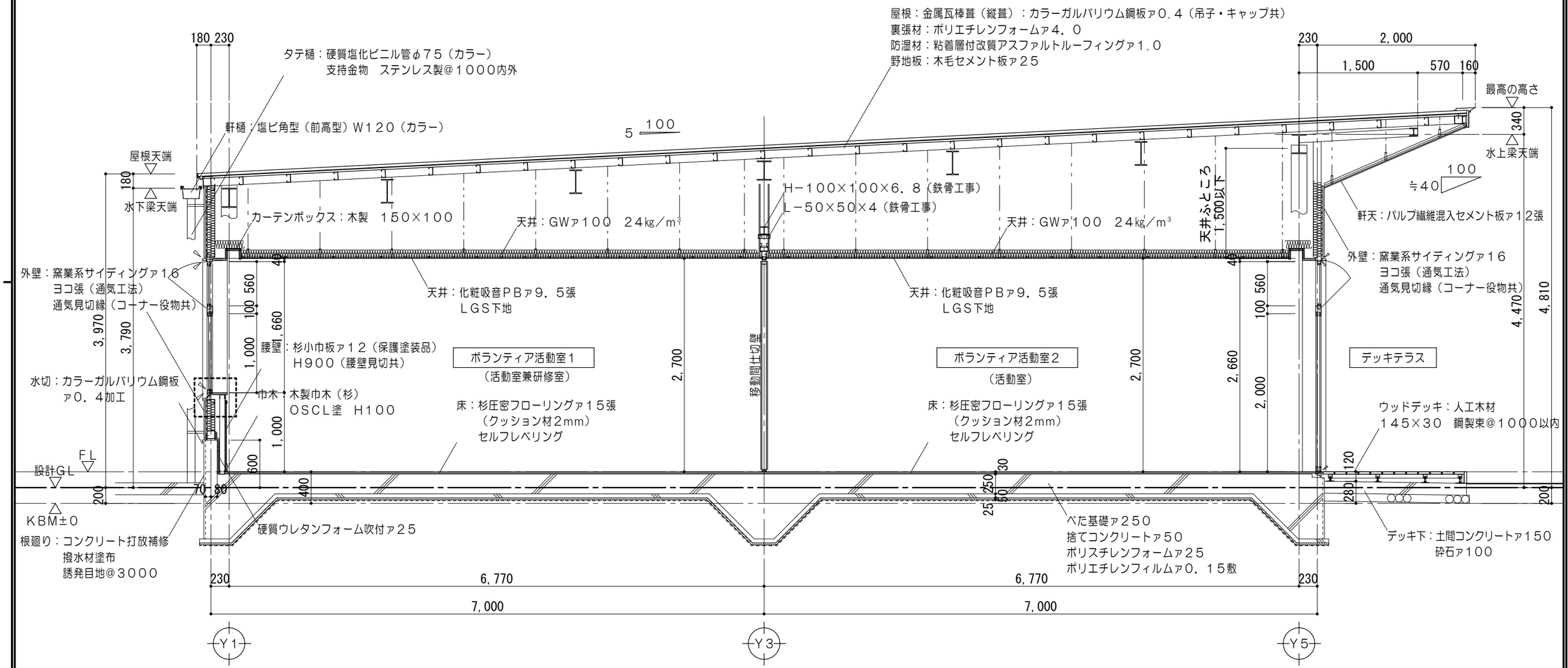


立面図 1/100



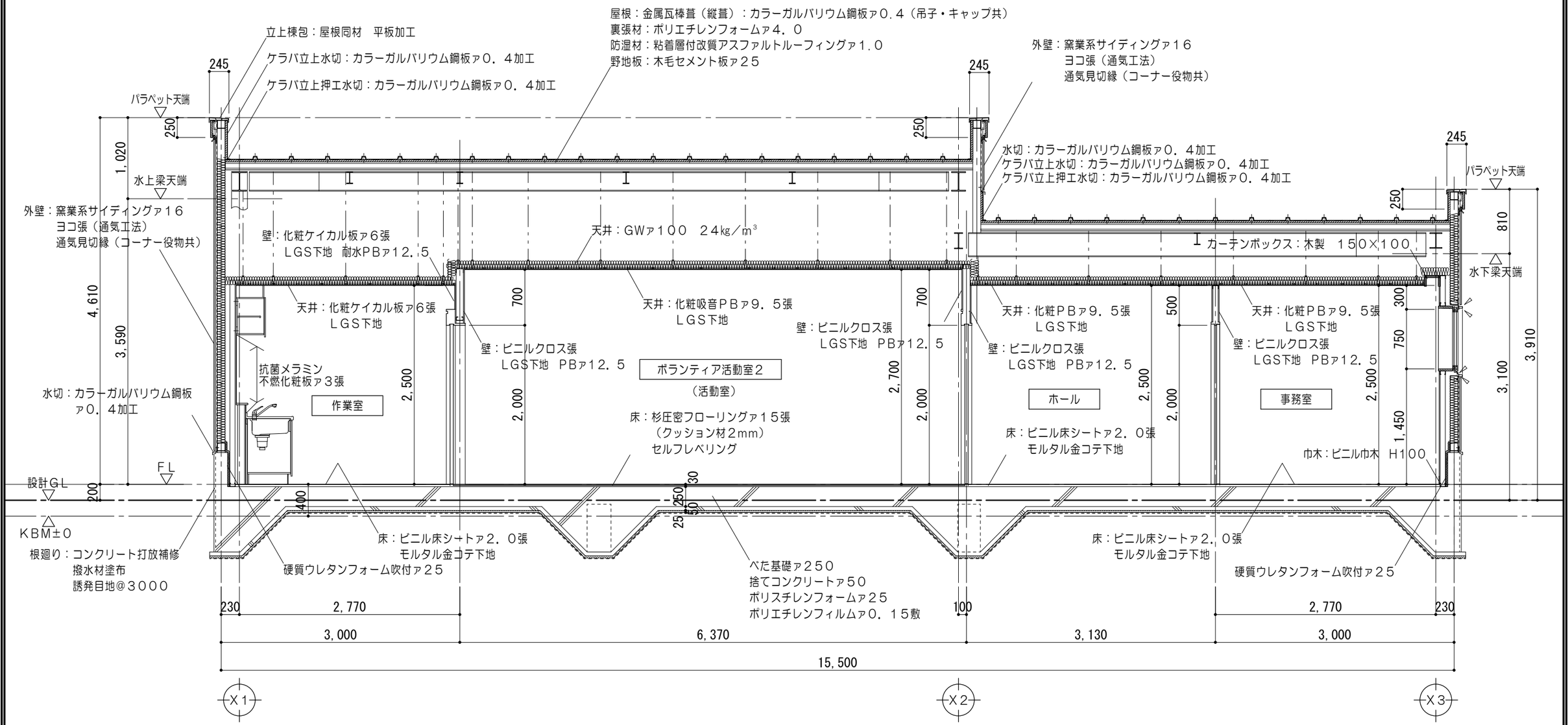
断面図 1/100

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 断面図No.2、駐輪場 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A20



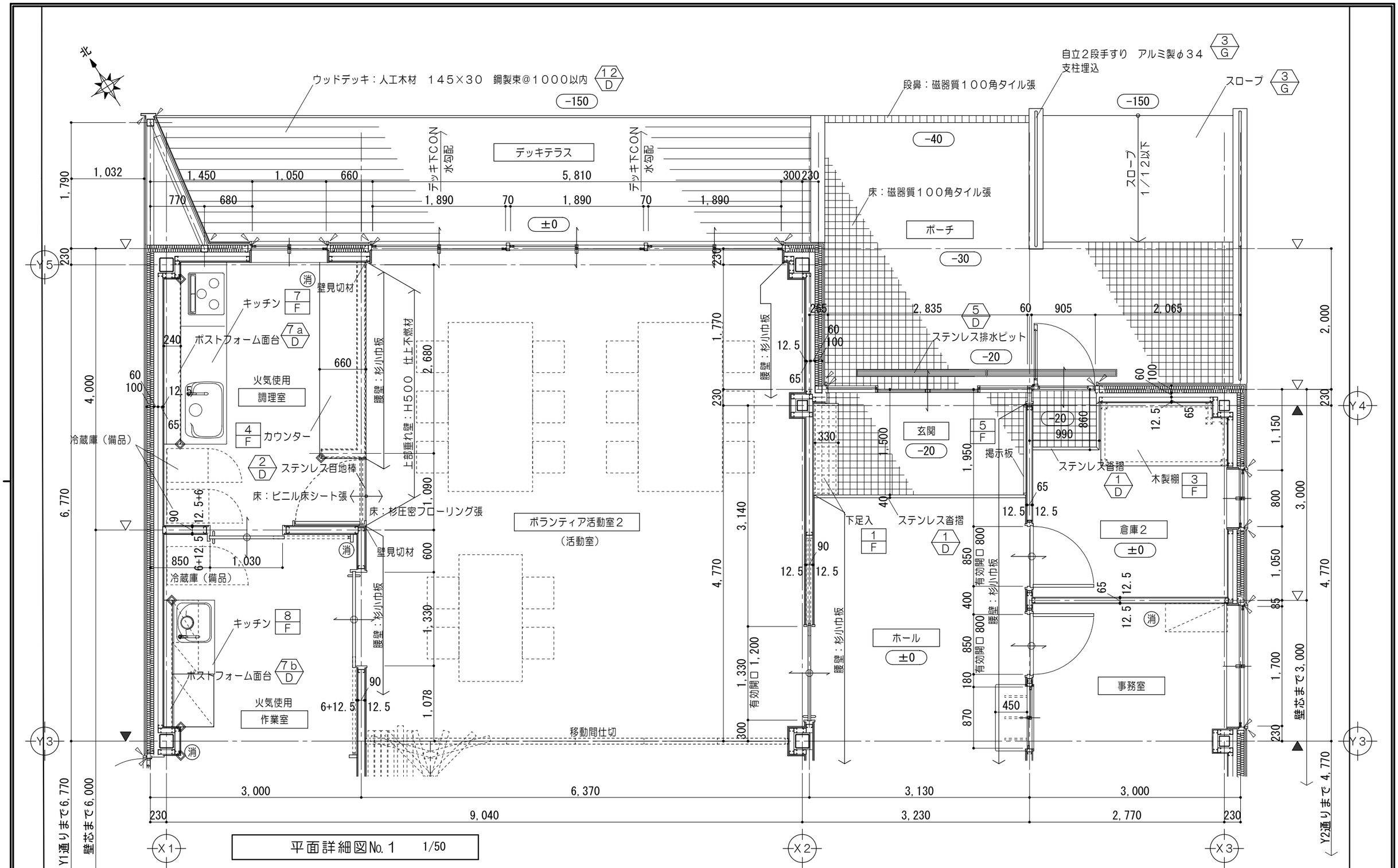
矩計図　1/50

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 矩計図	縮尺 A1：1/25 A3：1/50　図面番号 A21



断面詳細図　1/50

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 断面詳細図 縮尺 A1：1/25 A3：1/50	設計日 R05/03/24 図面番号 A22

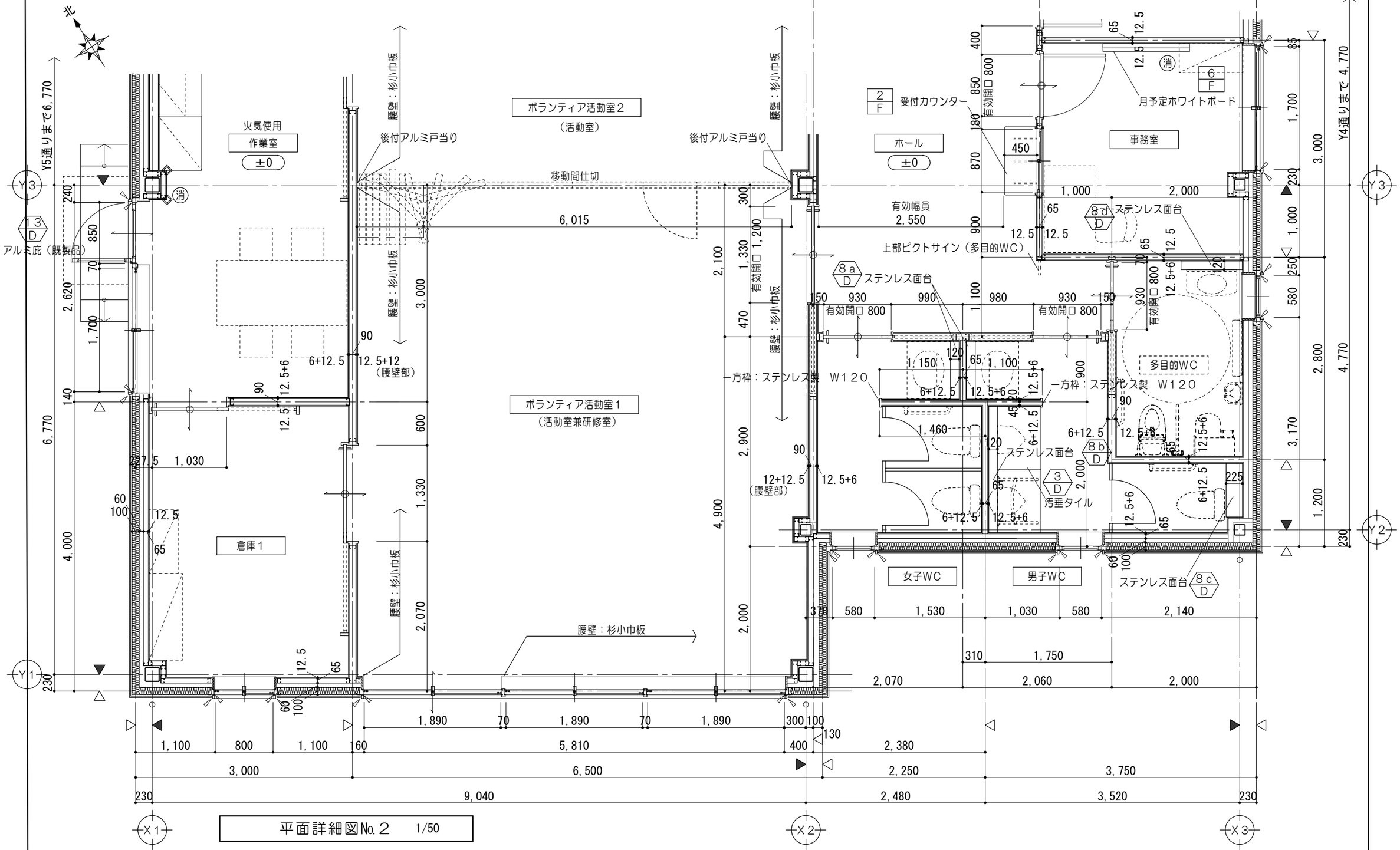


平面詳細図No. 1　1/50

凡　例

△	壁芯を示す	ステンレス沓摺　W４０ ＨＬ仕上を示す	シーリングを示す	1 D	各部詳細図番号を示す	消	消火器ＢＯＸ：置型（ＡＢＣ粉末１０型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する
▲	柱芯を示す	壁仕上出隅部 アルミジョイナー（焼付塗装）を示す	±0 一般ＦＬからの床仕上高さを示す （記入なきは、±０）	1 F	家具詳細図番号を示す		

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 平面詳細図No. 1	縮尺 A1：1/25 A3：1/50	図面番号 A23



平面詳細図No.２　1/50

凡　例

△	壁芯を示す	ステンレス沓摺　W40 HL仕上を示す		シーリングを示す	1/D	各部詳細図番号を示す	消	消火器BOX：置型（ABC粉末10型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する
▲	柱芯を示す	壁仕上出隅部 アルミジョイナー（焼付塗装）を示す	±0	一般FLからの床仕上高さを示す （記入なきは、±0）	1/F	家具詳細図番号を示す		

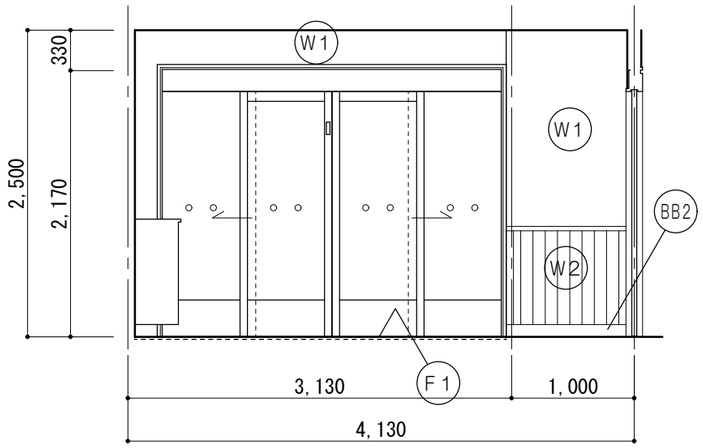
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

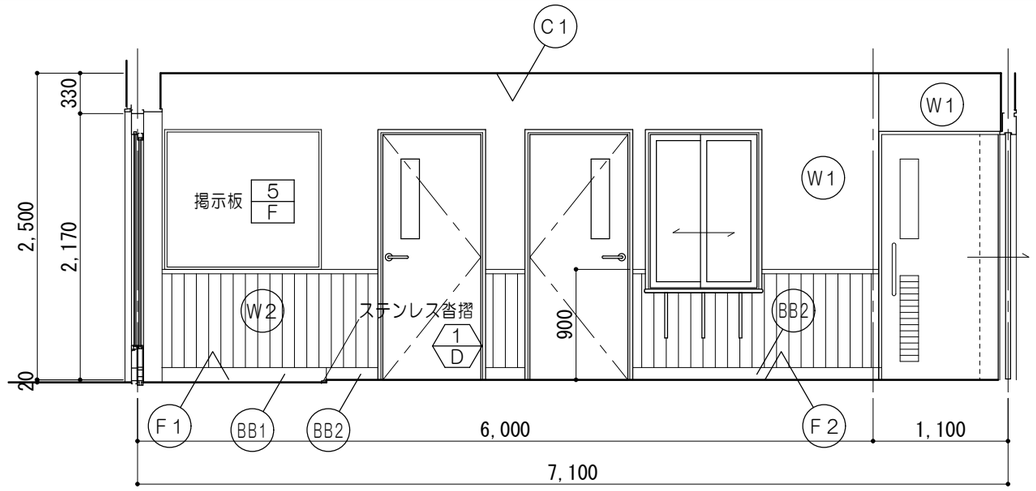
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称	川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
図面名称	平面詳細図No.２	縮尺 A1:1/25 A3:1/50
		図面番号 A24

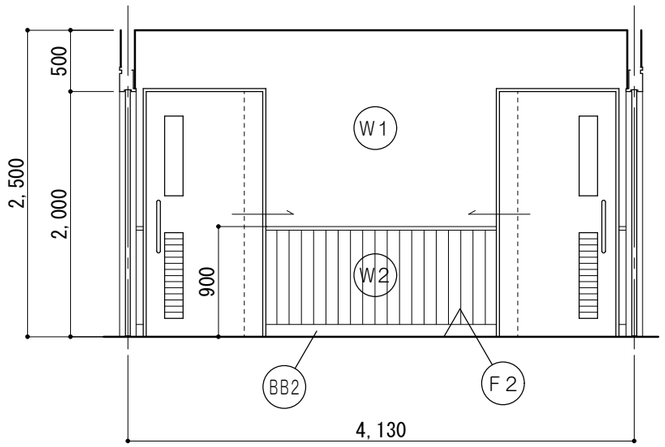
玄関・ホール　1/50



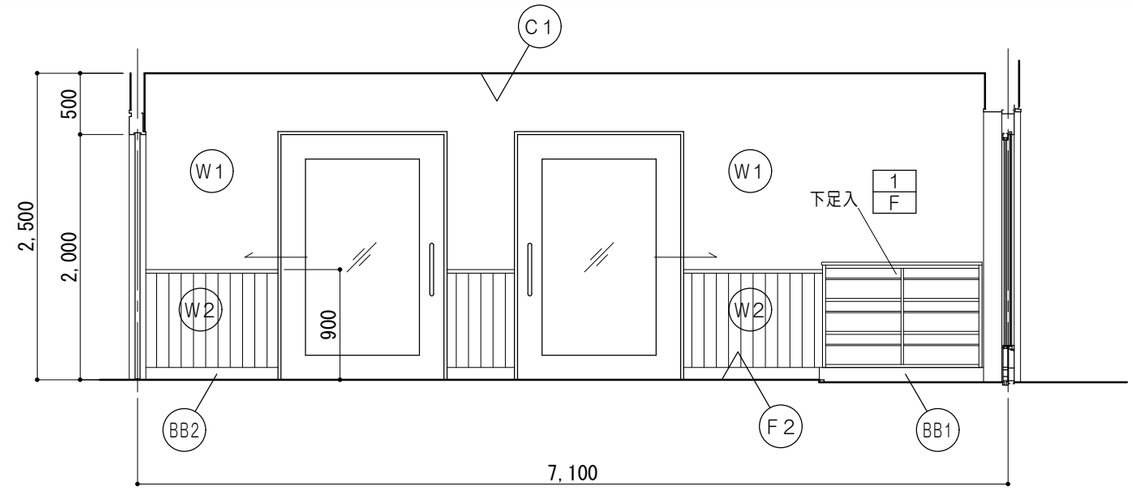
A面



B面



C面



D面

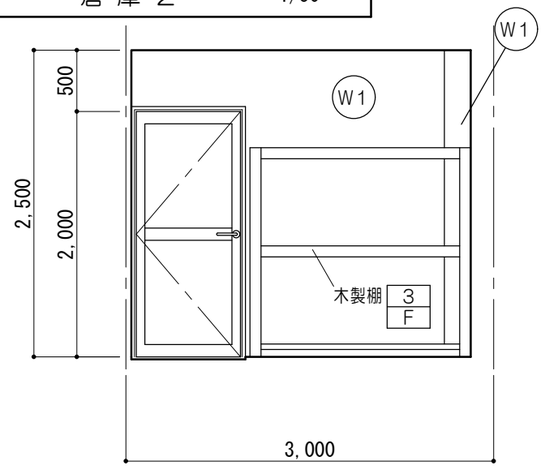
仕上凡例	
F1	床　：磁器質１００角タイル張（防滑性） モルタル木コテ下地
F2	床　：ビニル床シートァ２．０張 モルタル金コテ下地
BB1	巾木：磁器質１００角タイル張
BB2	巾木：木製巾木（杉） ＯＳＣＬ塗　Ｈ１００
W1	壁　：ビニルクロス張 ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
W2	壁　：杉小巾板ァ１２（保護塗装品） Ｈ９００（腰壁見切共） ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
C1	天井：化粧ＰＢァ９．５張 ＬＧＳ下地

特記事項									
		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
		一級建築士	一級建築士	一級建築士					
		第320204号	第378328号	第360917号					
		前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作					

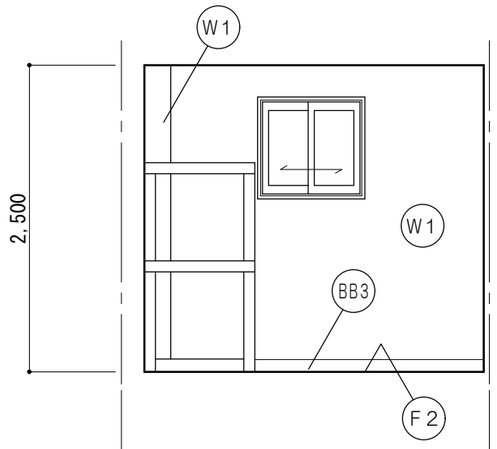
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

工事名称	設計日
川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	R05/03/24
図面名称：展開図No.１（玄関・ホール）　縮尺 A1:1/25 A3:1/50	図面番号：A25

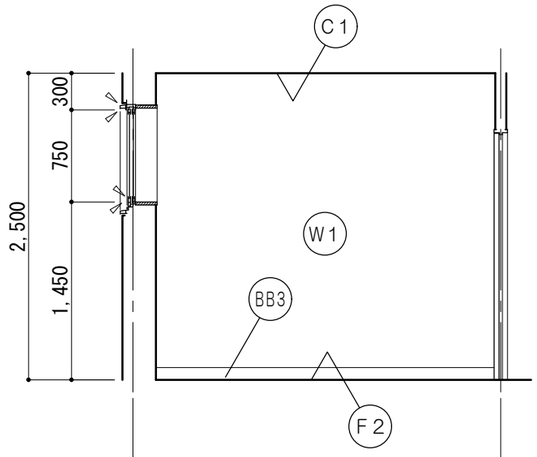
倉庫２　1/50



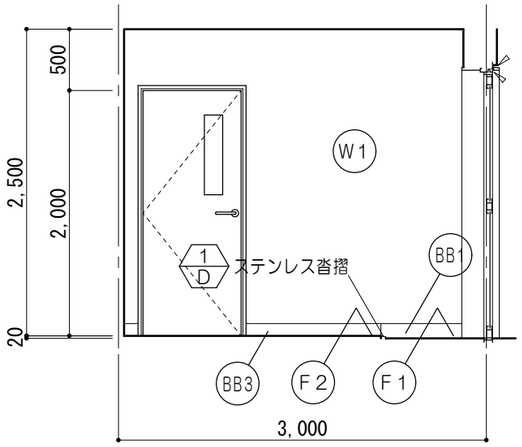
A面



B面

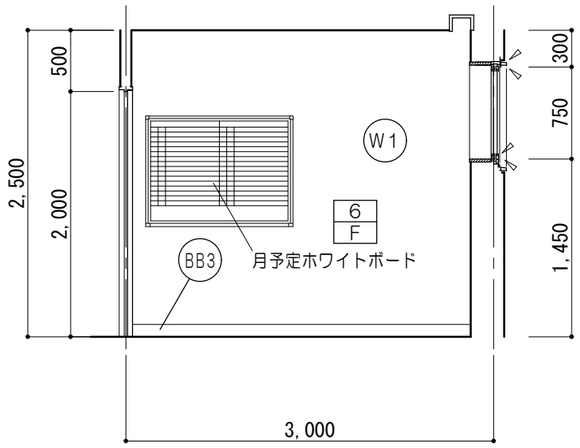


C面

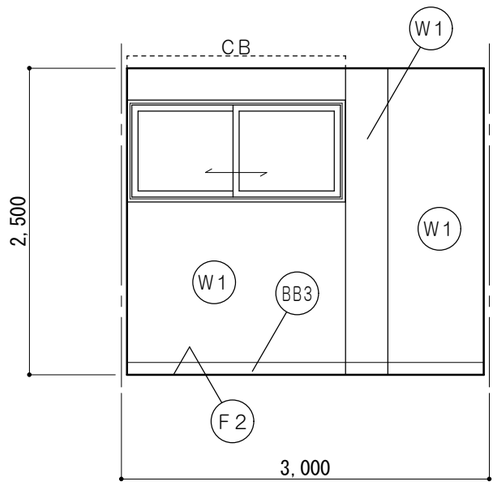


D面

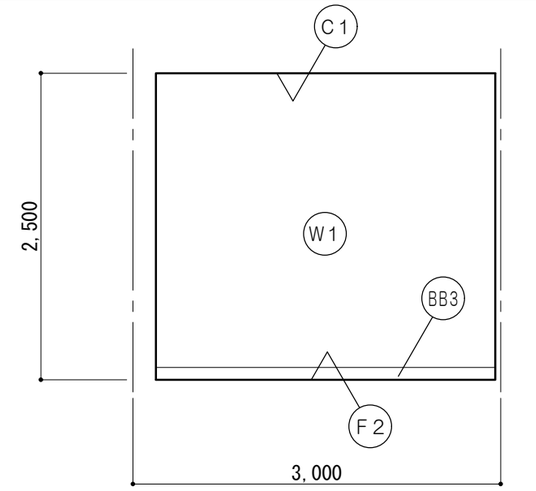
事務室　1/50



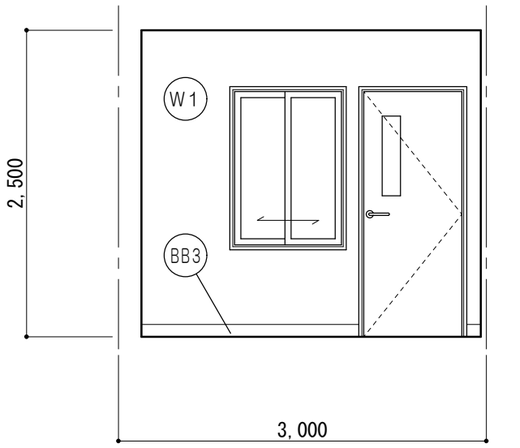
A面



B面

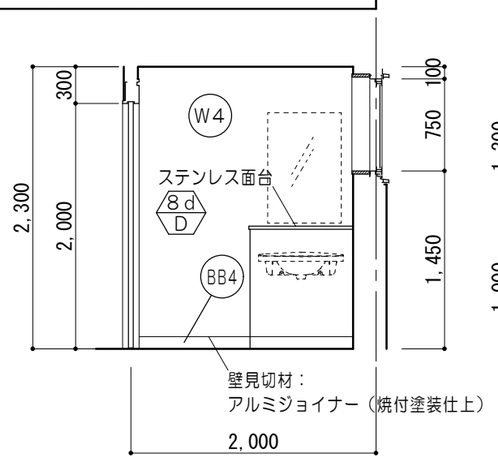


C面

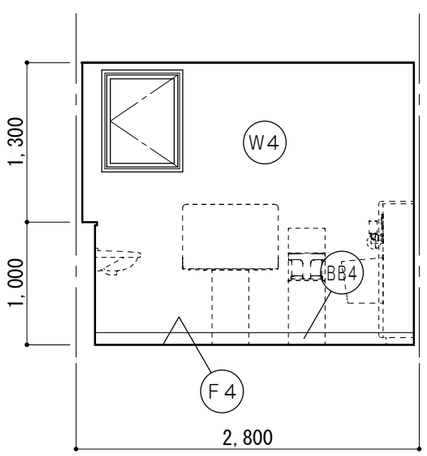


D面

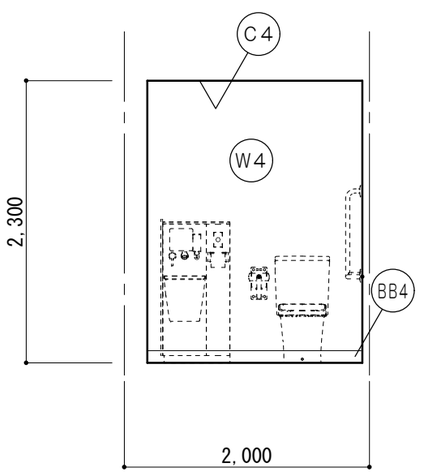
多目的ＷＣ　1/50



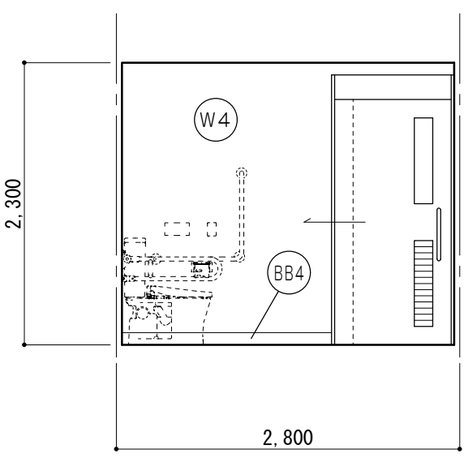
A面



B面



C面



D面

仕上凡例

F1	床	：磁器質１００角タイル張（防滑性） モルタル木コテ下地
F2	床	：ビニル床シートァ２．０張 モルタル金コテ下地
F4	床	：超防汚性ビニル床シートァ２．０張 モルタル金コテ下地
BB1	巾木：磁器質１００角タイル張	
BB3	巾木：ビニル巾木　H＝１００	
BB4	巾木：床仕上同材巻上　H＝１００	
W1	壁	：ビニルクロス張 ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
W4	壁	：化粧ケイカル板ァ６張 耐水ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
C1	天井：化粧ＰＢァ９．５張 ＬＧＳ下地	
C4	天井：	ケイカル板ァ６　ＥＰ塗 耐水ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地

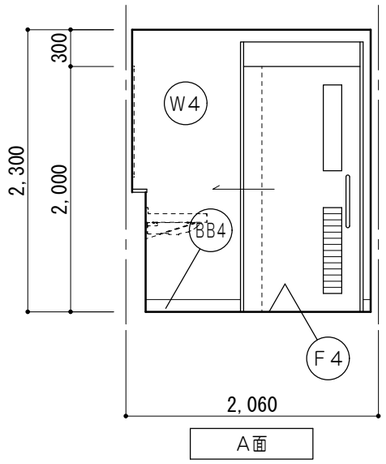
特記事項

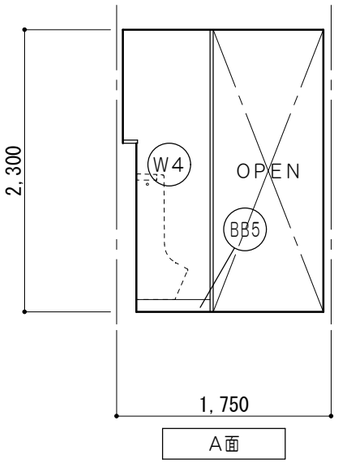
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

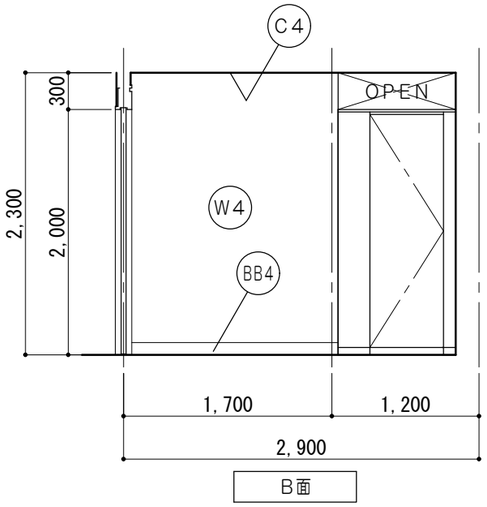
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

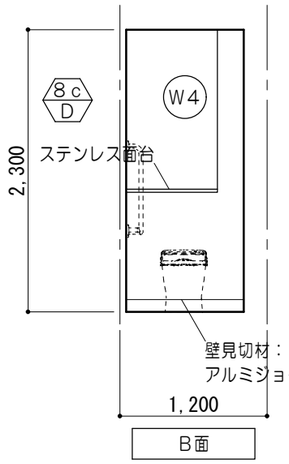
工事名称	川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
図面名称	展開図№２（倉庫２、事務室、多目的ＷＣ）
縮尺	A1：1/25 A3：1/50
設計日	R05/03/24
図面番号	A26

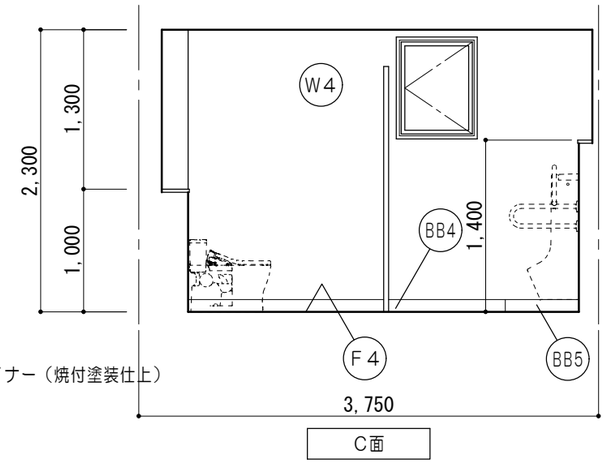
男子ＷＣ　1/50

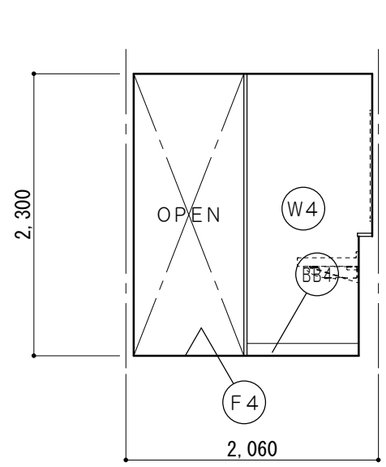


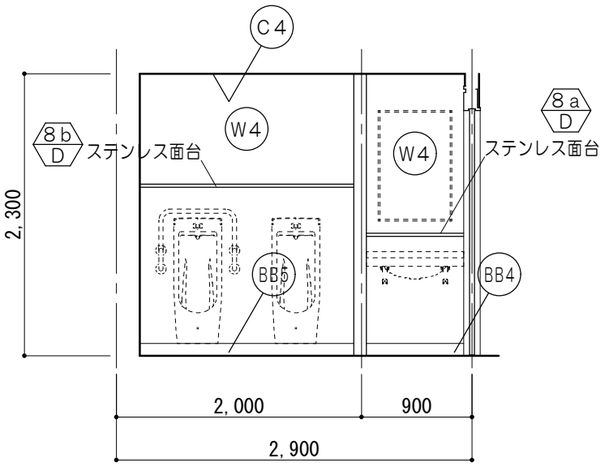




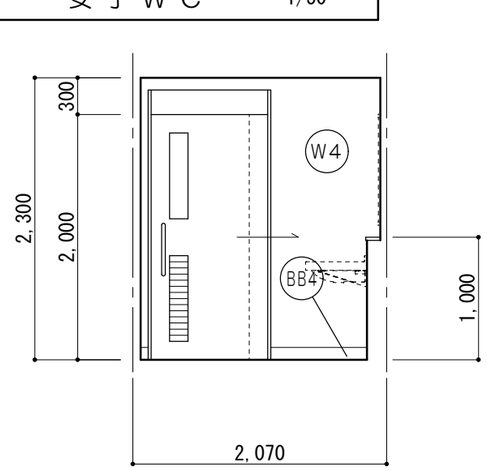


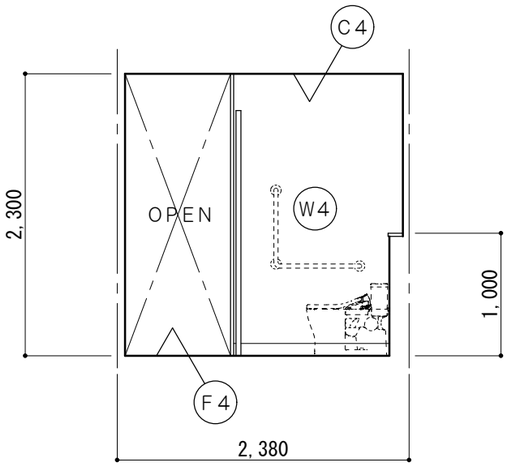


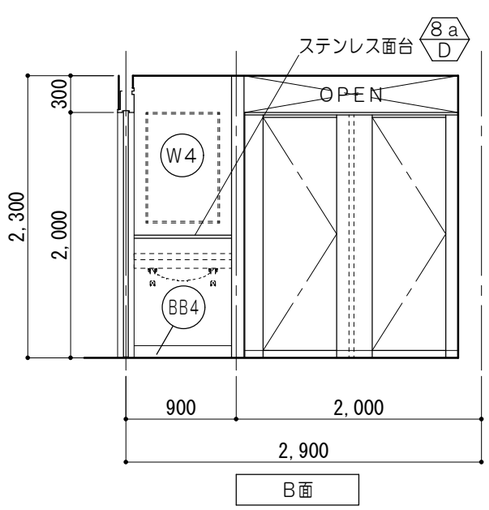


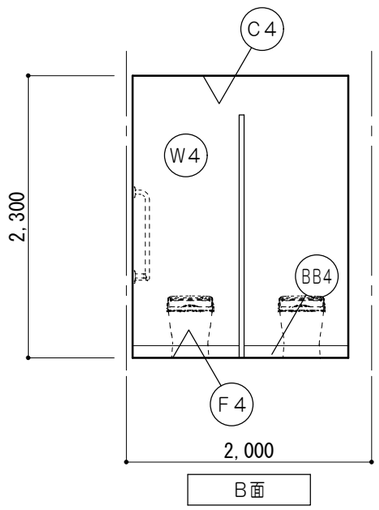


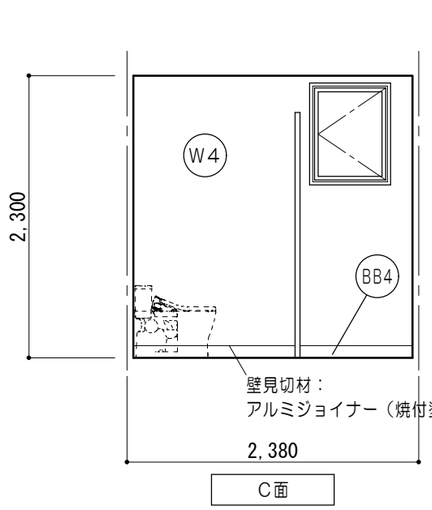
女子ＷＣ　1/50

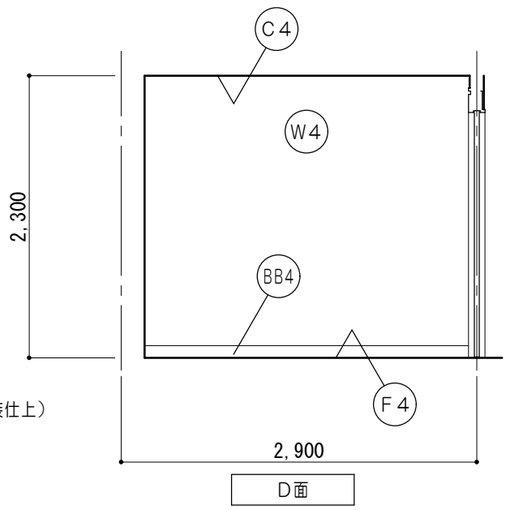












仕上凡例

F4	床	：超防汚性ビニル床シートｱ２．０張 モルタル金コテ下地
BB4	巾木	：床仕上同材巻上　Ｈ＝１００
BB5	巾木	：ステンレス巾木　Ｈ＝１００
W4	壁	：化粧ケイカル板ｱ６張 耐水ＰＢｱ１２．５　ＬＧＳ下地
C4	天井	：ケイカル板ｱ６　ＥＰ塗 耐水ＰＢｱ１２．５　ＬＧＳ下地

特記事項

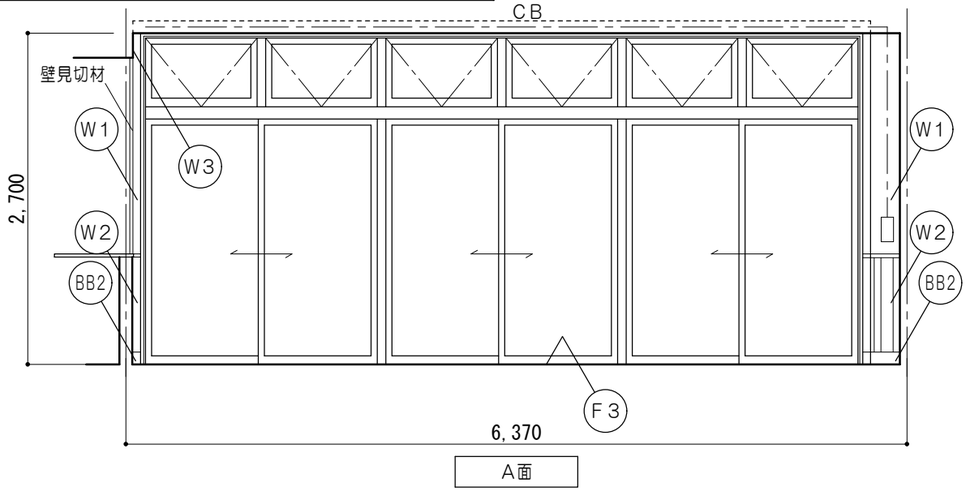
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

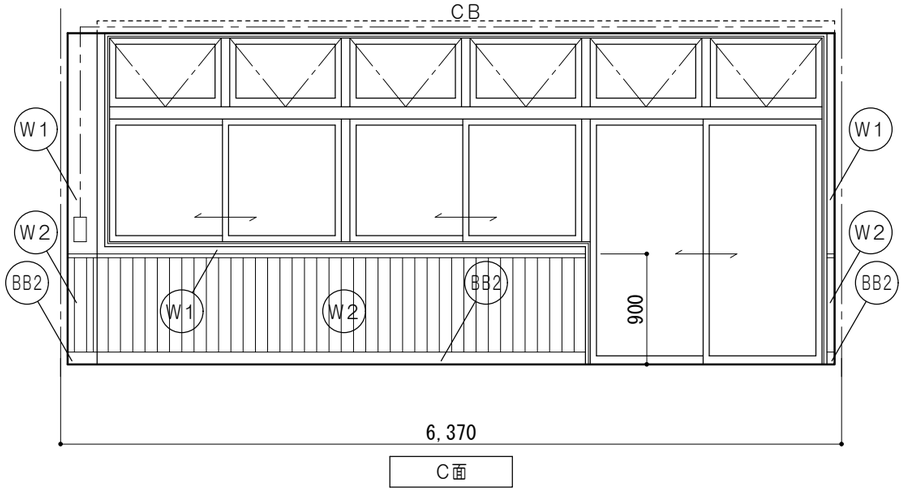
工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）　設計日：R05/03/24

図面名称：展開図№３（男子ＷＣ、女子ＷＣ）　縮尺：A1:1/25 A3:1/50　図面番号：A27

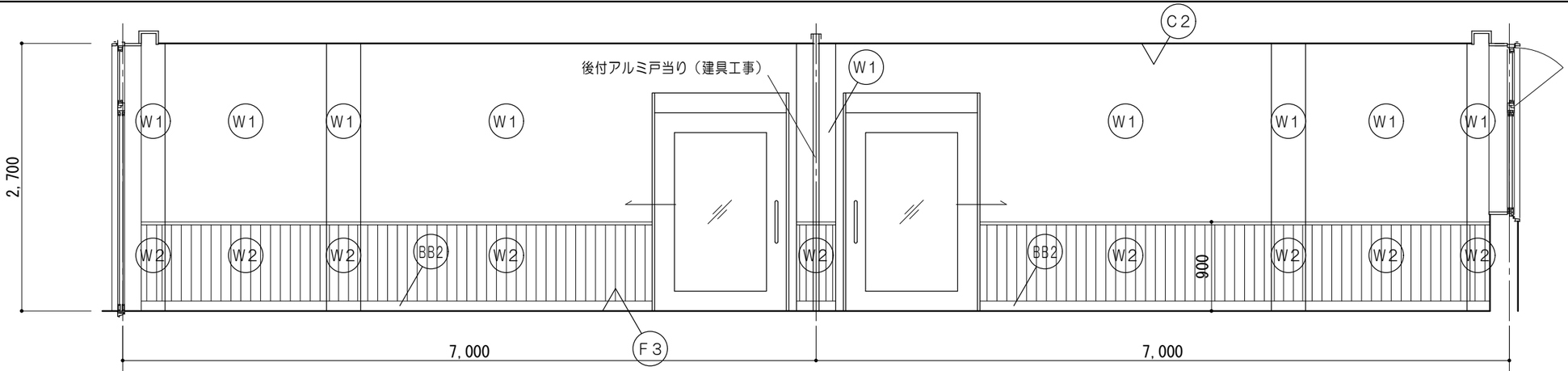
ボランティア活動室１・２　1/50



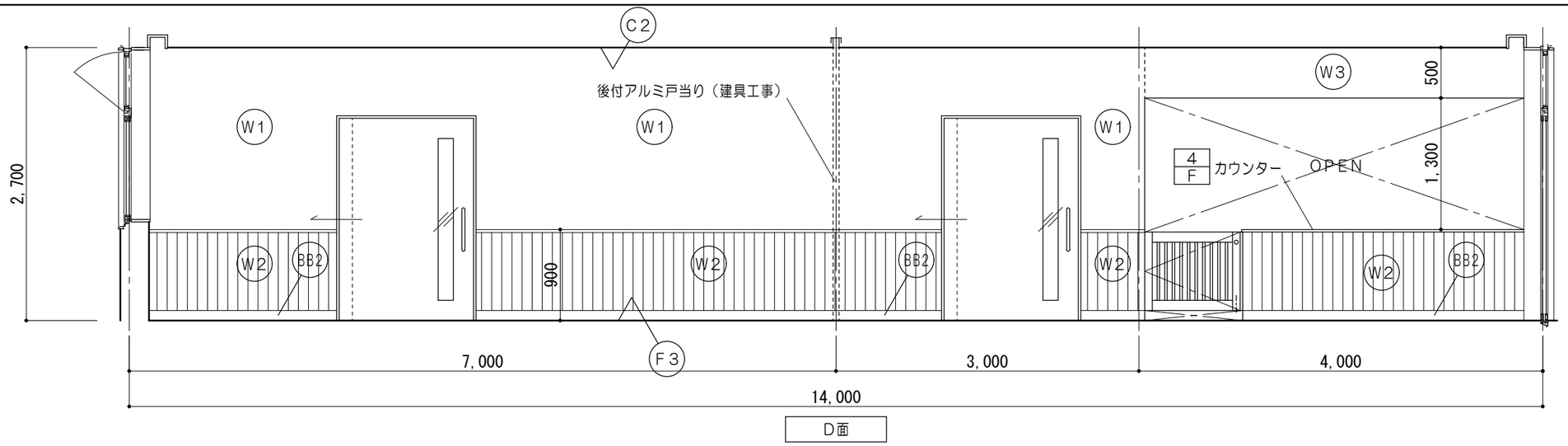
A面



C面



B面



D面

仕上凡例		
F3	床	杉圧密フローリングァ１５張 ：（クッション材2mm） セルフレベリング
BB2	巾木	：木製巾木（杉） ＯＳＣＬ塗　Ｈ＝１００
W1	壁	：ビニルクロス張 ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
W2	壁	：杉小巾板ァ１２（保護塗装品） Ｈ９００（腰壁見切共） ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
W3	壁	：ビニルクロス張（不燃） ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
C2	天井	：化粧吸音ＰＢァ９．５張 ＬＧＳ下地

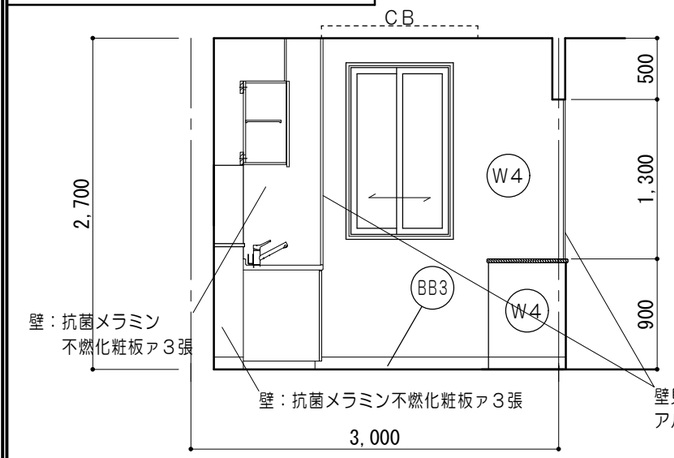
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

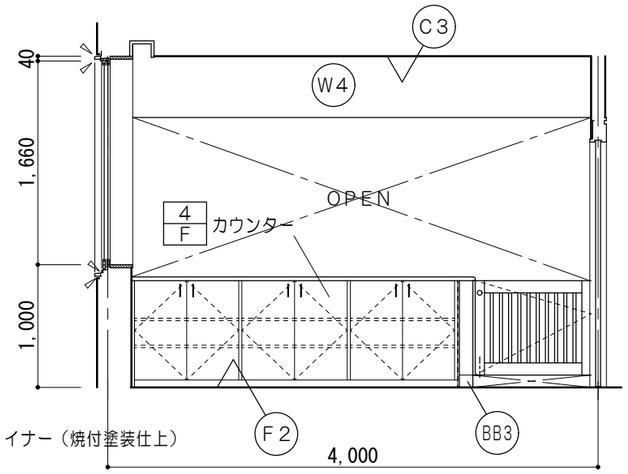
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
設計日：R05/03/24
図面名称：展開図№４（ボランティア活動室１・２）
縮尺：A1:1/25　A3:1/50
図面番号：A28

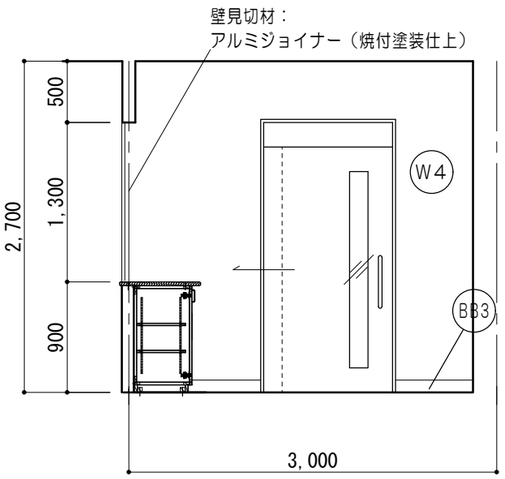
調理室　1/50



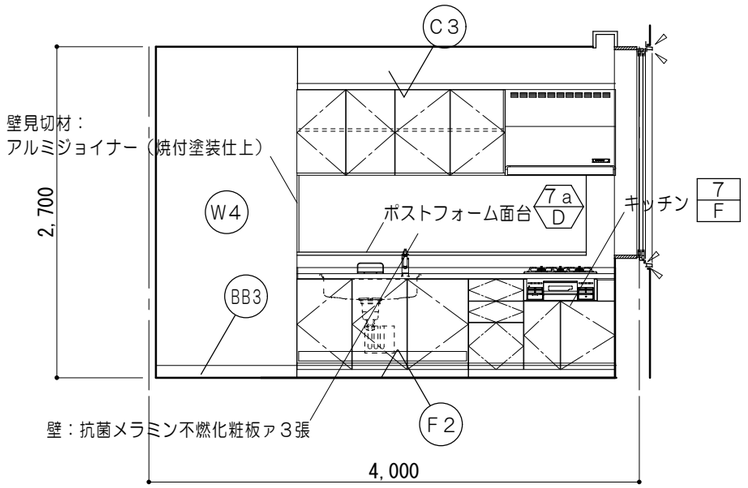
A面



B面

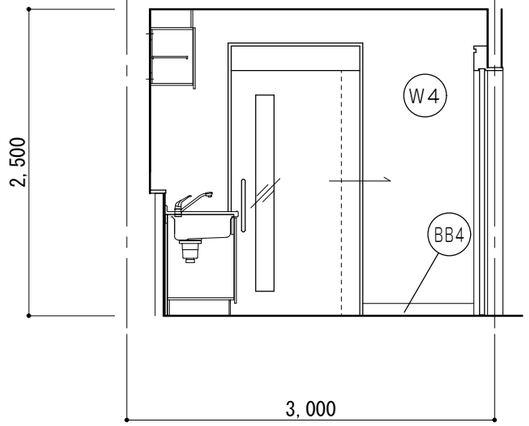


C面

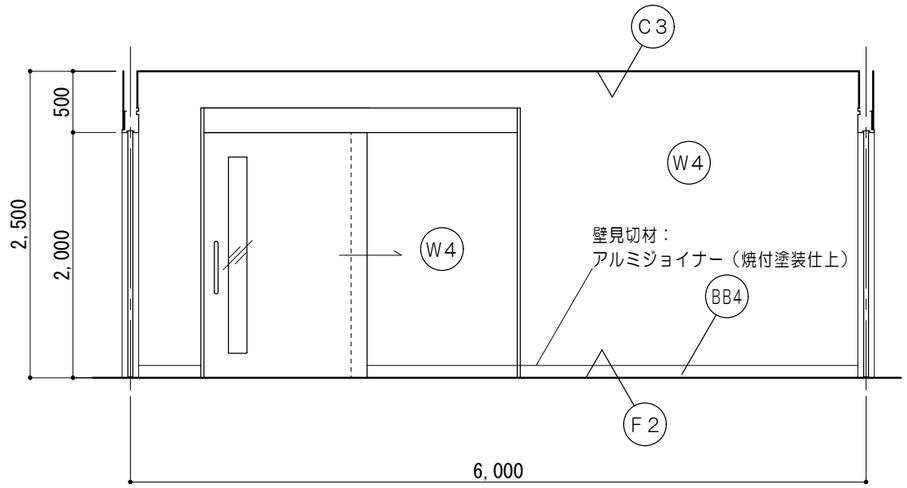


D面

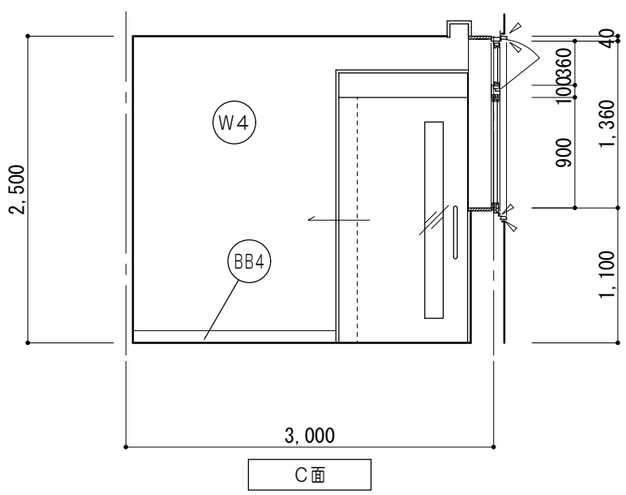
作業室　1/50



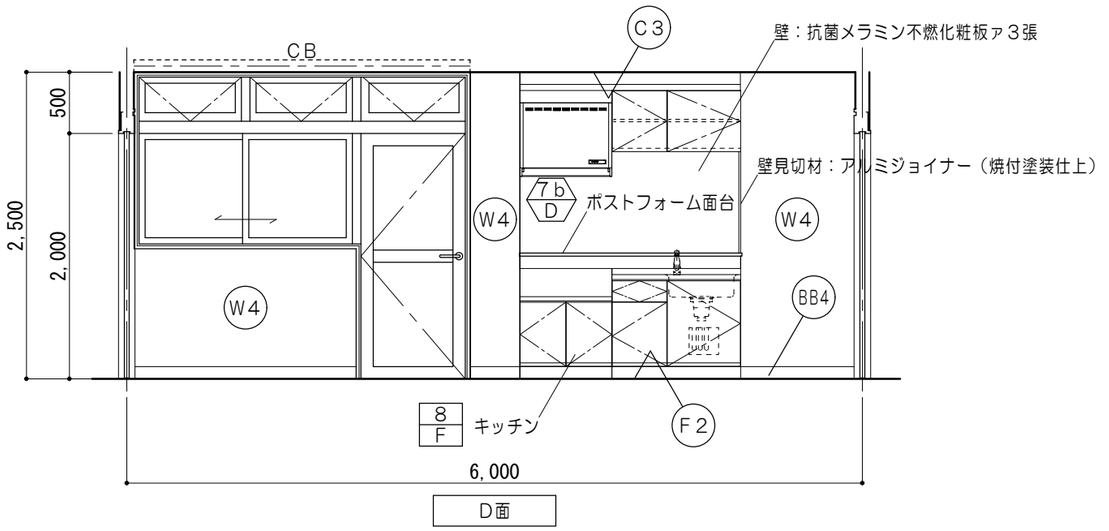
A面



B面



C面



D面

仕上凡例

F2	床	：ビニル床シートァ２．０張 モルタル金コテ下地
BB3	巾木	：ビニル巾木　H＝１００
BB4	巾木	：床仕上同材巻上　H＝１００
W4	壁	：化粧ケイカル板ァ６張 耐水ＰＢァ１２．５　ＬＧＳ下地
C3	天井	：化粧ケイカル板ァ６張 ＬＧＳ下地

特記事項

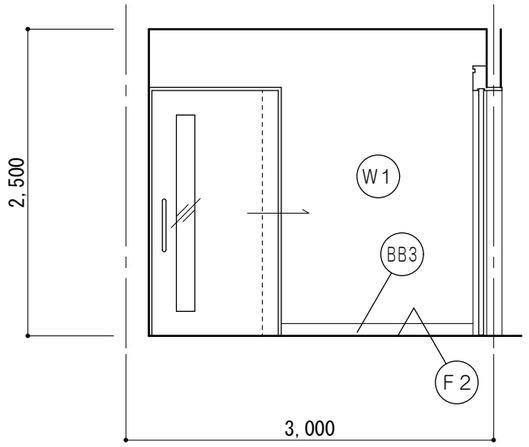
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

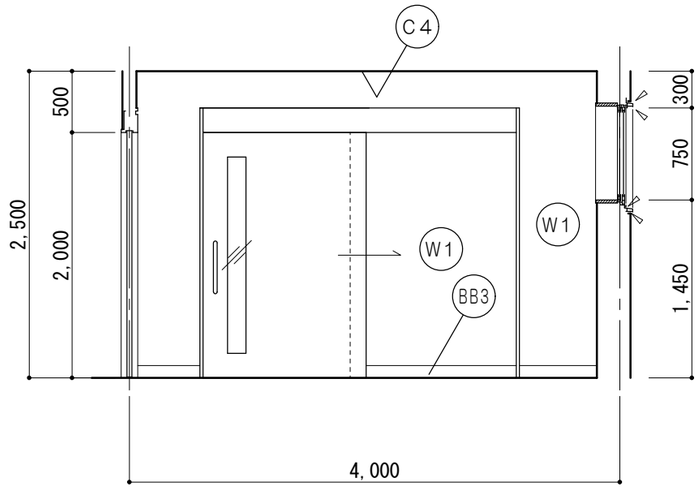
工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）　設計日：R05/03/24

図面名称：展開図No.５（調理室、作業室）　縮尺：A1:1/25　A3:1/50　図面番号：A29

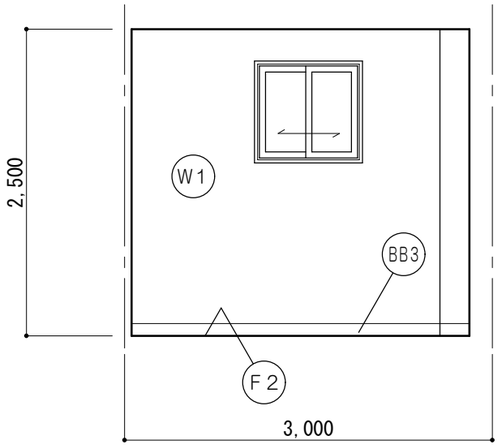
倉庫１　1/50



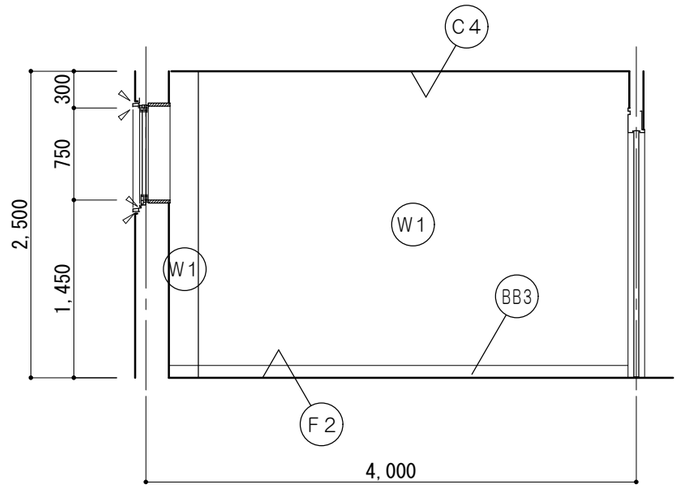
A面



B面



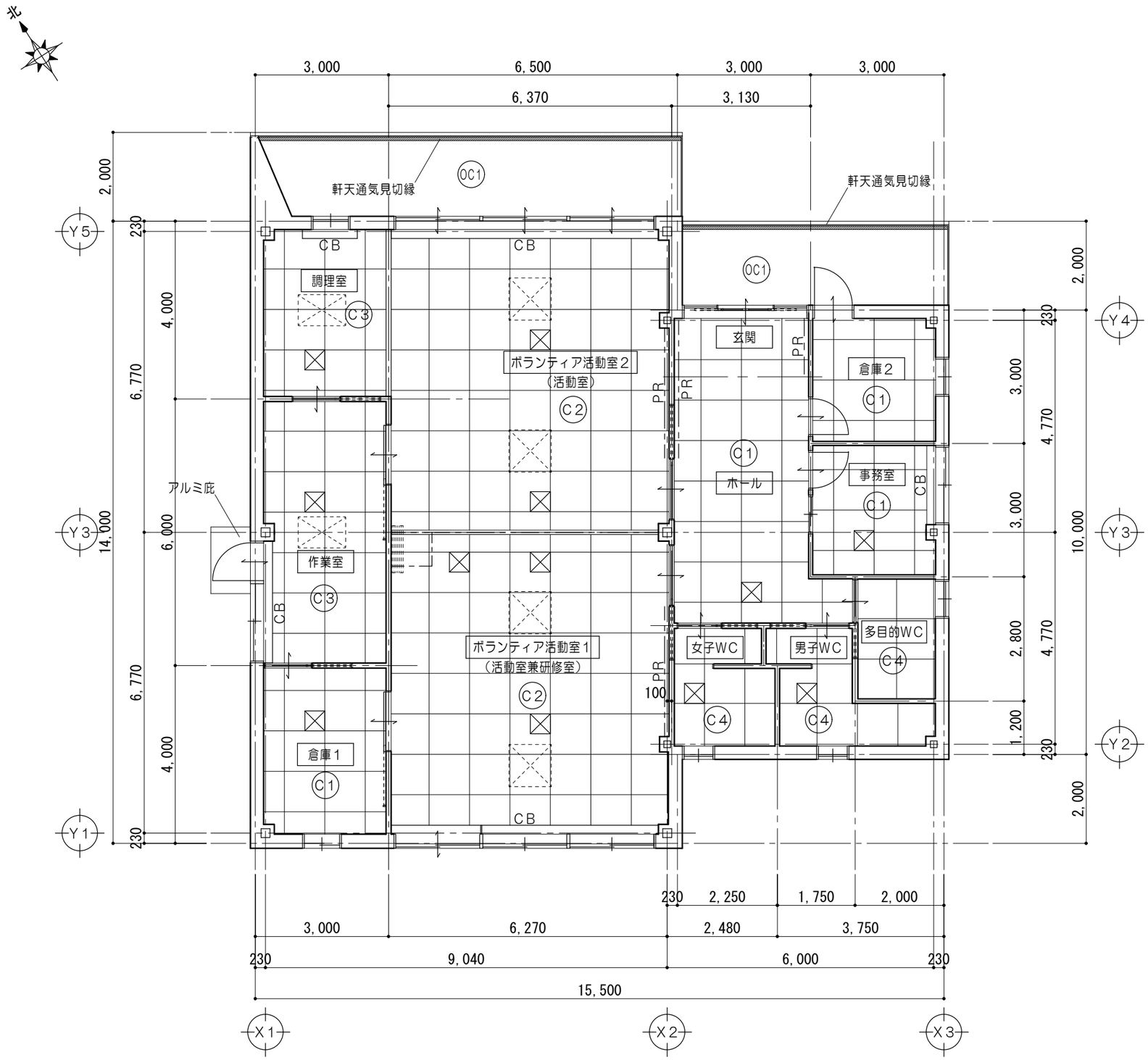
C面



D面

仕上凡例		
F2	床	：ビニル床シートｱ２．０張 モルタル金コテ下地
BB3	巾木	：ビニル巾木　H＝１００
W1	壁	：ビニルクロス張 PBｱ１２．５　LGS下地
C1	天井	：化粧PBｱ９．５張 LGS下地

特記事項										
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
									図面名称 展開図№６（倉庫１） 縮尺 A1：1/25 A3：1/50	図面番号 A30



天井伏図　1/100

凡例	
C1	天井：化粧ＰＢァ９．５張 ＬＧＳ下地
C2	天井：化粧吸音ＰＢァ９．５張 ＬＧＳ下地
C3	天井：化粧ケイカル板ァ６張 ＬＧＳ下地
C4	天井：ケイカル板ァ６　ＥＰ塗 ＬＧＳ下地
OC1	軒天：パルプ繊維混入セメント板ァ１２張 ＬＧＳ下地
☒	天井点検口（アルミ製　４５０ｘ４５０）
⁘	空調想定位置を示す
CB	カーテンボックス　9 D
PR	ピクチャーレール　10 D
特記なき限り廻り縁は塩ビ製とする。	
天井には断熱材：GWァ１００　２４kg／m³を敷き込む	

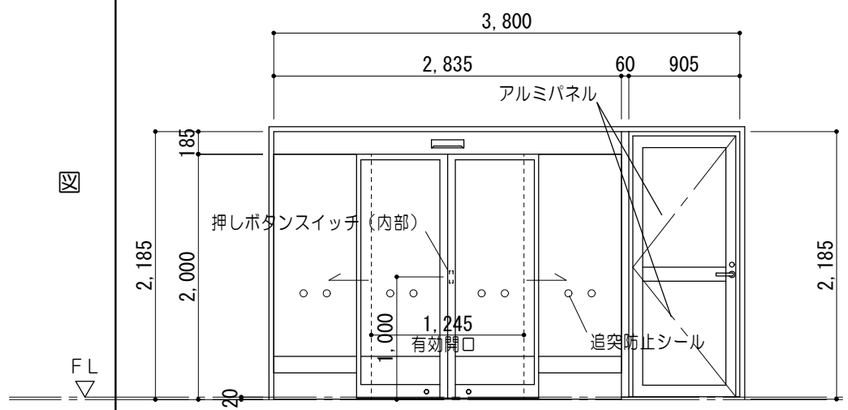
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 天井伏図 縮尺 A1：1/50 A3：1/100	設計日 R05/03/24 図面番号 A31

建具表 No. 1

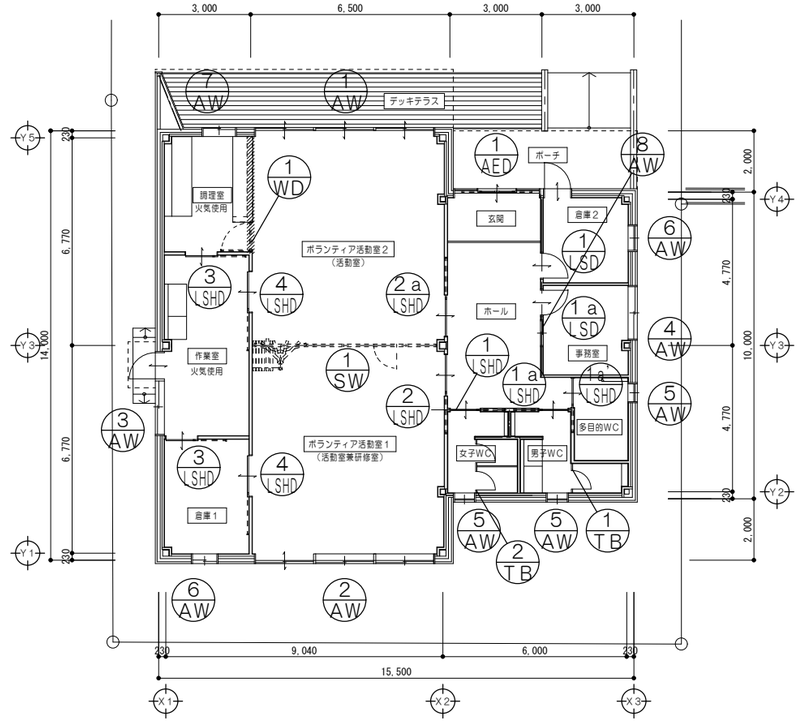
1/50　　※シックハウス経路となる扉はアンダーカット１ｃｍとする

符号	名称	数量	備考
1 AED	袖ＦＩＸ付引分アルミ自動ドア＋片開キアルミフラッシュドア	1	

姿　図



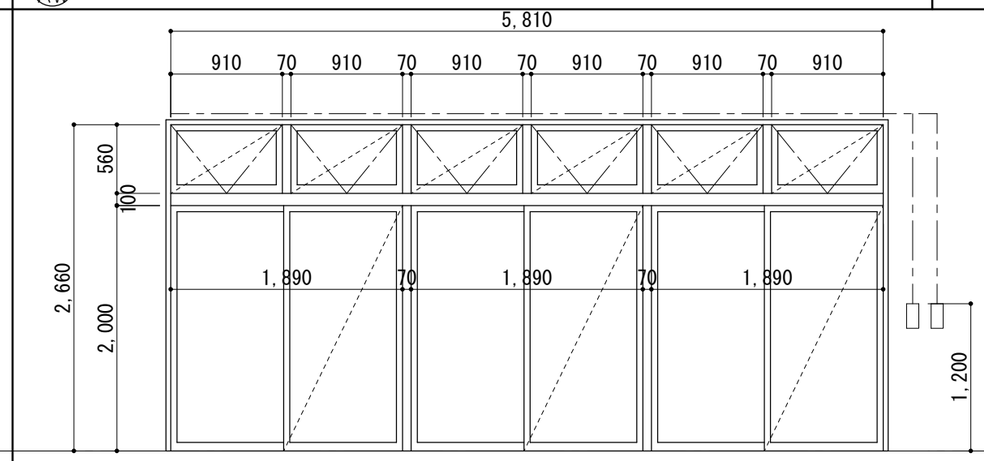
見込　硝子	１００	強化ガラスァ６
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	
金　物	ドアエンジン、人感センサー（外部）、押しボタンスイッチ（内部）、アルミ額縁、水切、シリンダー錠（内側サムターン）、レバーハンドル、ＤＣ、丁番、付属金物一式	
室　名	玄関、倉庫２	



建具符号図　1/200

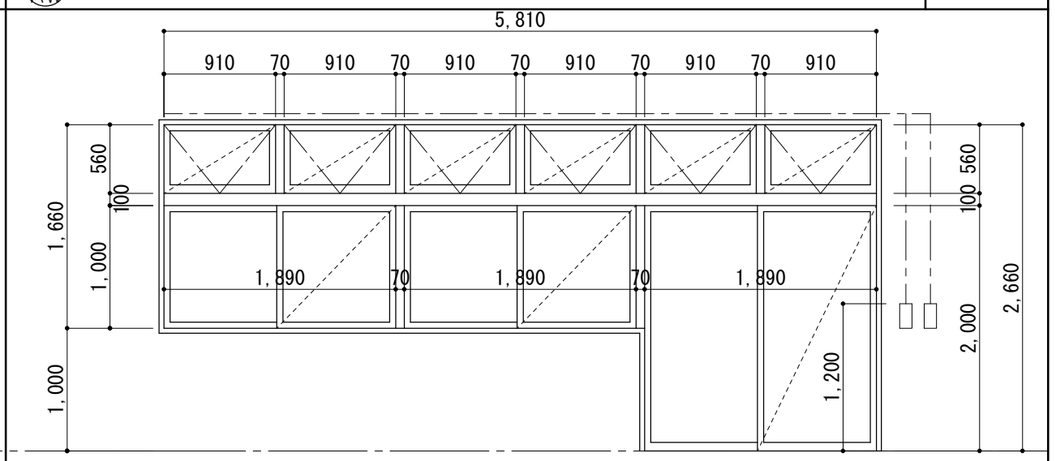
符号 1 AW　ランマ外倒シ付３連引違イアルミサッシ　数量 1

姿　図



見込　硝子	７０	強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	
金　物	クレセント、アングルピース、水切、オペレーター装置（隠ぺい式）、サラン網戸、付属金物一式	
室　名	ボランティア活動室２	

符号 2 AW　ランマ外倒シ付３連引違イアルミサッシ　数量 1



見込　硝子	７０	強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	
金　物	クレセント、アングルピース、水切、オペレーター装置（隠ぺい式）、サラン網戸、付属金物一式	
室　名	ボランティア活動室１	

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者　一級建築士　第320204号　前野 将輝
設計担当　一級建築士　第378328号　加藤 早妃
設計担当　一級建築士　第360917号　前田 祐作

設計担当　設計担当　設計担当　設計担当　法適合確認

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

図面名称：建具符号図、建具表No. 1

縮尺：A1：1/25.100　A3：1/50.200

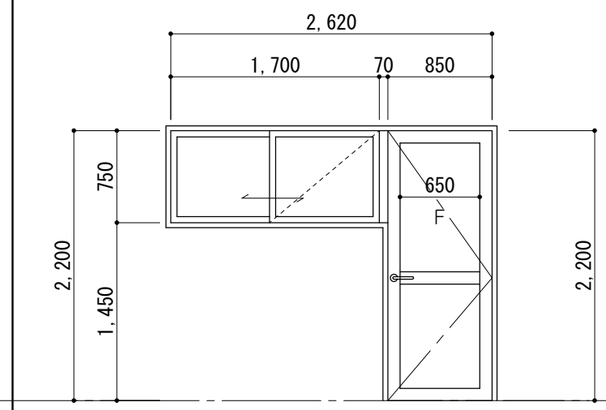
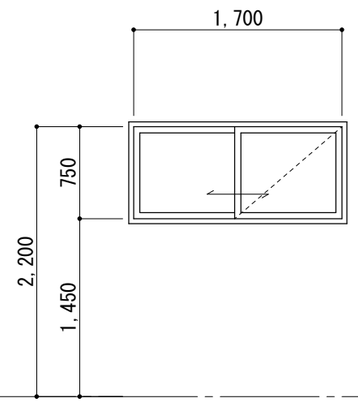
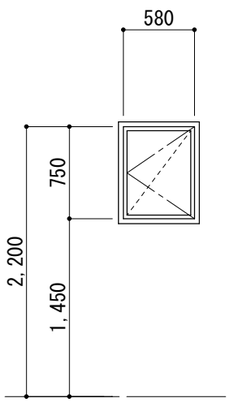
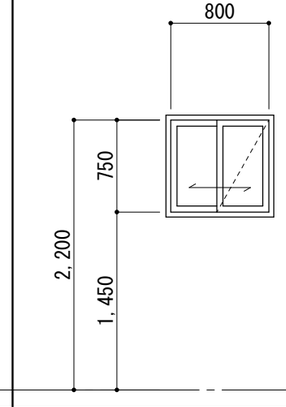
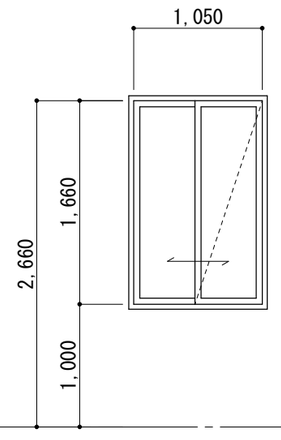
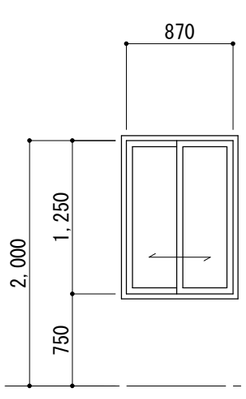
設計日：R05/03/24

図面番号：A32

建具表 No. 2

1/50

※シックハウス経路となる扉はアンダーカット１ｃｍとする

符号	名称	数量	姿図	見込	硝子	仕上	金物	室名
③ AW	片開キアルミドア＋引違イアルミサッシ	1		７０	強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	シリンダー錠（内側サムターン）、レバーハンドル、ＤＣ、丁番、アングルピース、水切、クレセント、サラン網戸、アルミ額縁、付属金物一式	作業室
④ AW	引違イアルミサッシ	1		７０	強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	クレセント、アングルピース、水切、サラン網戸、付属金物一式	事務室
⑤ AW	片開キアルミサッシ	3		７０	型板強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	カムラッチハンドル、網戸（サラン・内部網戸）、アームストッパー、２重水切、アングルピース、付属金物一式	多目的WC、女子WC、男子WC
⑥ AW	引違イアルミサッシ	2		７０	型板強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	クレセント、アングルピース、水切、サラン網戸、付属金物一式	倉庫1、倉庫2
⑦ AW	引違イアルミサッシ	1		７０	強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	クレセント、アングルピース、水切、サラン網戸、付属金物一式	調理室
⑧ AW	引違イアルミサッシ	1	※カウンター窓仕様 	７０	強化ガラスァ４	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ－２種）	クレセント、戸車、ステンレス下枠、付属金物一式	事務室

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

図面名称：建具表No.２

縮尺：A1：1/25 A3：1/50

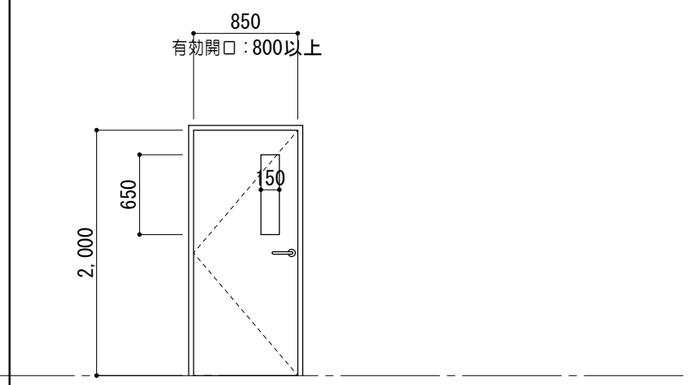
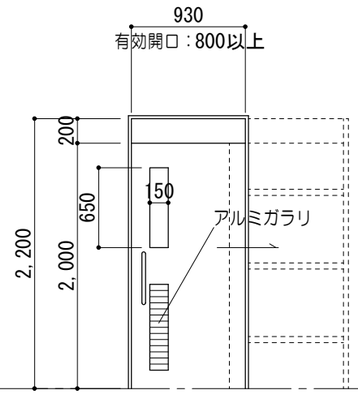
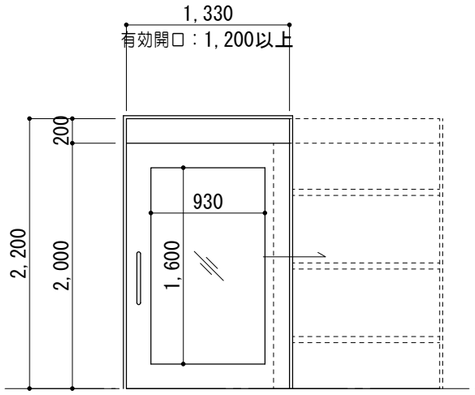
設計日：R05/03/24

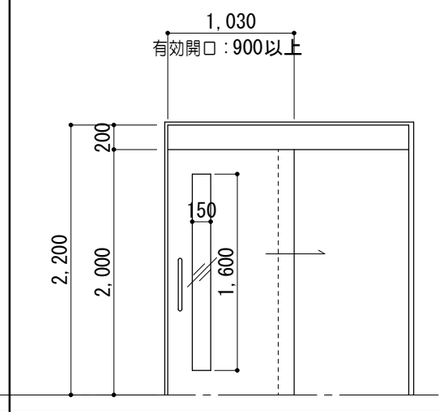
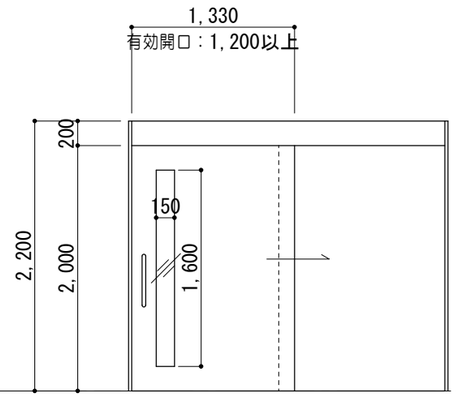
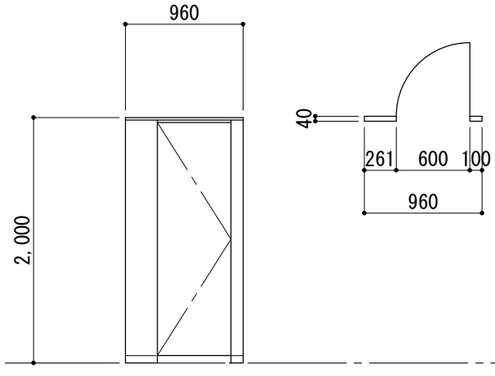
図面番号：A33

建具表 No. 3

1/50

※シックハウス経路となる扉はアンダーカット１ｃｍとする

符号名称数量	(1 LSD)(1a LSD) 片開キ軽量スチールドア	1 ：1 1a：1	(1 LSHD)(1a LSHD)(1a' LSHD) 片引キ軽量スチールハンガードア	1 ：1 1a：1　1a'：1	(2 LSHD)(2a LSHD) 片引軽量スチールハンガードア	2 ：1 2a：1
姿図	※１ａは反転 	※壁内蔵タイプ ※１ａは反転 ※１ａ'は反転・表示錠付 	※壁内蔵タイプ ※２ａは反転 
見込　硝子	枠 120 扉 40　型ガラスァ４	枠 141 扉 40　強化ガラスァ４	枠 159 扉 40　強化ガラスァ４
仕上	化粧鋼板ァ０．６	化粧鋼板ァ０．６	化粧鋼板ァ０．６
金物	サムターン付シリンダー錠、レバーハンドル、ＤＣ、丁番、戸当り、 スチール三方枠、ステンレス沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ガイドローラー、ステンレス沓摺、 表示鍵（多目的ＷＣのみ）、スチール三方枠（焼付塗装）、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ガイドローラー、ステンレス沓摺、 シリンダー錠（内部サムターン）、スチール三方枠（焼付塗装）、付属金物一式
室名	事務室、倉庫２	女子ＷＣ、男子ＷＣ、多目的ＷＣ	ボランティア活動室１・２

符号名称数量	(3 LSHD) 片引キ軽量スチールハンガードア（セミエアタイトタイプ）	2	(4 LSHD) 片引キ軽量スチールハンガードア（セミエアタイトタイプ）	2	(1 TB) トイレブース	1
姿図	※壁外付タイプ 	※壁外付タイプ 	
見込　硝子	枠 135 扉 40　強化ガラスァ４	枠 135 扉 40　強化ガラスァ４	40
仕上	化粧鋼板ァ０．６	化粧鋼板ァ０．６	高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：ペーパーコア）
金物	自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ガイドローラー、ステンレス沓摺、気密材、 シリンダー錠（内部サムターン）、スチール三方枠（焼付塗装）、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ガイドローラー、ステンレス沓摺、気密材、 シリンダー錠（内部サムターン）、スチール三方枠（焼付塗装）、付属金物一式	ステンレス製エッジ、ステンレス笠木、ステンレス下枠、ラバトリヒンジ、 サムターン表示錠、戸当り、ステンレス取手、ステンレス巾木
室名	作業室、倉庫１	作業室、倉庫１	男子ＷＣ

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

図面名称：建具表No.３

縮尺：A1：1/25　A3：1/50

設計日：R05/03/24

図面番号：A34

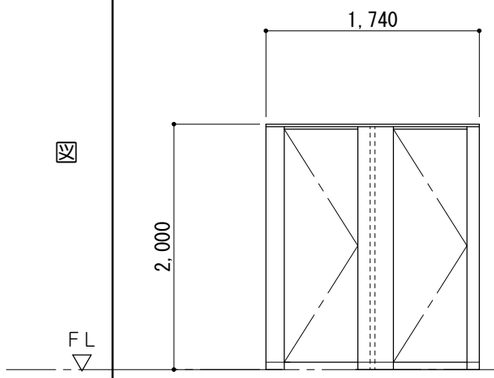
建具表 No. 4

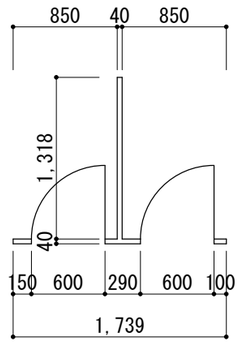
1/50

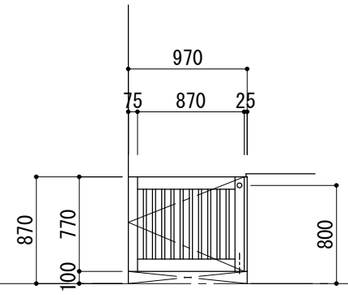
※シックハウス経路となる扉はアンダーカット１ｃｍとする

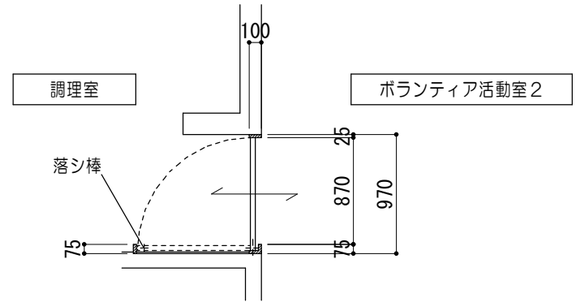
符号	名称	数量
2 TB	トイレブース	1
1 WD	木製スイングドア	1

姿図





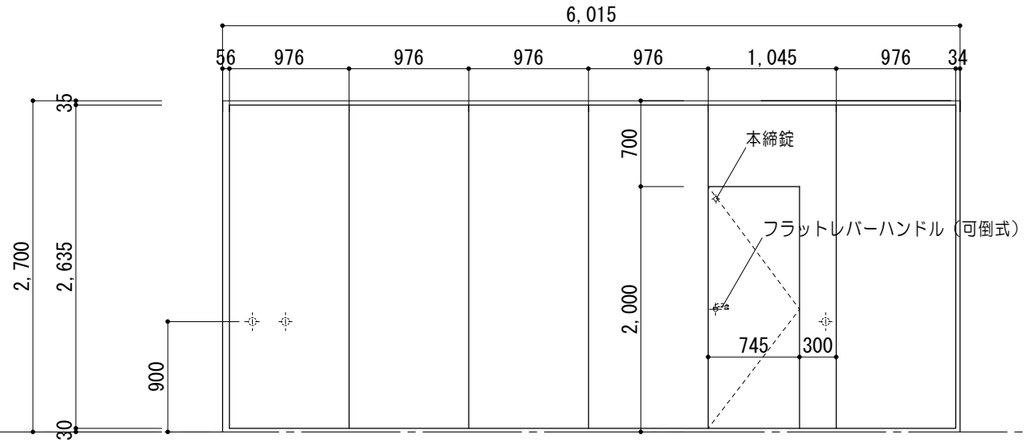


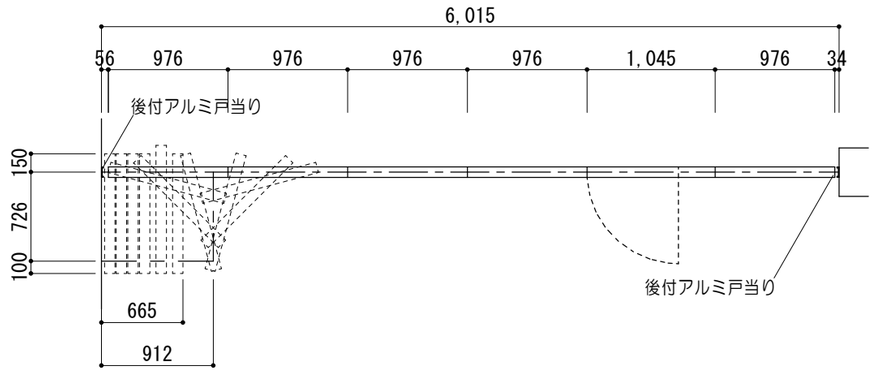


見込	40	40
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：ペーパーコア）	ナラ（ムク）ＯＳＣＬ
金物	ステンレス製エッジ、ステンレス笠木、ステンレス下枠、ラバトリヒンジ、 サムターン表示錠、戸当り、ステンレス取手、ステンレス巾木	グレビティヒンジ、空錠（調理室側サムターン）、落シ棒、付属金物一式
室名	女子WC	ボランティア活動室２

符号	名称	数量
1 SW	スライディングウォール	1

姿図





見込	85
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ０．５　焼付塗装 裏打：ＰＢァ１２．５　グラスウール：３２㎏充填
金物	ハンガーレール、ランナー、操作ロプレート（引き手付）、フラットレバーハンドル、レール取付鉄骨下地、付属金物一式
室名	ボランティア活動室１・２

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称：川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）

図面名称：建具表No. 4

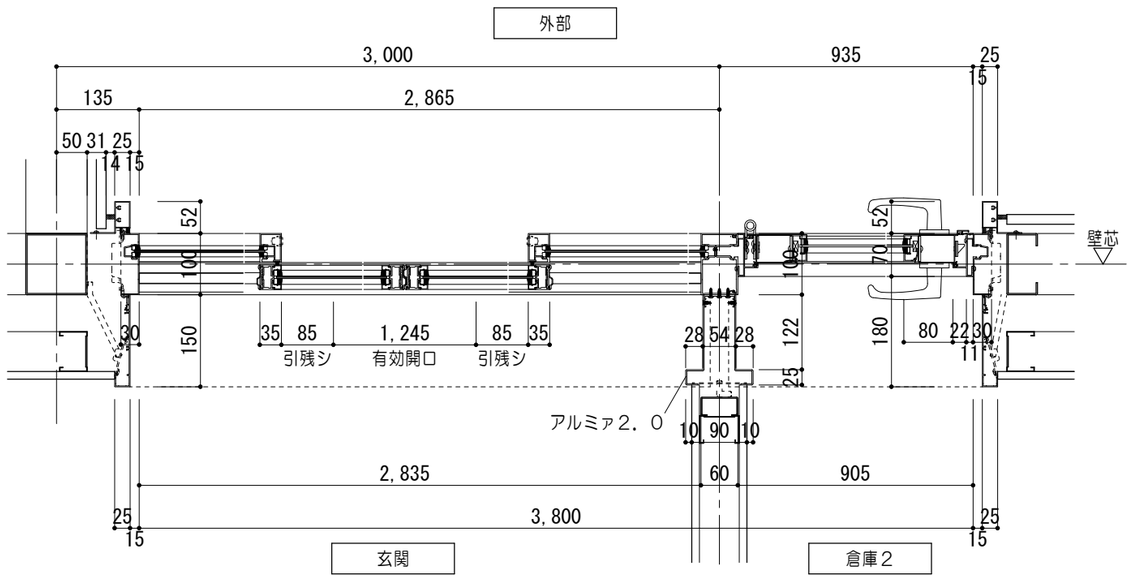
縮尺：A1：1/25　A3：1/50

設計日：R05/03/24

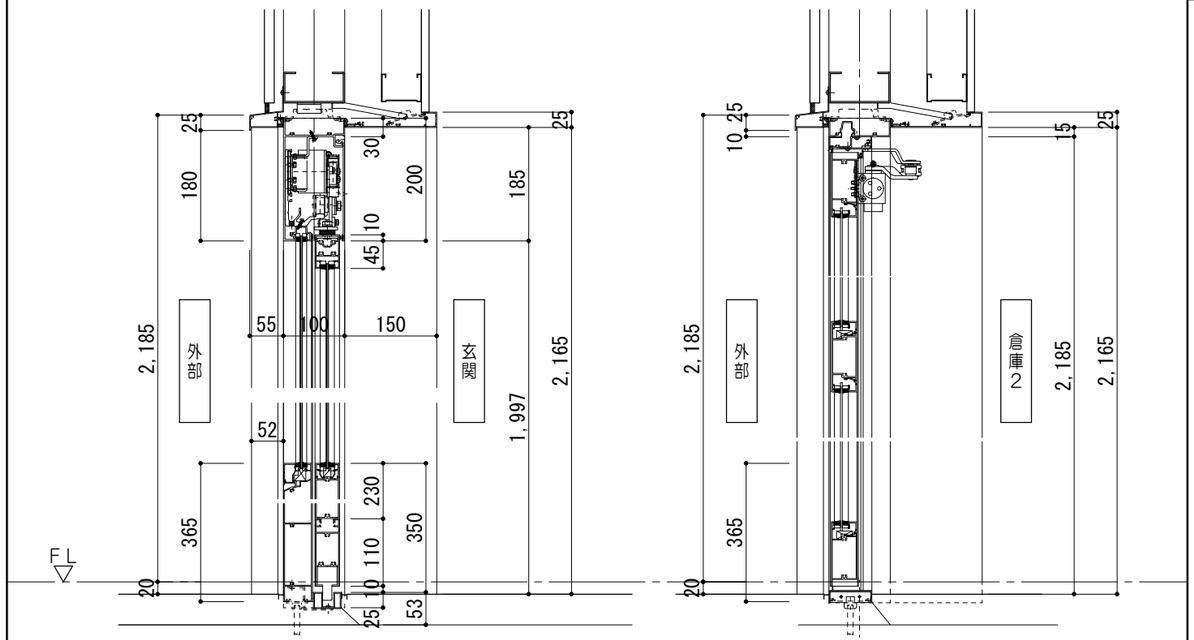
図面番号：A35

建具詳細図No.1

玄関ドア詳細図 1/10

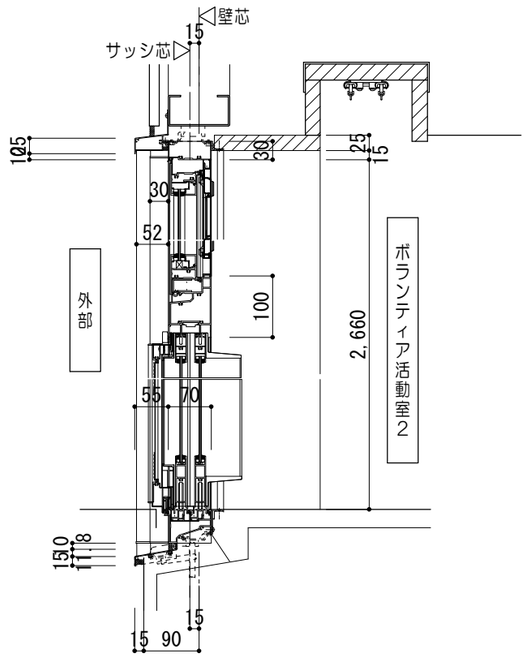


平面図 1/10

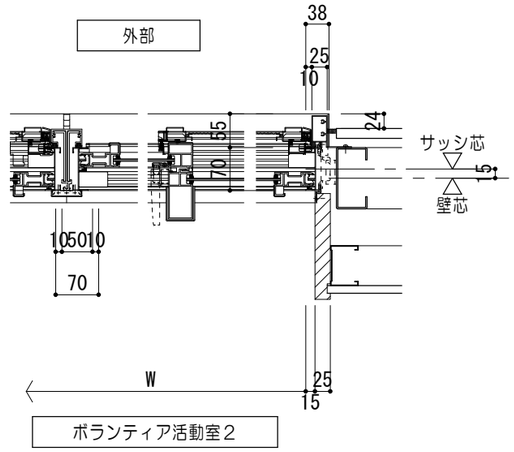


断面図 1/10

掃出シ窓詳細図 1/10

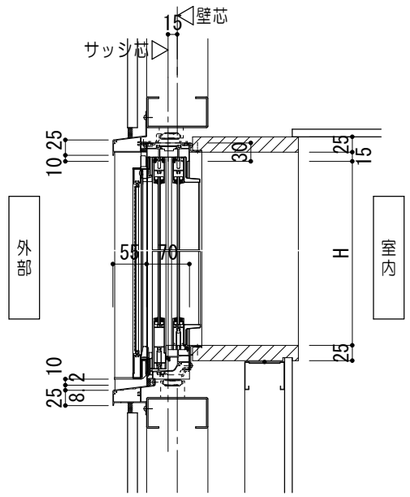


断面図 1/10

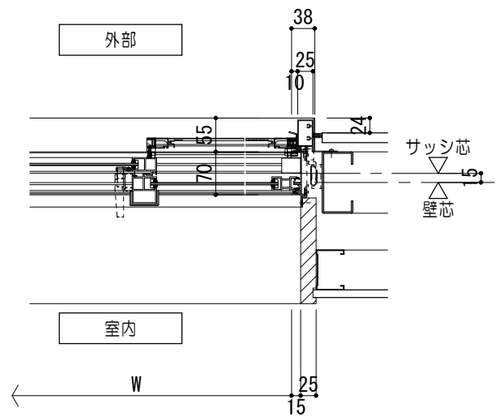


平面図 1/10

腰窓詳細図 1/10



断面図 1/10



平面図 1/10

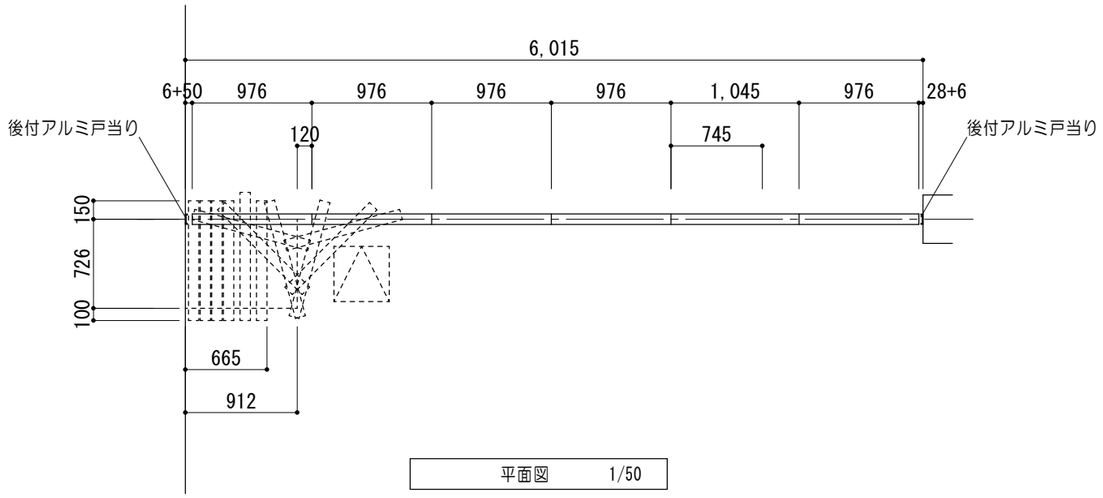
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認

工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）		設計日 R05/03/24
図面名称 建具詳細図No.1	縮尺 A1:1/ 5 A3:1/10	図面番号 A36

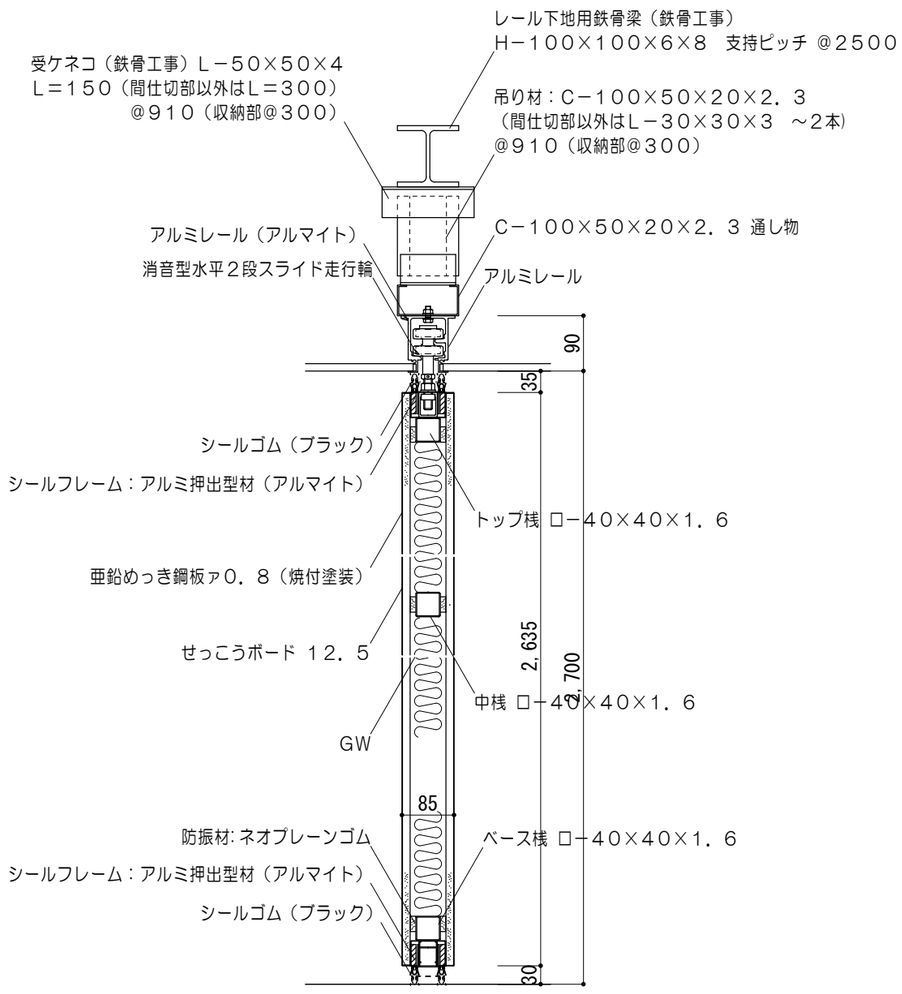
建具詳細図No.２

スライディングウォール詳細図

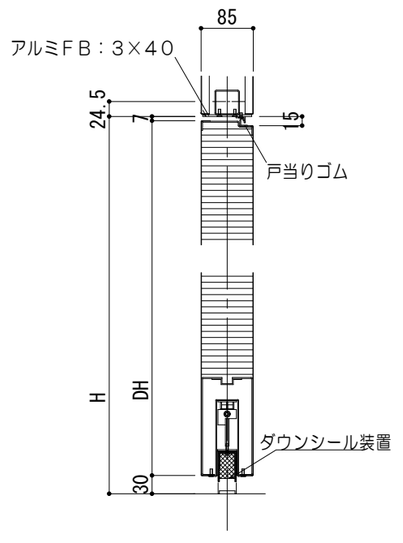
1/10.50



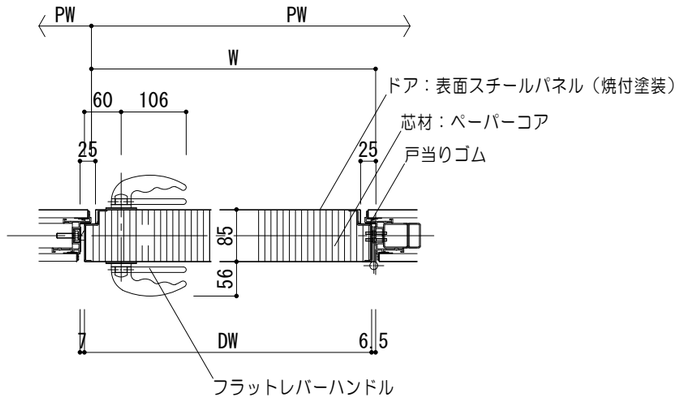
平面図　1/50



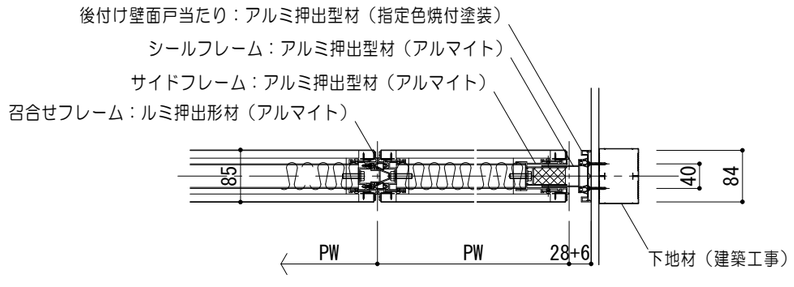
断面詳細図　1/10



ドア断面詳細図　1/50



ドア平面詳細図　1/50



平面詳細図　1/50

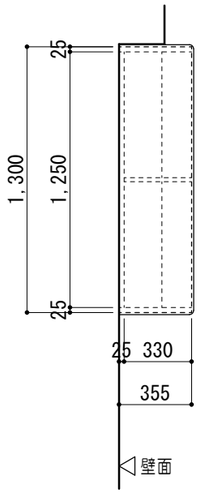
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 建具詳細図No.２ 縮尺 A1:1/ 5.25 A3:1/10.50	図面番号 A37

家具詳細図No.1

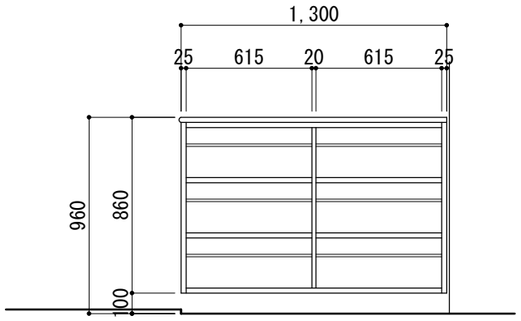
1F 下足入詳細図

1/30

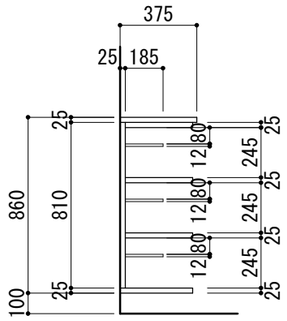
数	1ヶ所（玄関）	
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　ァ20 セーフティエッジ　ァ3
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　ァ20 エッジ：樹脂シート　ァ0．45
	棚板・中棚板	化粧メラミンパーティクルボード　ァ20



平面図



立面図



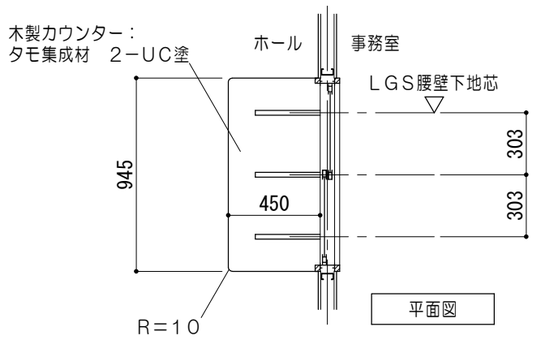
断面図

2F 受付カウンター詳細図

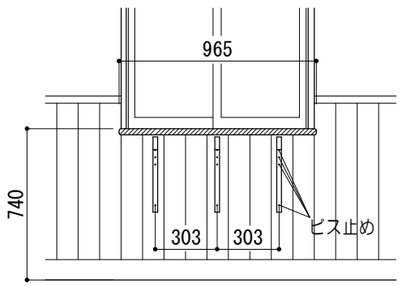
1/30

数	1ヶ所（ホール）	
仕様	天板	タモ集成材（R10加工）ァ30 2−UC塗
	棚受	鋼製棚受材 耐荷重65ｋｇｆ（1本あたり）

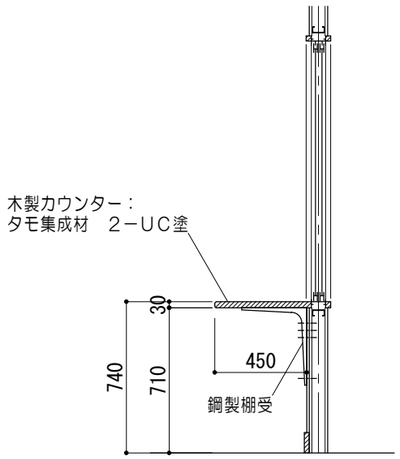
※カウンターの棚受は3本とし、LGS腰壁下地にて支持すること



平面図



立面図

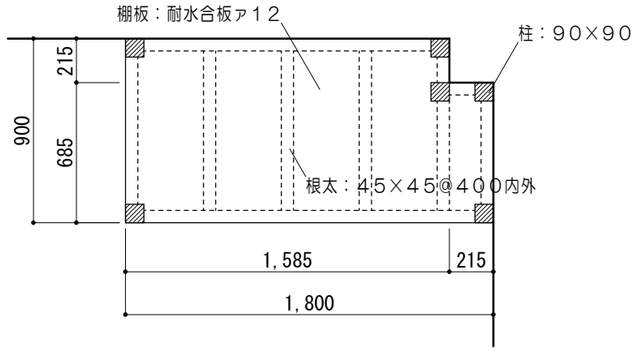


断面図

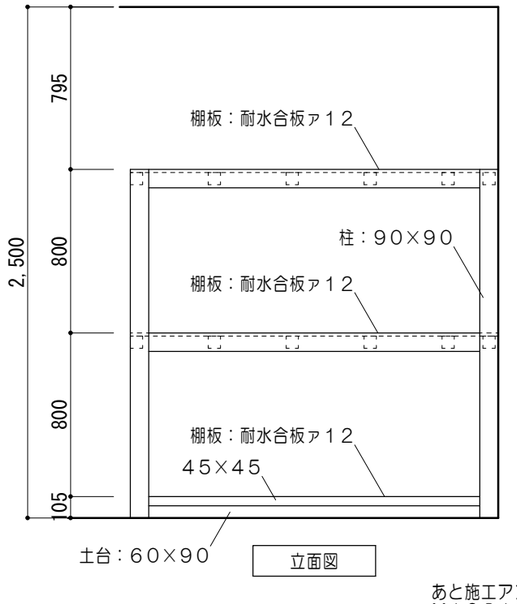
3F 木製棚詳細図

1/30

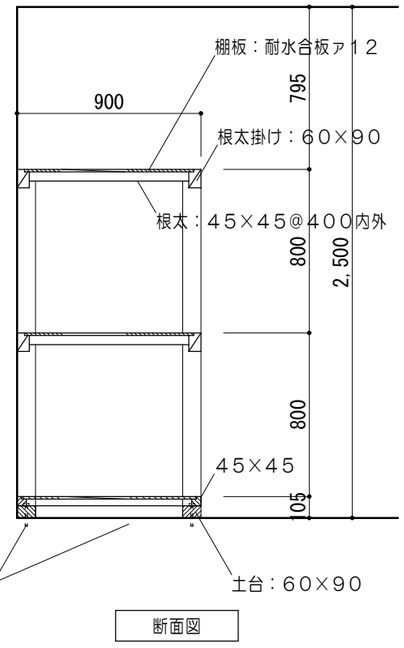
数	1ヶ所（倉庫2）	
仕様	柱	米栂
	梁	米栂
	根太	米栂
	棚板	シナ合板ァ15張



平面図



立面図



断面図

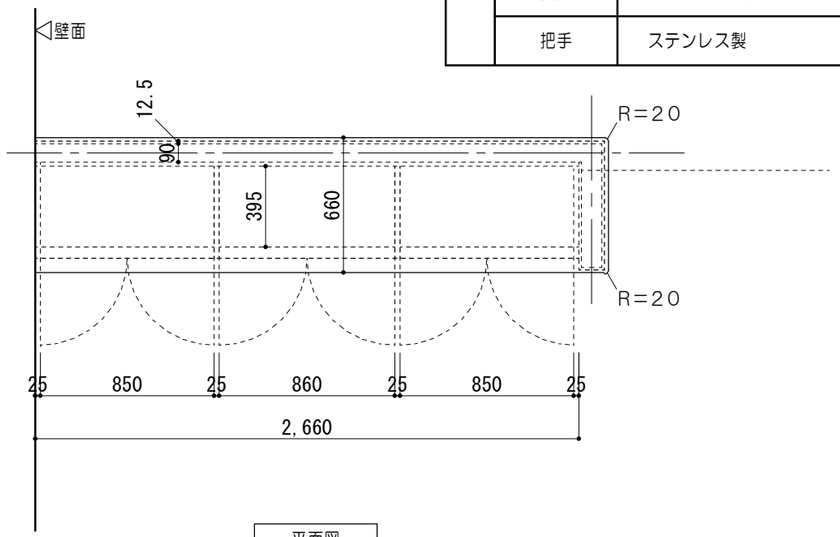
特記事項		株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認

工事名称	川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）
図面名称	家具詳細図No.1
縮尺	A1：1/15 A3：1/30
設計日	R05/03/24
図面番号	A38

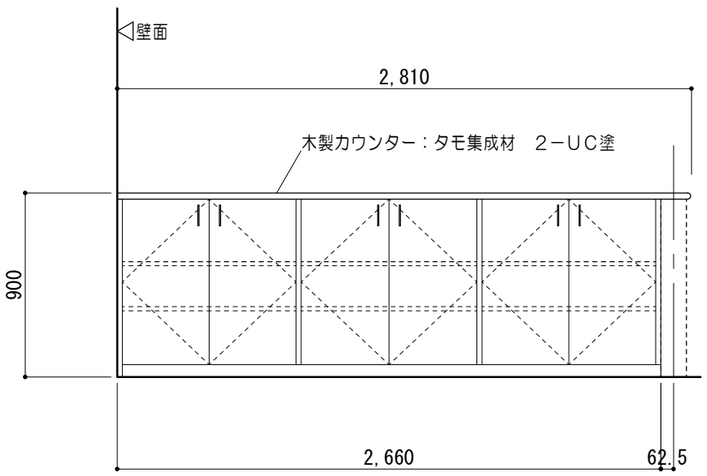
家具詳細図No.２

4/F カウンター詳細図　1/30

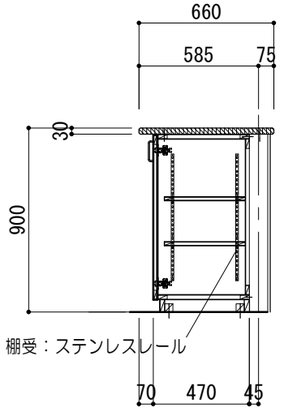
数		１ヶ所（ボランティア活動室２）
仕様	天板	タモ集成材　R＝２０　２−UC塗
	本体・扉・巾木	化粧メラミンパーティクルボード　ァ２０ エッジ：樹脂シート　ァ０．４５
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　ァ２０
	裏板	ポリエステル樹脂合板ァ４　片面フラッシュ
	把手	ステンレス製



平面図



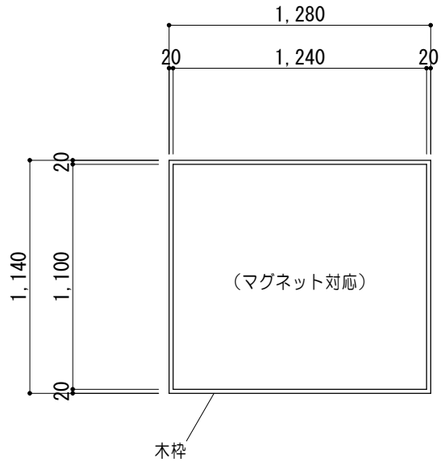
立面図



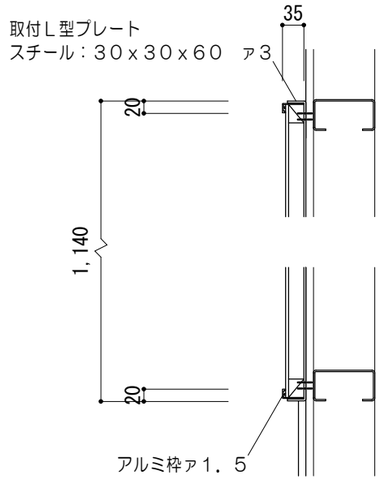
断面図

5/F 掲示板（マグネット対応）詳細図　1/10,30

数	１ヶ所（玄関）



姿図　1/30

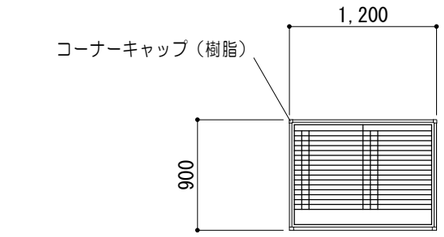


断面図　1/10

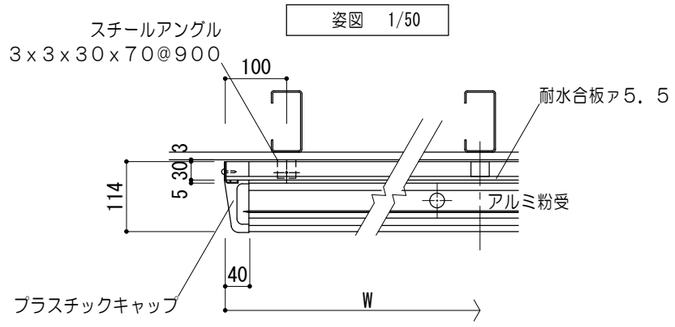
6/F 月予定ホワイトボード（マグネット対応）詳細図　1/10,50

数	１ヶ所（事務室）

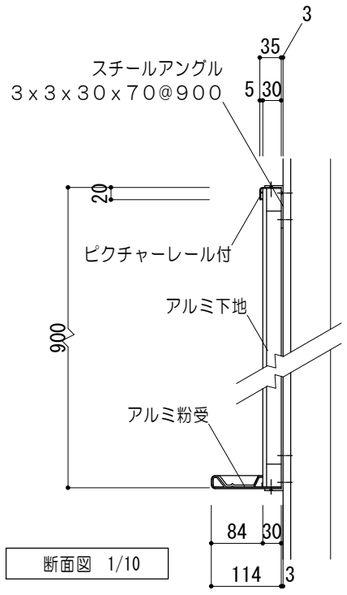
※文字内容については、打合せの上決定すること。



姿図　1/50



平面図　1/10



断面図　1/10

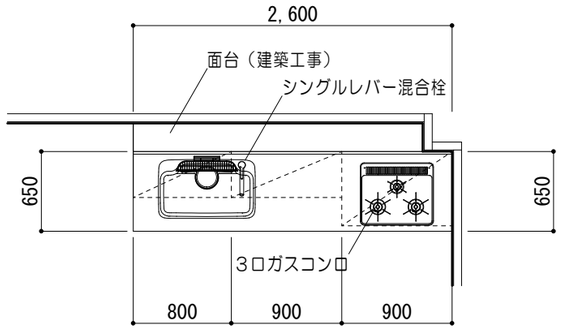
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1−699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 家具詳細図No.２ 縮尺 A1:1/ 5. 15. 25 A3:1/10. 30. 50	設計日 R05/03/24 図面番号 A39

家具詳細図No.３

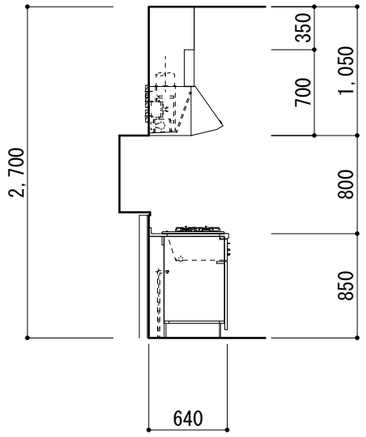
7F キッチン詳細図 1/50

室名	数量	備考
調理室	1	シンク左

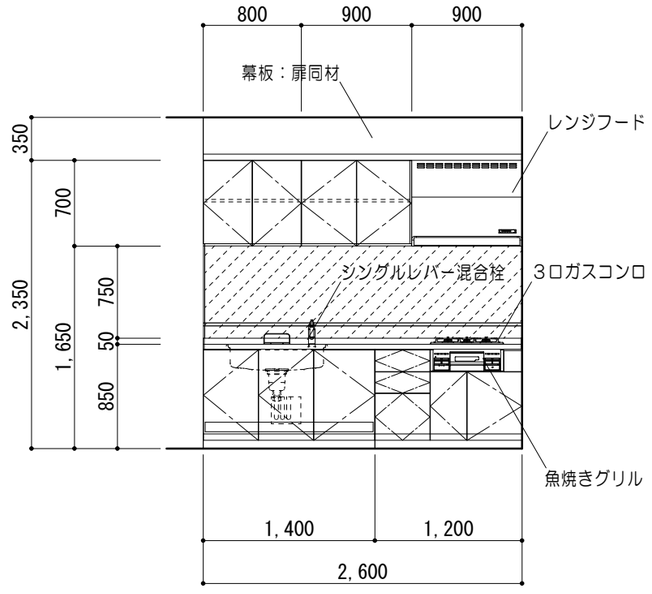
※参考品番：ＬＩＸＩＬ　シエラＳ２１　同等品



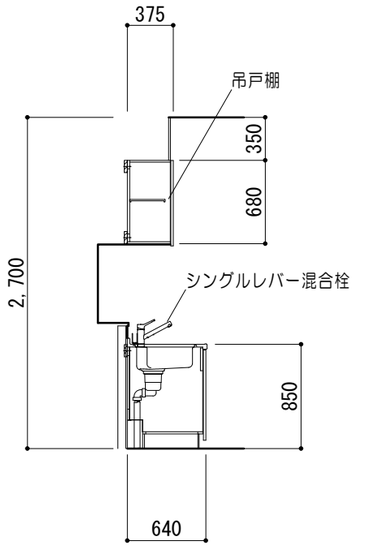
平面図



断面図



姿図



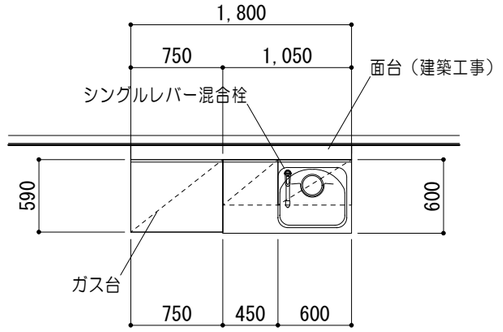
断面図

抗菌メラミン不燃化粧板ァ３張（建築工事）範囲を示す

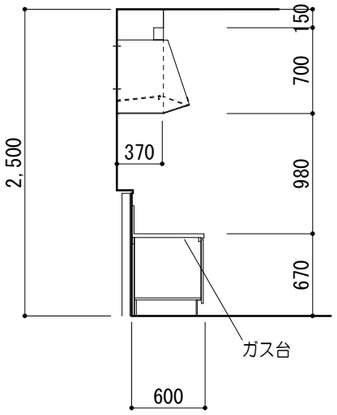
8F キッチン詳細図 1/50

室名	数量	備考
作業室	1	シンク右

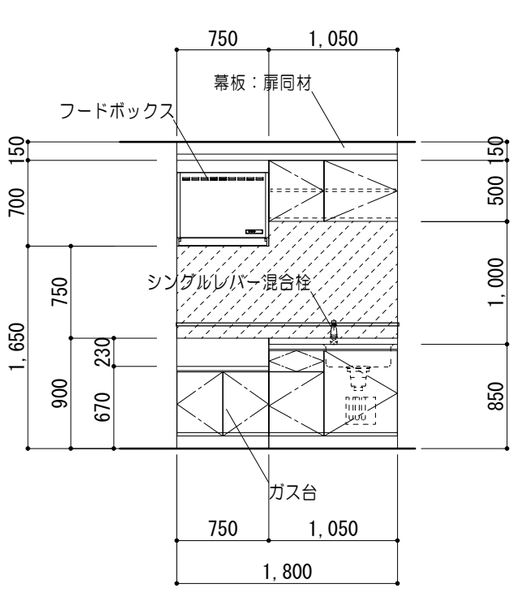
※参考品番：ＬＩＸＩＬ　Ｔｉｏ　同等品



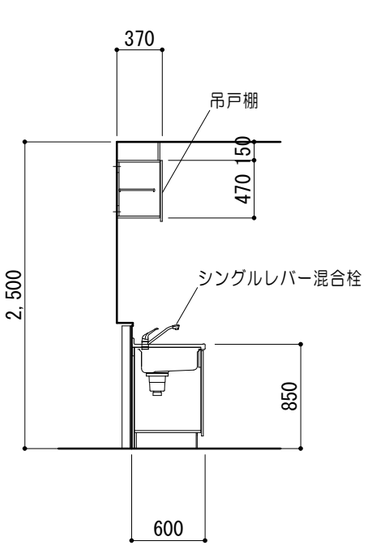
平面図



断面図



姿図



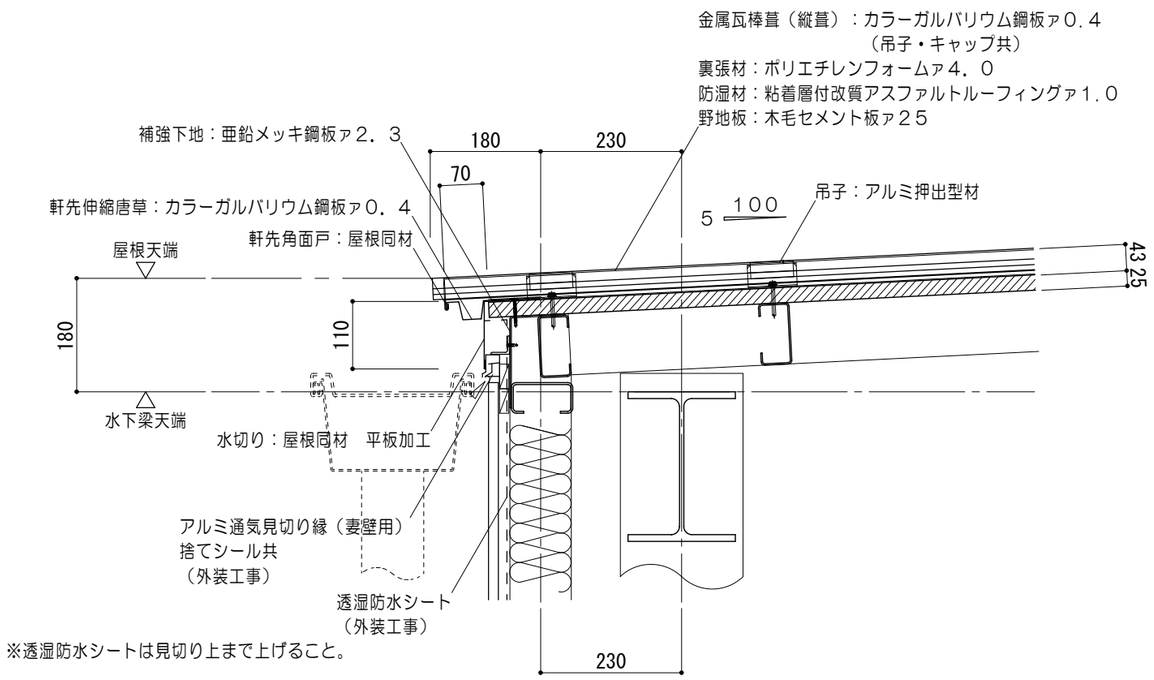
断面図

抗菌メラミン不燃化粧板ァ３張（建築工事）範囲を示す

特記事項										
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 家具詳細図No.３	設計日 R05/03/24 縮尺 A1:1/25 A3:1/50 図面番号 A40

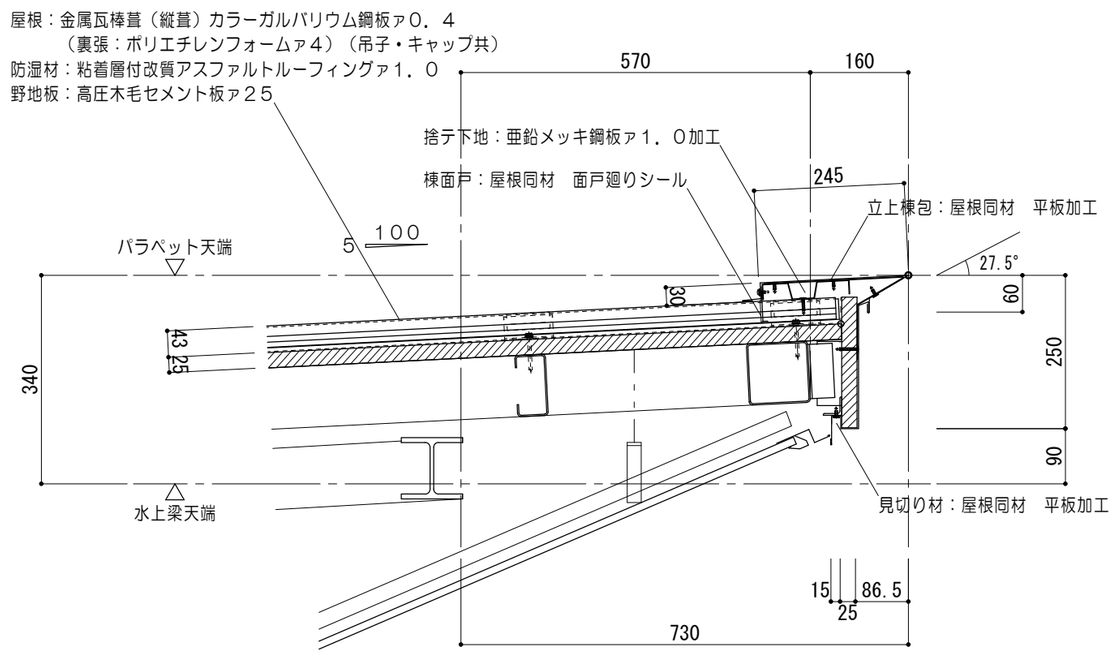
各部詳細図No.1

水下詳細図 1/10

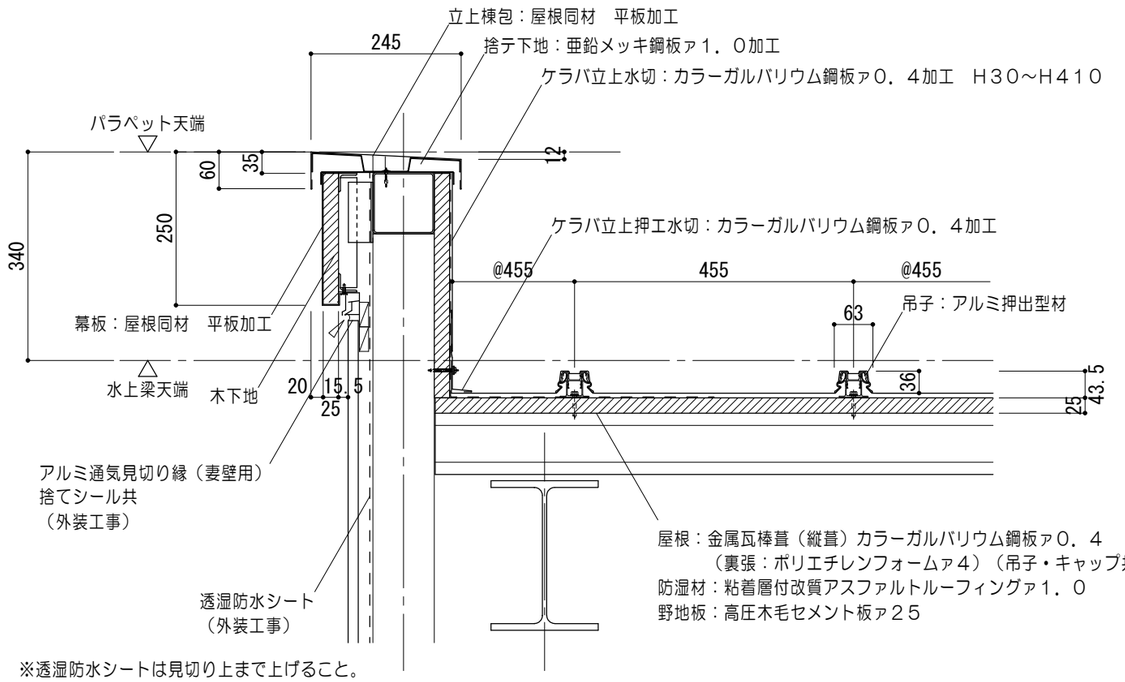


※透湿防水シートは見切り上まで上げること。

軒先詳細図 1/10

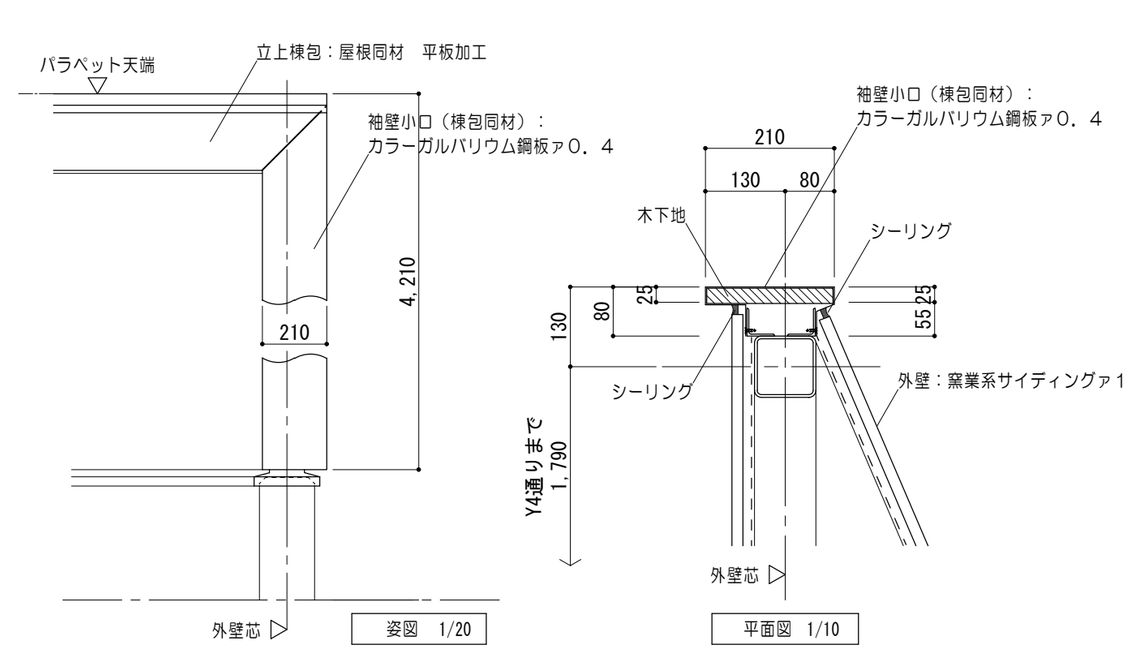


立上詳細図 1/10



※透湿防水シートは見切り上まで上げること。

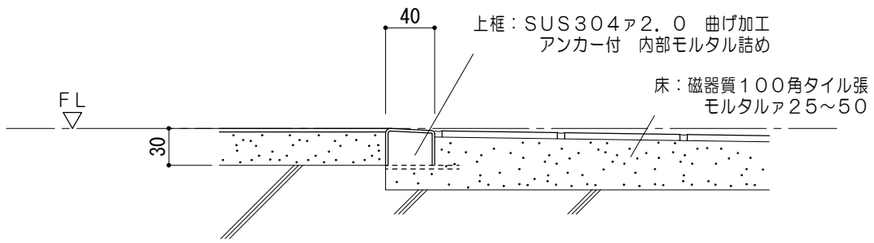
袖壁小口詳細図 1/10,20



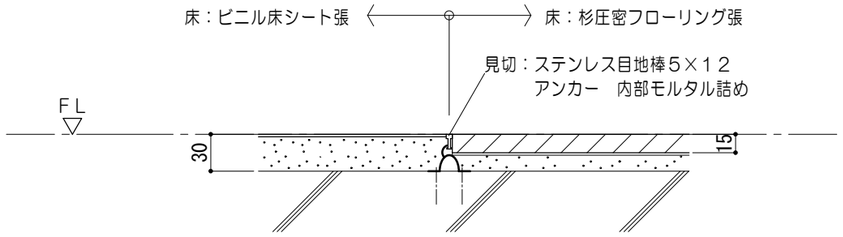
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 各部詳細図No.1 縮尺 A1:1/5.10 A3:1/10.20	設計日 R05/03/24 図面番号 A41

各部詳細図No.２

1/D ステンレス沓摺 1/5

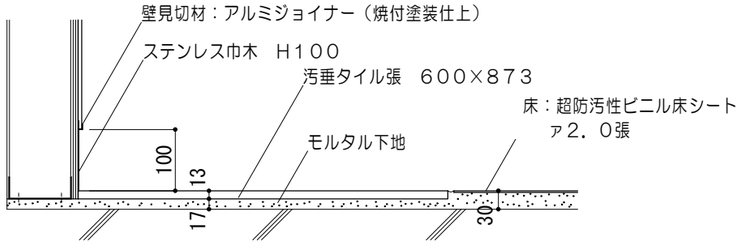


2/D ステンレス目地棒 1/5

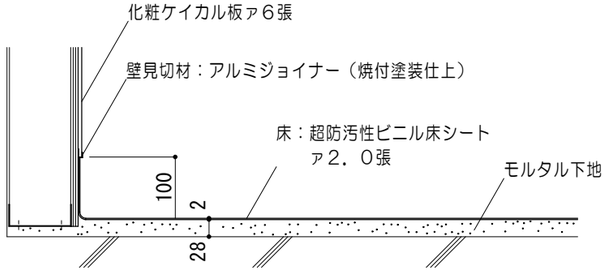


3/D 汚垂タイル 1/5

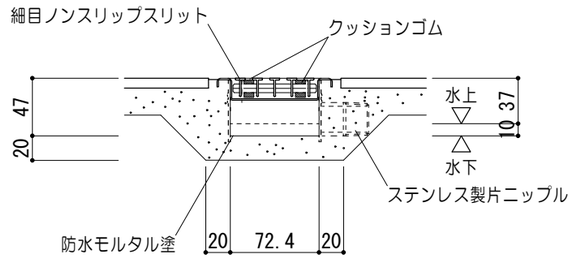
※註記：汚垂タイルは防臭防汚大型陶板とすること。



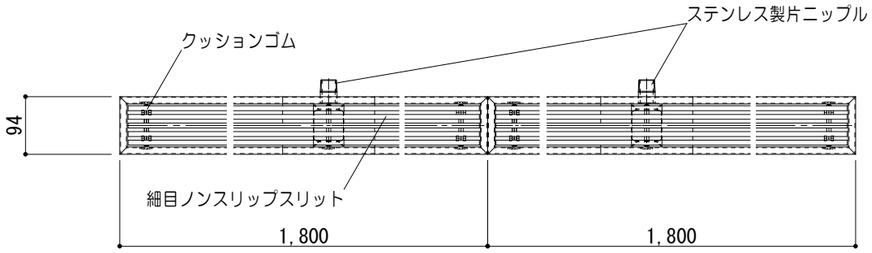
4/D 巾木巻上詳細図 1/5



5/D ステンレス排水ピット 1/10

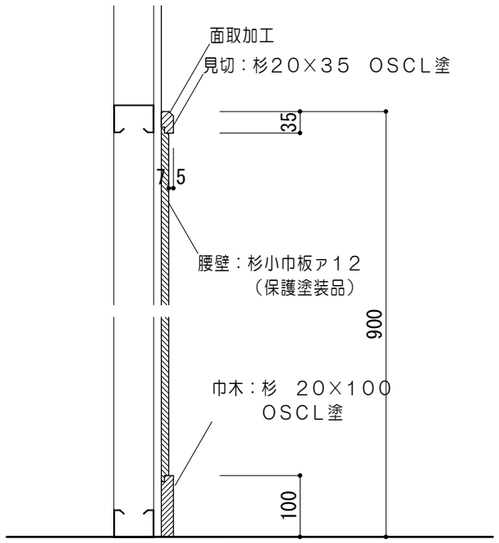


断面図

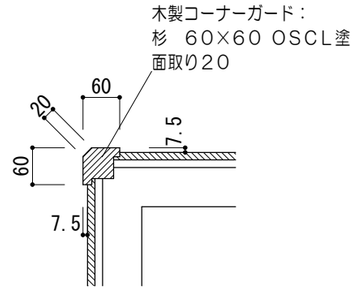


平面図

6/D 木腰壁 1/10



縦断面図



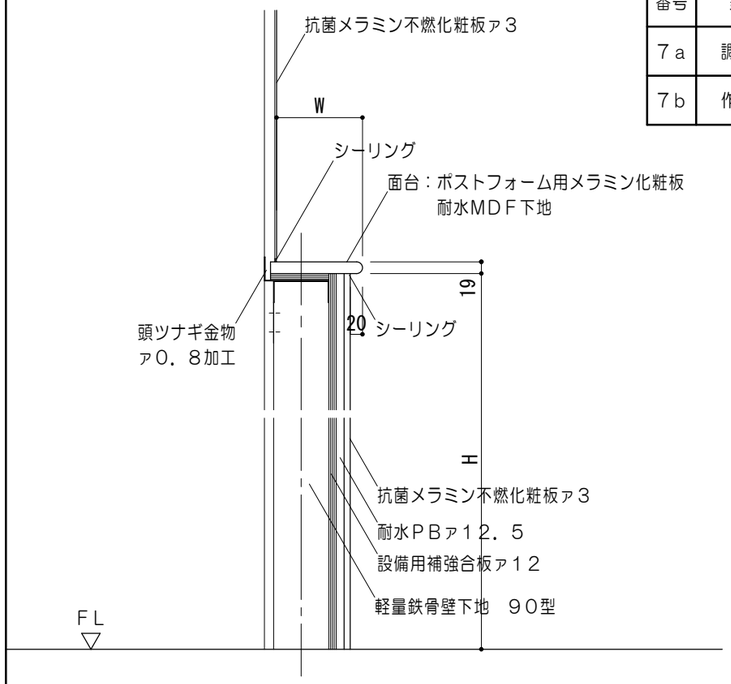
横断面図

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事） 図面名称 各部詳細図No.２ 縮尺 A1:1/2.5,5 A3:1/5,10	設計日 R05/03/24 図面番号 A42

各部詳細図No.３

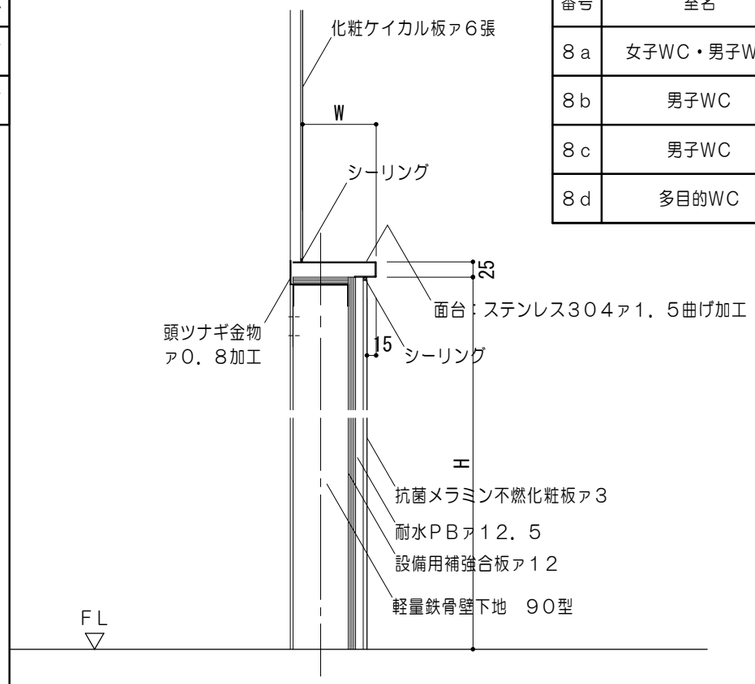
7●D ポストフォーム面台 1/10

番号	室名	D	W	H	数	小口塞ぎ
7a	調理室	240	2360	1000	1	片面
7b	作業室	120	1800	1000	1	両面



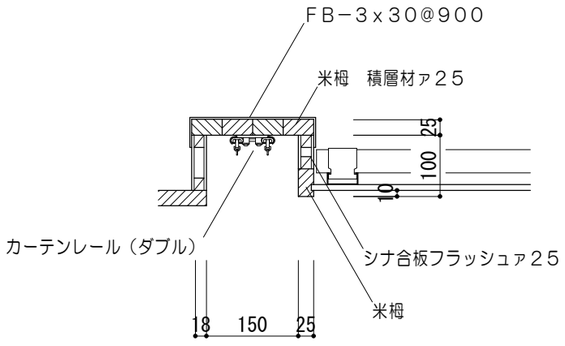
8●D ステンレス面台 1/10

番号	室名	D	W	H	数	小口塞ぎ
8a	女子WC・男子WC	120	798	1000	2	－
8b	男子WC	120	1743	1400	1	－
8c	男子WC	225	740	1000	1	－
8d	多目的WC	120	850	1000	1	片面



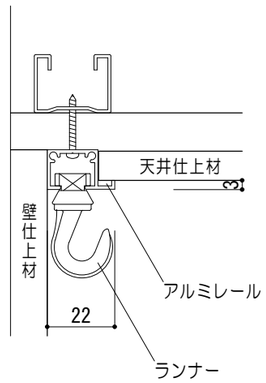
9D 木製カーテンボックス 1/10

※見え掛り木部: 保護シート張
見え隠れ鉄部：防錆塗装

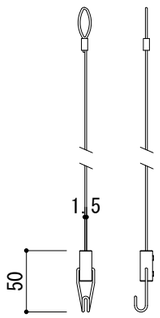


10D ピクチャーレール 1/2、1/5

※安全荷重：２０kg用
※フックは１m毎に２箇所

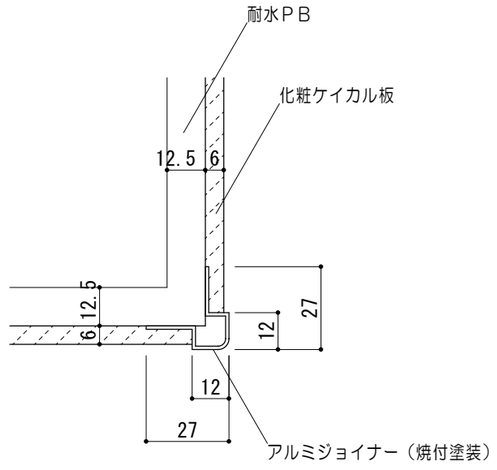


断面図　1/2



フック詳細図　1/5

11D 壁出隅部 1/2

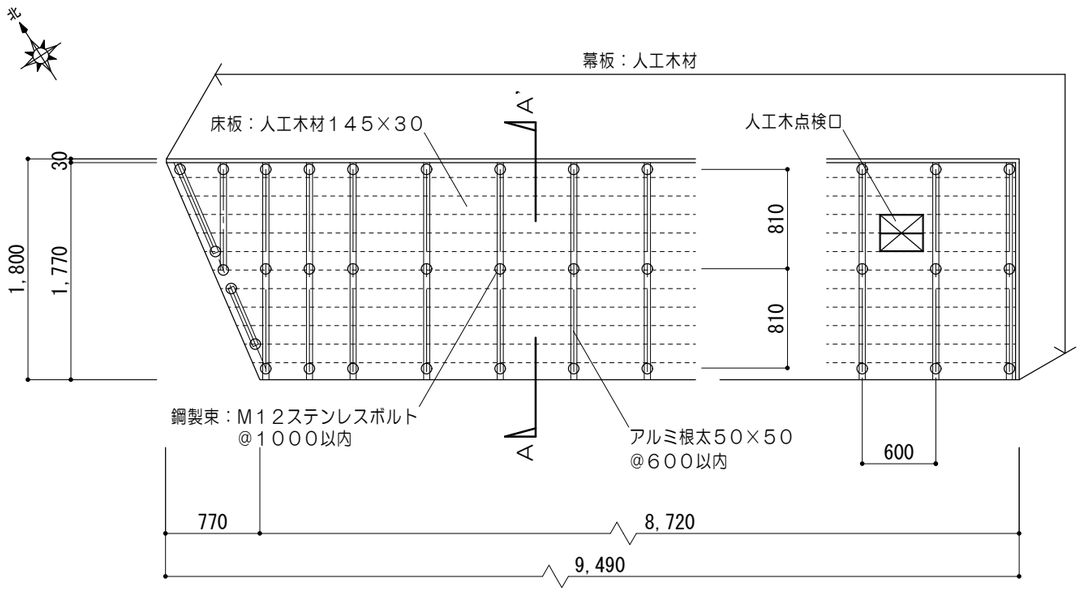


平面図

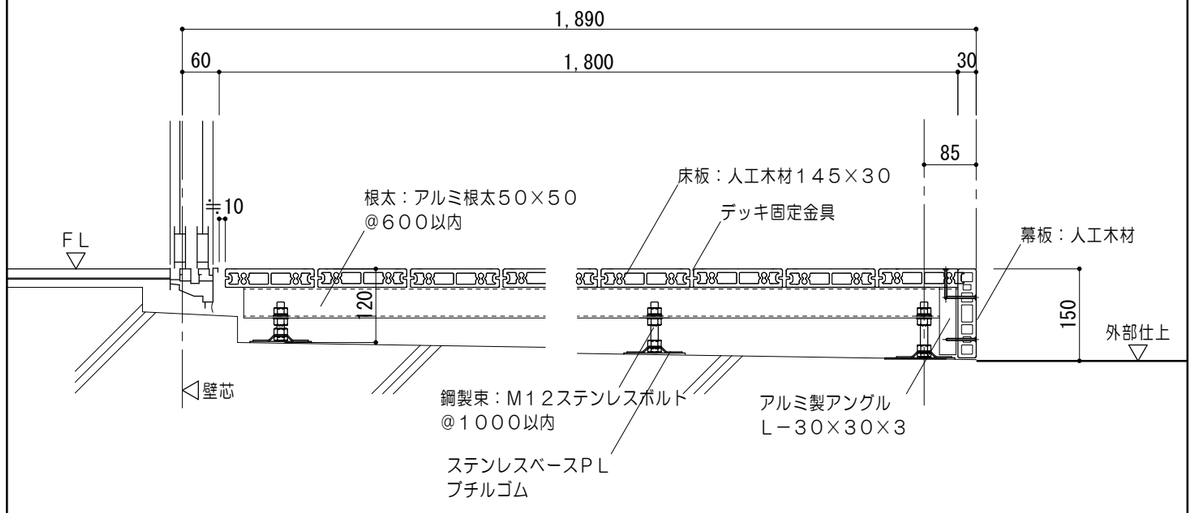
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 各部詳細図No.３ 縮尺 A1:1/1,2.5,5 A3:1/2,5,10	図面番号 A43

各部詳細図No.４

13 D ウッドデッキ　1/10、50



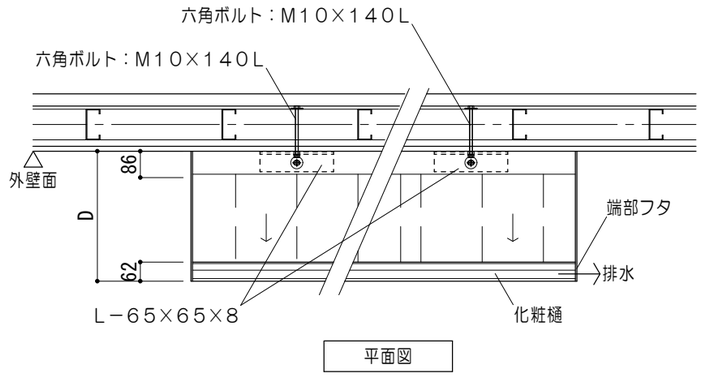
平面図　1/50



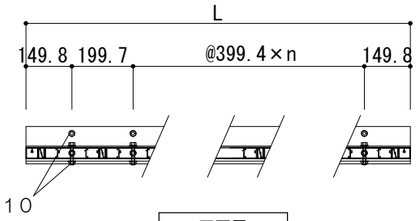
Ａ－Ａ’断面図　1/10

14 D アルミ庇（既製品）　1/20

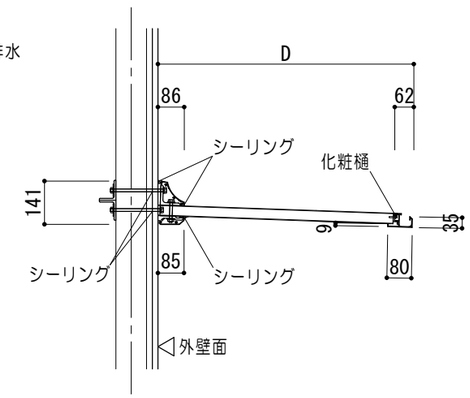
取付場所	D	L
出入口	890	1500



平面図



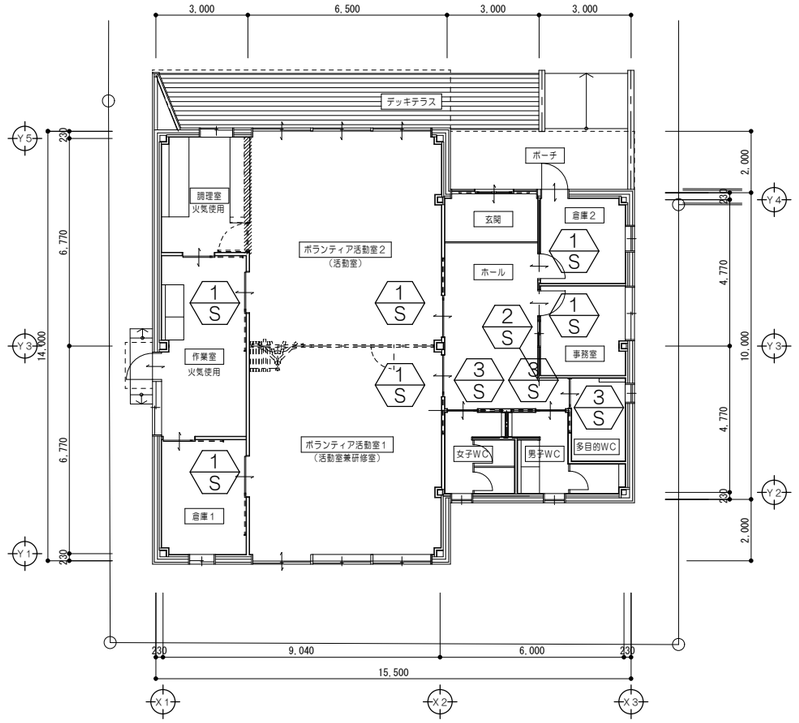
正面図



断面図

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認

工事名称	川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
図面名称	各部詳細図No.４	縮尺 A1:1/5, 10, 25 A3:1/10, 20, 50
		図面番号 A44

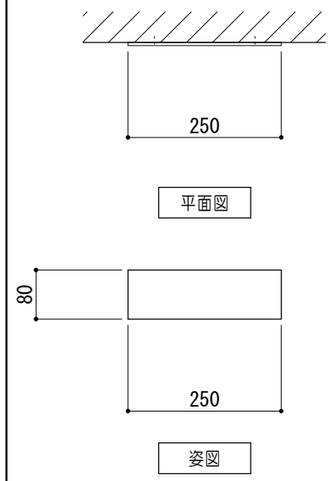


サイン指示図　1/200

サイン詳細図

1/S 室名札詳細図（平付）　1/10

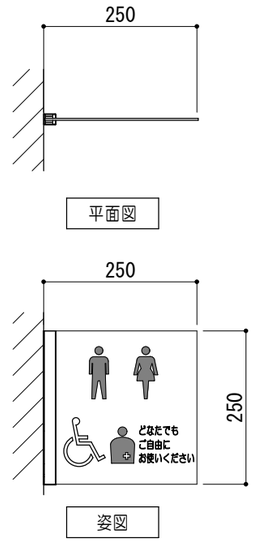
室名	か所
活動室兼研修室	1
倉庫1	1
倉庫2	1
事務室	1
作業室	1
活動室	1



※基材：アクリル板ァ5
※表示：UV印刷　両面テープ張
※JIS　Z　8210に準拠すること

2/S 室名札詳細図（突出）　1/10

室名	か所
多目的WC	1

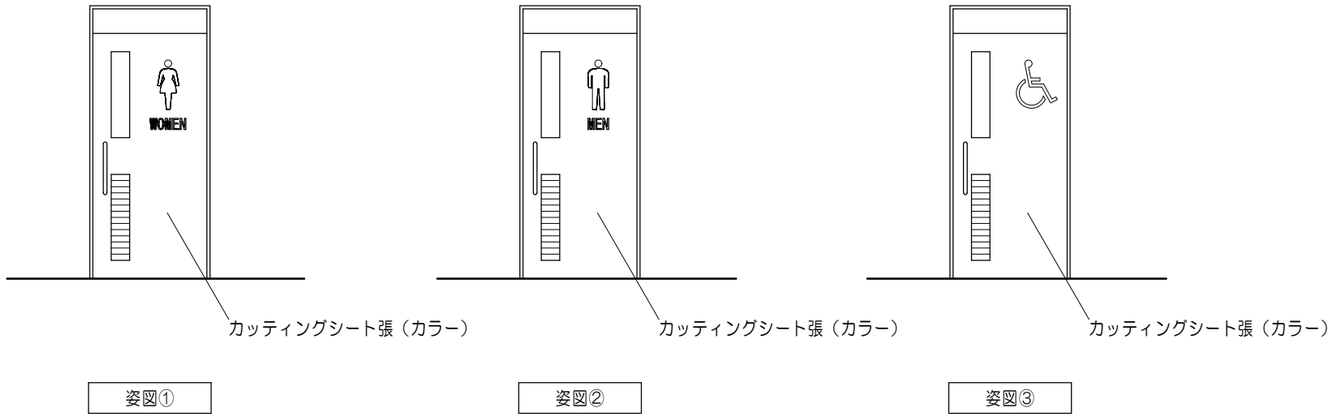


※基材：アクリル板ァ5
※表示：UV印刷　両面テープ張
※JIS　Z　8210に準拠すること

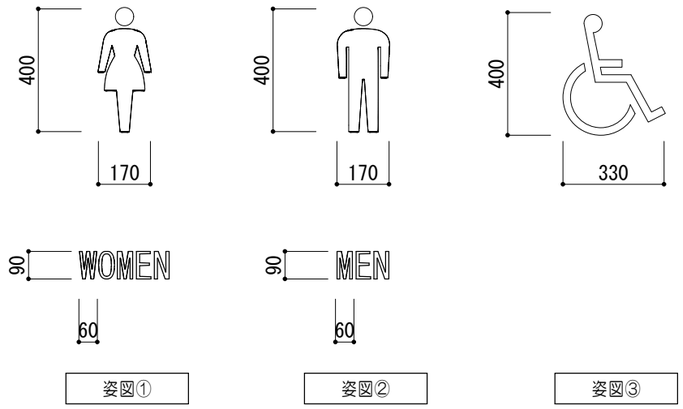
3/S ドア部サイン詳細図　1/50. 1/20

※表示内容・建具面取付位置については、
打合せの上決定するものとする。

室名	か所	姿図
女子WC	1	①
男子WC	1	②
多目的WC	1	③

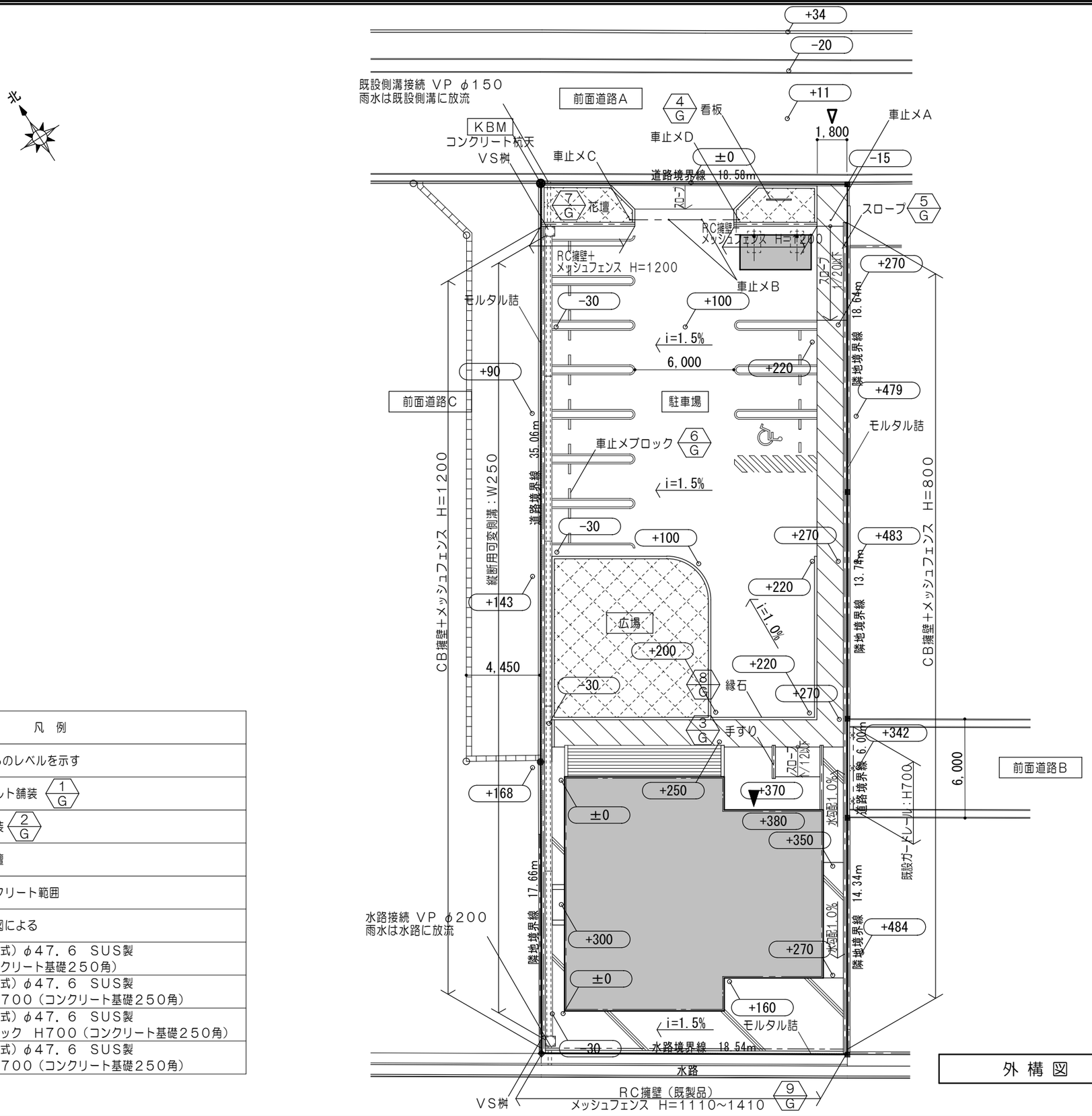


姿図①　姿図②　姿図③



姿図①　姿図②　姿図③

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 サイン詳細図 縮尺 A1:1/ 5.10.25.100 A3:1/10.20.50.200	図面番号 A45



凡　例	
±0	KBMからのレベルを示す
	アスファルト舗装 1 G
	カラー舗装 2 G
	緑地・花壇
	土間コンクリート範囲
G	外構詳細図による

車止メA：リフター（上下式）φ47．6　SUS製
　　H700（コンクリート基礎250角）

車止メB：リフター（上下式）φ47．6　SUS製
　　クサリ内蔵　H700（コンクリート基礎250角）

車止メC：リフター（固定式）φ47．6　SUS製
　　エンド用　片フック　H700（コンクリート基礎250角）

車止メD：リフター（固定式）φ47．6　SUS製
　　クサリ内蔵　H700（コンクリート基礎250角）

外構図　1/250

特記事項	

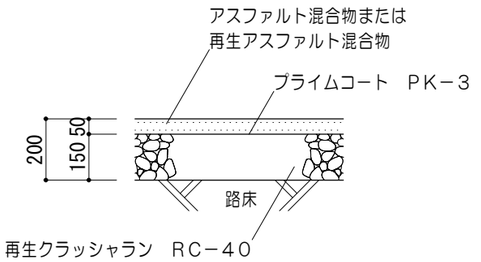
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称	設計日
川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	R05/03/24
図面名称：外構図　縮尺 A1：1/125 A3：1/250	図面番号：A46

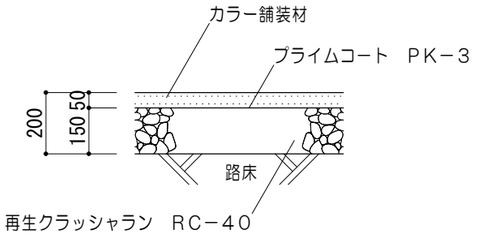
外構詳細図 No. 1

1/G アスファルト舗装 1/20



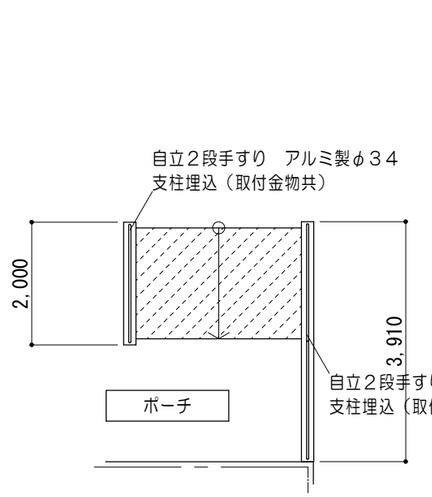
路盤：再生クラッシャラン　RC－40

2/G カラー舗装 1/20



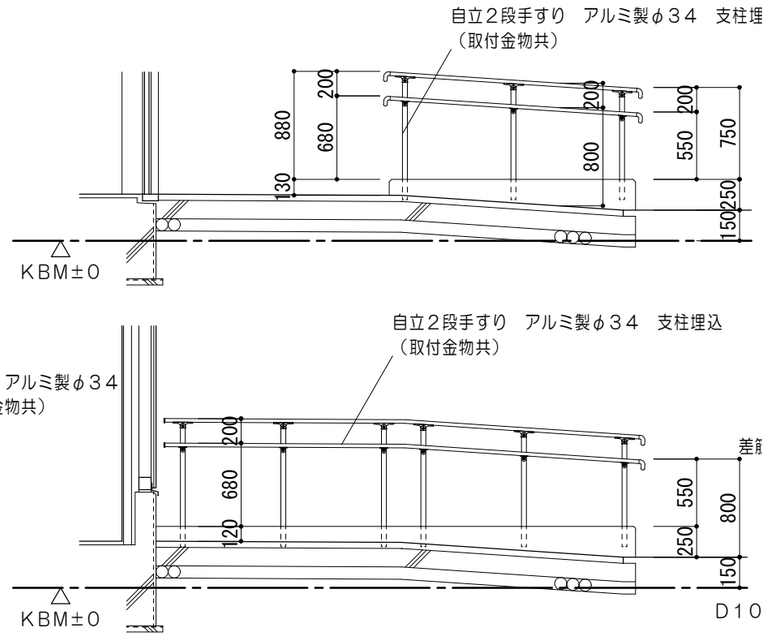
路盤：再生クラッシャラン　RC－40

3/G 手すり詳細図 1/100.50.30

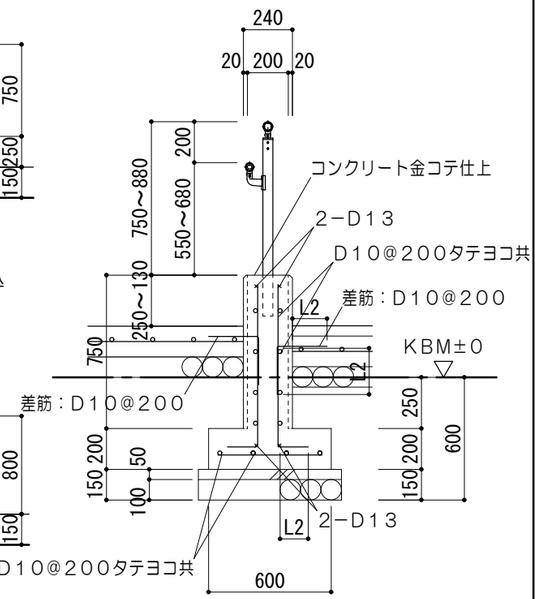


平面図　1/100

カラー舗装（カラーモルタル刷毛引）
※他舗装色と色分けすること。

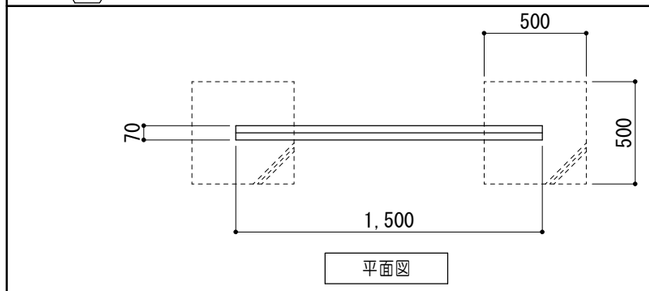


立面図　1/50

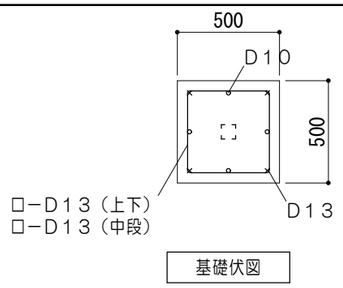


断面図　1/30

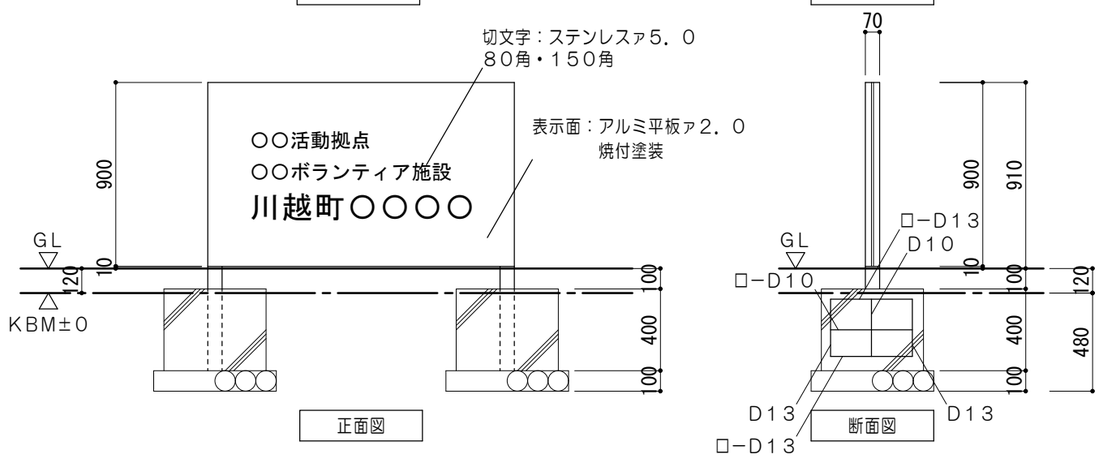
4/G 看板詳細図 1/30



平面図



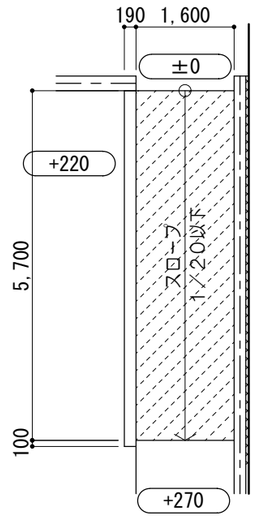
基礎伏図



正面図

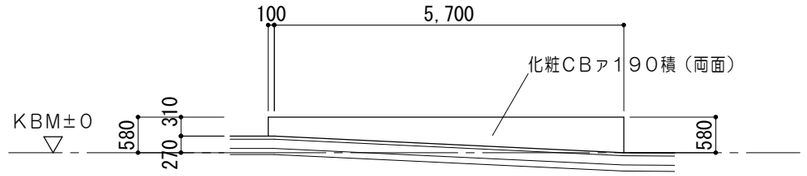
断面図

5/G スロープ詳細図 1/100.30

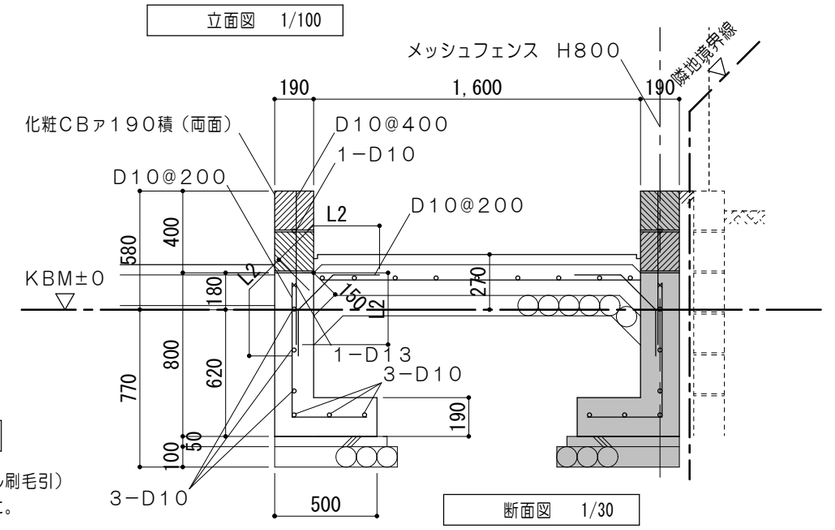


平面図　1/100

カラー舗装（カラーモルタル刷毛引）
※他舗装色と色分けすること。



立面図　1/100

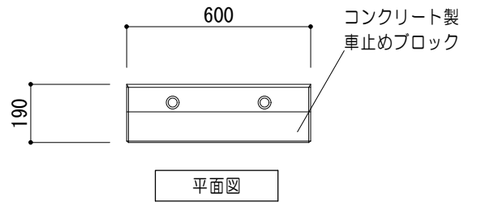


断面図　1/30

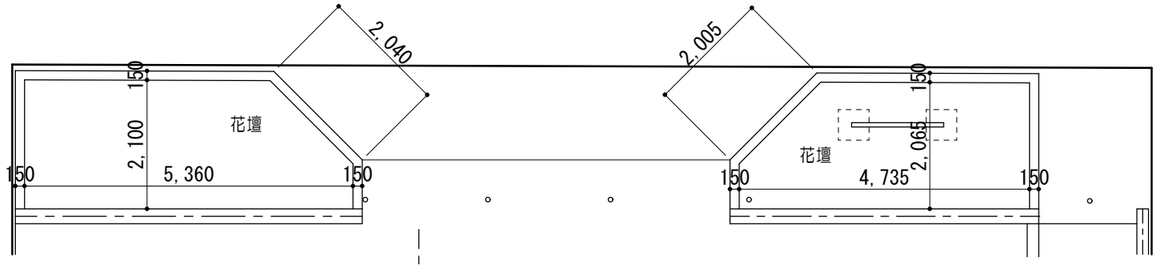
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
										図面名称 外構詳細図No. 1 縮尺 A1:1/10.15.25.50 A3:1/20.30.50.100	図面番号 A47

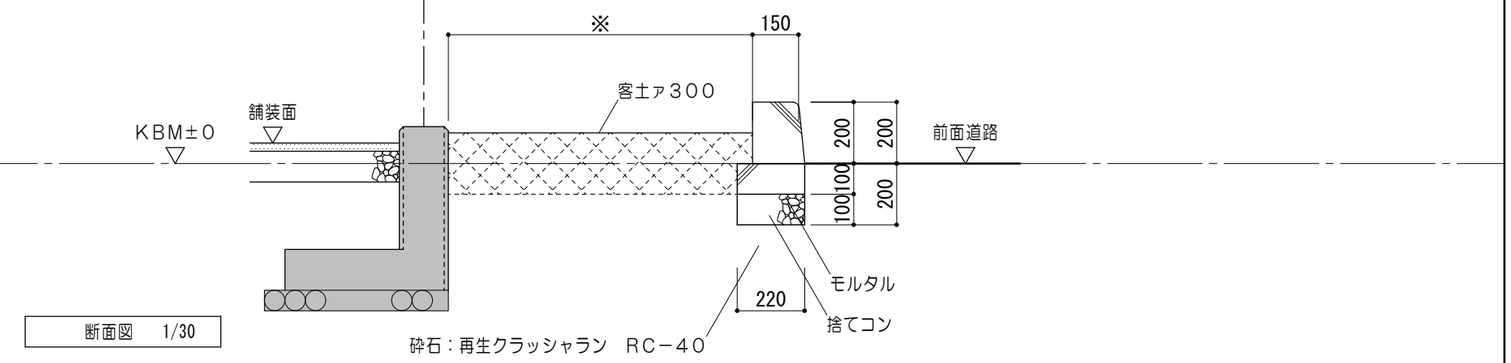
外構詳細図 No. 2

6G 車止メブロック 1/20

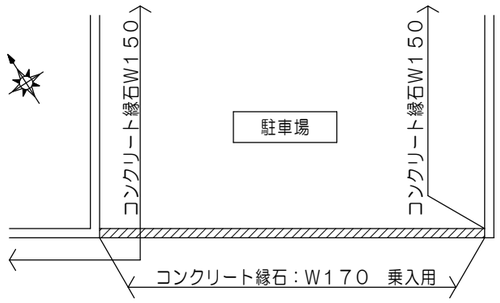


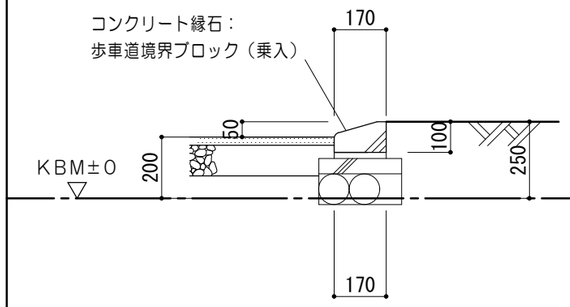
7G 花壇詳細図 1/100.30



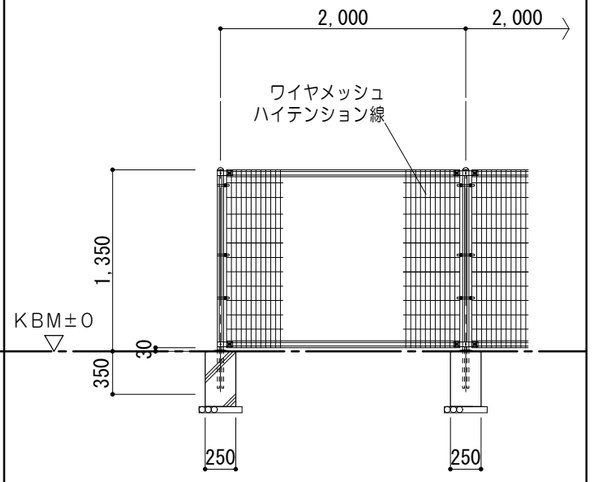


8G 縁石詳細図





9G メッシュフェンス詳細図



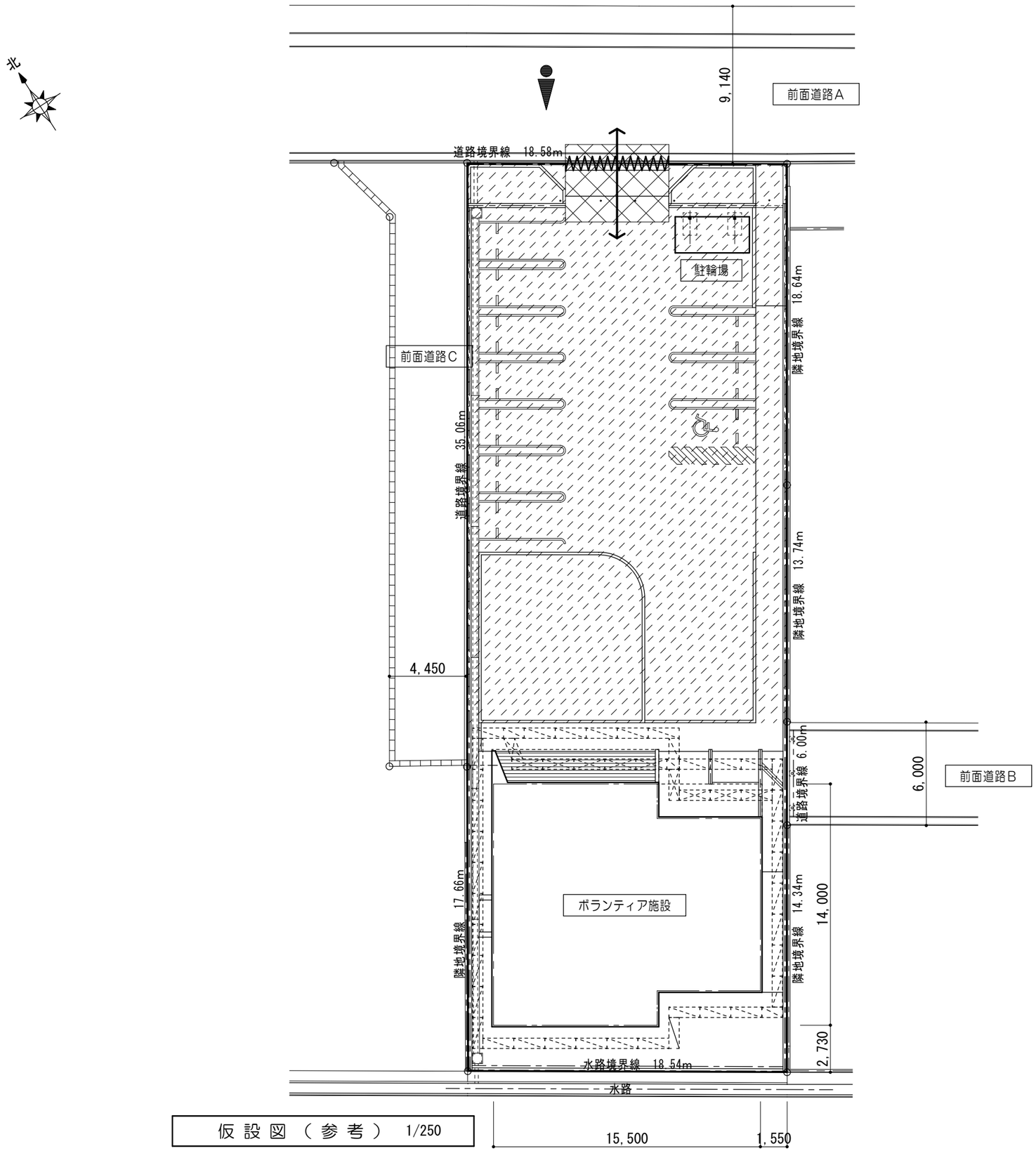
※CBに設置する箇所は造成図による。

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				

工事名称	設計日
川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	R05/03/24
図面名称：外構詳細図No. 2 / 縮尺：A1:1/10, 15, 50 A3:1/20, 30, 100	図面番号：A48



仮設図（参考）　1/250

仮設凡例	
WWWW	クロスゲート　W6，000
— — —	仮囲いA：成形鋼板　H2，000 造成工事完了後、盛替え
	足場：枠組本足場　建地W600（手すり先行方式） 養生シート（防音）
	足場：枠組本足場　建地W600（手すり先行方式）
	交通誘導員配置（大型車両搬出入時） 資材搬出入による工事車両の通行が多い時
	仮設鉄板敷 ァ22 6，000×1，500
	砕石（再生クラッシャラン）敷ァ15
⟷	工事用動線

特記事項											
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士　一級建築士　第320204号　前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	工事名称 川越町ボランティア施設（仮称）建設工事（建築工事）	設計日 R05/03/24
									図面名称 仮設図【参考図】 縮尺 A1：1/125 A3：1/250	図面番号 A49